

福平小学校プール新築その他本体工事

図 面 リ ス ト					
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-00	タイトル・図面リスト	A-25	プール部品図（２）	S-01	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）
A-01	建築工事特記仕様書 ５－１	A-26	プール塗装要領図	S-02	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）
A-02	建築工事特記仕様書 ５－２	A-27	プール配管図	S-03	深層混合処理工法特記仕様書（参考）
A-03	建築工事特記仕様書 ５－３	A-28	物品倉庫 平面図・天井伏図・屋根伏図・立面図・断面図・矩計図	S-04	プール付属屋① 構造設計標準仕様
A-04	建築工事特記仕様書 ５－４	A-29	物品倉庫 平面詳細図・展開図・建具配置図・建具表・棚詳細図	S-05	プール付属屋① 基礎伏図・屋根梁伏図・通軸組図
A-05	建築工事特記仕様書 ５－５	A-30	外構平面図	S-06	プール付属屋① 基礎・梁・壁・スラブリスト、土間配筋図
A-06	工事概要・既存建築物面積表・付近見取図・全体配置図	A-31	外構断面図	S-07	プール付属屋① 庇・階段配筋図
A-07	仮設計画図	A-32	外構部分詳細図（１）	S-08	プール付属屋① 壁平面配筋図
A-08	建築概要・面積表・外内部仕上表	A-33	外構部分詳細図（２）	S-09	プール付属屋① ヲ１通架構配筋図
A-09	全体平面図・断面図・工事区分	A-34	屋根付休憩所 詳細図	S-10	プール付属屋① ヲ２・ヨ６通架構配筋図
A-10	プール付属屋①② 平面図・天井伏図・屋根伏図	A-35	擁壁計画平面図	S-11	プール付属屋② 構造設計標準仕様
A-11	プール付属屋①② 立面図・断面図	A-36	第１号Ｌ型擁壁構造図（その１）	S-12	プール付属屋② 基礎伏図・屋根梁伏図・通軸組図
A-12	プール付属屋①② 矩計図	A-37	第１号Ｌ型擁壁構造図（その２）	S-13	プール付属屋② 基礎・梁・壁・スラブリスト、土間・庇配筋図
A-13	プール付属屋① 平面詳細図	A-38	第１号Ｌ型擁壁構造図（その３）	S-14	プール付属屋② ヲ１・ヨ３通架構配筋図、壁平面配筋図
A-14	プール付属屋① 展開図	A-39	第２号Ｌ型擁壁構造図	S-15	物品倉庫 構造設計標準仕様
A-15	プール付属屋② 平面詳細図・展開図	A-40	第３号Ｌ型擁壁構造図（その１）	S-16	物品倉庫 基礎伏図・屋根梁伏図・通軸組図
A-16	プール付属屋①② 建具配置図・建具表	A-41	第３号Ｌ型擁壁構造図（その２）	S-17	物品倉庫 基礎・梁・壁・スラブリスト、土間・庇配筋図
A-17	プール付属屋 棚詳細図	A-42	第４号Ｌ型擁壁構造図	S-18	物品倉庫 ヲ１・ヨ１通架構配筋図、壁平面配筋図
A-18	部分詳細図	A-43	第５号Ｌ型擁壁構造図	S-19	トレンチビット配筋図
A-19	プール特記仕様書	A-44	土留壁・ＣＢ積構造図		
A-20	プール平面図・断面図	A-45	可変側溝構造図		
A-21	プール底板配列図	A-46	集水樹構造図		
A-22	プール断面詳細図（１）				
A-23	プール断面詳細図（２）				
A-24	プール部品図（１）				

(株)アーキ・プラン 一級建築士 第 84458 号 古 川 稔	福平小学校プール新築その他本体工事		
	タイトル・図面リスト	NO. SCALE	A-00
	鹿児島市建設局建築部建築課		

建 築 工 事 特 記 仕 様 書		特 記 事 項	
Ⅰ 工 事 概 要		Ⅰ 14. 産業廃棄物収集運搬車に係る表示及び書面備え付けについて 両側面に「産業廃棄物の収集又は運搬に供する運搬車である旨」及び「排出事業者名」を表示するとともに、その運搬車に「産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車であることを証する書面」を備え付けること。 [表示例] <div>産業廃棄物収集運搬車</div> ←140ポイント(おおむね縦横50mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字 <div>〇〇株式会社</div> ←90ポイント(おおむね縦横30mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字 なお、産業廃棄物収集運搬許可業者に委託して収集又は運搬させる場合には、別途「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」に基づく、表示規定によること。	
Ⅱ 建 築 工 事 仕 様		Ⅱ 15. 内装仕上に使用する材料等の選定について 1) ホルムアルデヒドを発散する建材については、F☆☆☆☆の規格に適合すること。 ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議し、承諾を得ること。 対象となる材料(居室に使用する内装材、並びに、造り付け木製家具) 木質建材(合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDF等)、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、接着剤、仕上塗材等 2) クロロビリスについて クロロビリスを添加しないこと。クロロビリスを添加した材料でないこと。 3) 建築材料の種別、種類、数量、及び面積等について 必要書類等 7) 施工計画書提出時に、JIS、JASの表示、又は、国土交通大臣認定書の写し等を添付し監督員の承諾を得ること。 4) 材料搬入時に表示等の確認をし、記録写真を提出すること。 ウ) 工事終了後に、内装仕上部分を写した写真を提出すること。 ※ 塗料は、ホルマリン不検出のもので、水性形のもとする。(水廻り及び湿度の高い箇所を除く) ただし、有機溶剤系塗料を使用する場合は、トルエンやキシレンの放散が極力小さいものとする。	
Ⅲ 一 般 事 項		Ⅲ 16. 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合について 1) 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合 現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下の要件を満たす場合には、工事請負契約第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないものとして取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する旨、及び環境保全の義務(現場の巡回等)があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。 7) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間 4) 工事請負契約書第20条より工事が一時中止されている期間 ウ) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間 エ) 前3号に掲げる期間のほか、受注者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間 2) 発注者への報告 上記1)の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。	
適用		適用	
○ 1. 本工事は鹿児島市建設工事請負契約書に基づき、施工するものとする		○ 17. 現場代理人の兼任について 1) 現場代理人の兼任を認める工事 現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項(請負代金の変更、契約の解除等を除く。)を処理する受注者の代理人であるが、次の ア)から ウ)の全てを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。 7) 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の当初請負金額の合計が8, 000万円未満であること。 ※設計変更により、兼任する工事の請負金額の合計が8, 000万円以上となった場合においては、受注者の都合により現場代理人を変更できるものとする。(現場代理人の負担軽減措置) その場合は、「現場代理人等変更通知書」により現場代理人の変更手続きを行うこと。 イ) 発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡が取れること。 ウ) 兼任する工事は、同一市町村内又は工事現場の相互の間隔が概ね10km以内の範囲 エ) 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。 オ) 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。	
○ 2. 前払金 ※請求することができる ◎請負代金額の10分の4の前払金の支払いを令和7年2月12日までに請求すること		2) 手続き 現場代理人の兼任を行う場合には、兼任(変更)申請書を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、現場代理人等変更通知書により、発注者に通知すること。なお、各々の工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。 3) 受注者に対する措置請求 安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置を取るべきことを請求するものとする。	
○ 3. 中間前払金 1) 請負金額が100万円以上で年度内に完成する工事は、契約時において中間前払金か部分払かのいずれかを選択すること。 なお、契約に当たり部分払をするを選択した場合には、中間前払金は行わない。 2) 中間前払金を受けたための要件(全て満たすこと。) ア) 請負金額の10分の4の前払金がなされていること。 イ) 工期の2分の1を経過していること。 ウ) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施するべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。 エ) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。 3) 中間前払金の割合について 請負代金の10分の2以内とする。ただし、中間前払金を支出した後の前払金の合計額が請負代金の額の10分の6を超えてはならないものとする。		○ 18. 低入札価格調査に基づく措置について 低入札価格調査基準価格未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるものとする。 1) 施工体制の強化 ア) 低入札価格調査の対象となった工事(以下「調査対象工事」という。))には、専任の主任技術者等を配置すること。 イ) 調査対象工事を施工する場合において、契約日の属する年度及びその前年度に完成した工事に關し、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で1人配置すること。 a) 65点未満の工事成績評定を通知された場合 b) 工事請負契約書に基づき修補又は損害賠償を請求された場合 c) 品質管理・安全管理に關し、指名停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合 d) 自らに起因して工期を大幅に遅らせた場合 2) 監督体制の強化 ア) 受注者は、施工体制台帳を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。 イ) 受注者は、特記仕様書に基づく施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。	
○ 4. 部分払 部分払については、鹿児島市契約規則による。		○ 19. 「快適トイレ」の試行について 1) 本工事は、建設現場における「快適トイレ」設置の試行対象工事である。 2) 受注者は積極的に快適トイレの試行に取り組むこと。 3) 快適トイレを設置する場合は、「建設現場における「快適トイレ」設置の試行の改定について(令和3年7月26日付け鹿児島市建設局通知)」に基づき行うものとする。なお、通知は鹿児島市ホームページから入手できる。	
○ 5. 部分払対象品目 工事の出来形部分並びに、工事現場に搬入した工事材料のうち、次の工事に含まれるものは部分払いの対象とする。ただし、監督員の検査に合格したものであって確認写真及び出来高等の確認ができるものに限る。 1.仮設工事 2.土工事 3.地業工事 4.鉄筋工事 5.コンクリート工事 6.鉄骨工事 7.コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 8.防水工事 9.石工事 10.タイル工事 11.木工事 12.屋根及びびい工事 13.金属工事 14.左官工事 15.建具工事 16.カーテンウォール工事 17.塗装工事 18.内装工事 19.ユニット及びその他の工事 20.排水工事 21.舗装工事 22.植栽及び屋上緑化工事		○ 20. 検組足場の設置について 検組足場の設置を必要とする場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)によるものとする。 なお、これにより難しい場合は、監督員と協議の上、決定することとする。	
○ 6. 火災保険等 請負契約締結後速やかに次の工事保険に加入し、証券又はこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。 保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。 ※ 火災保険等(工事目的物及び工事材料(支給材料を含む)等)に生じる損害を填補 (※ 火災等 ※ 工事材料等の盗難等 ・その他)に対応したものを含むこと。 ※ 請負業者賠償責任保険(工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補) なお、上記の保険内容が含まれる火災保険、建設工事保険、組立保険等でも可とする。 その場合、保険証券等により保険内容が確認できるものであること。		○ 21. 交通誘導員について 本工事の交通誘導員の編成人員は、見積閲覧書によるものとするが、交通管理者等との協議の結果、又は現場条件等により変更が生じた場合は別途協議する。 また、受注者は工事着手前に、実施工程に対応した配置予定図と配置予定時間を施工計画書に記載しなければならない。	
○ 7. 住宅瑕疵担保履行法について 受注者は、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」(平成19年法律第66号)に基づき、保険への加入又は保証金の供託を行うものとする。なお、保険加入の場合は、着工前に保険法人に申し込む必要があるので注意すること。		○ 22. 地下工事について 地下室等(地下工作物)がある場合等は、周辺地盤や地下水への影響について、建設場所や建物の規模などを考慮した上で観測体制を含めた施工をすること。施工の際は周辺環境に配慮しながら地下水等の観測を行い、異常が生じた場合は必要な措置を行うこと。 建設場所毎の事前調査等は事前に打合せを行い遺漏のないようにすること。	
○ 8. 契約不適合担保責任検査 契約不適合担保責任(鹿児島市建設工事請負契約書第41条)の確実な履行を図るため、受注者は、契約不適合責任期間の満了前に、受注者の負担で、契約不適合担保責任検査を実施すること。受注者は、発注者から契約不適合担保責任検査実施の通知を受けた場合は、発注者の指定する方法により速やかに契約不適合担保責任検査の実施日及び報告書提出日を回答したうえで、契約不適合担保責任検査を実施し、その結果を報告すること。なお、履行の追完方法は発注者と協議のうえ、実施すること。		○ 23. 杭打ち・地盤改良工事について 地下水汚濁への影響などについては事前調査を行い(近隣に井戸がある場合や中間に逸水層がある場合)、工法について施工計画段階で検討し、施工の際は十分に注意しながら施工を行い異常が生じた場合には必要な措置を行うこと。	
○ 9. 施工体制台帳の提出等 1) 建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。 2) 工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。 (1)伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務 (2)土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務 (3)工事現場の警備(交通誘導を含む)を行う業務 (4)その他監督職員が記載を指示した業務等		○ 24. 周辺住民への説明等について 工事現場の周辺住民に対しては、事前に十分な工事内容の説明(作業時間、工法、期間等)を行い協力を得られるように努めるとともに、工事期間中は迷惑、紛争等のないように十分注意すること。 (近隣住民から相談・苦情の申し立て等があった場合には誠意をもって、速やかに対処すること。)	
○ 10. 環境基本計画 1) 本工事に伴う環境への影響を抑制するため、工事車両両通行往復ルートの分別、交通整理員の配置、走行速度の制限、ルートの設定等の対策を講じること。 2) 本工事に使用する建設機械については、原則として、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針に適合するものを使用すること。 3) 本工事に伴い提出する関係書類については、可能な限り、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針適合製品又はエコマーク製品、グリーンマーク製品などの環境ラベリング製品を使用すること。 4) 本工事に伴い提出する関係書類については、写真やメーカー提出の資料等、両面印刷では支障を生ずるものは除き、可能な限り、両面印刷とすること。 5) 工事に伴い発生する廃棄物については、缶・ビン、ペットボトル、プラスチック容器類を搬出しやすいような分別ボックスの設置スペース又は分別ヤードを設置するなどして、分別の徹底及びリサイクルに努めること。		○ 25. 本工事は公共工事であることを十分認識し、工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、速やかに行うとともに、安全管理を含む諸管理に十分留意して作業を行うこと。	
○ 11. 排出ガス対策型建設機械の使用について 本工事において以下の対象機種を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用を原則とする。ただし、①リース業者等が対策型建設機械を供給できない場合、②自社で未対策型建設機械を保有し対策型建設機械を使用することが妥当でない場合等は、監督員との協議により、未対策型建設機械を使用してもよいものとする。 (1)バックホウ (2)ホイールローダー (3)ブルドーザ (4)発動発電機 (5)空気圧縮機 (6)油圧ユニット (7)ローラ類 (8)ラフテレーンクレーン なお、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。			
○ 12. 低騒音型建設機械の使用の原則化について 本工事は「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」(昭和62年建設省経機発第58号)に基づき「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(平成9年建設省告示第1536号)により指定された低騒音型建設機械の使用を原則とする。 なお、低騒音型建設機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。			
○ 13. ダンプトラック等による過積載等の防止について 1) 工用資機材等の積載超過のないようにすること。 2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。 3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。 4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。 5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に關しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故が発生させたものを排除すること。 7) 1)から6)のどの一つにつき、下請契約における受注者を指導すること。			
		株式会社アーキー・プラン 一級建築士 第 84458 号 古川 稔	
		福平小学校プール新築その他本体工事 建築工事特記仕様書 5ー1 鹿児島市建設局建築部建築課 Ver.B60507	
		Aー1	

章	項	目	特記事項	章	項	目	特記事項	章	項	目	特記事項	
1 各章共通事項	○ 1. 適用基準等	○ 建築工事標準詳細図：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・敷地調査共通仕様書：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和元年版) ・公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ○ 営繕工事写真撮影要領(平成31年版)・同解説 ○ 工事写真撮影ガイドブック(建築工事及び解体工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施方針：国土交通省大臣官房官庁営繕部制定 ・営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施要領：関東地方建設局営繕部作成	○ 2. 電気保安技術者 ○ 3. 施工条件	○ 2. 電気保安技術者 ○ 3. 施工条件	○ 2. 電気保安技術者 ○ 3. 施工条件	○ 2. 電気保安技術者 ○ 3. 施工条件	○ 2. 電気保安技術者 ○ 3. 施工条件	○ 2. 電気保安技術者 ○ 3. 施工条件	○ 2. 電気保安技術者 ○ 3. 施工条件	○ 2. 電気保安技術者 ○ 3. 施工条件	○ 2. 電気保安技術者 ○ 3. 施工条件	○ 2. 電気保安技術者 ○ 3. 施工条件
	○ 4. 技能士	○ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ○ コンクリート圧送施工 ○ 型枠施工 ○ とび ○ ブロック建築 ・鉄工(・構造物鉄工作業・製缶作業)・エーメル・パル施工・石材施工(石張り作業) ○ 防水施工(・ルタゴム系塗膜防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業・合成ゴムシート防水工事作業 ・アスファルト防水工事作業・アクリルゴム系塗装防水工事作業) ○ タイル張り・建築大工・かわらぶき ・建築板金(内外装板金作業) ○ 左官・サツ施工・ガス施工・カーテンウォール施工 ・建具製作(・木製建具 手加工作業・アル製室内建具製作作業・木製建具 機械加工作業) ・内装仕上げ施工(・ボード仕上げ工事作業・鋼製下地工事作業・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業)・塗装(建築塗装作業)・量製作・表装・造園 ・熱絶縁施工(吹付硬質ウレタンフォーム断熱工事作業)・樹脂接着剤注入施工	○ 5. 工事実績情報の登録	○ 5. 工事実績情報の登録	○ 5. 工事実績情報の登録	○ 5. 工事実績情報の登録	○ 5. 工事実績情報の登録	○ 5. 工事実績情報の登録	○ 5. 工事実績情報の登録	○ 5. 工事実績情報の登録	○ 5. 工事実績情報の登録	○ 5. 工事実績情報の登録
	○ 6. 建築材料等	○ 建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。 建設副産物の処理 1. 本工事より発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物処理法」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守するとともに、マニフェストシステムにより適正処理を行うこと。 2. 建設発生土及び建設廃棄物にあたっては、建設副産物適正処理推進要綱や関係法令を遵守すること。 3. 建設発生土及び建設廃棄物処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。 4. 建設廃材処分場は、不燃物は最寄りの処分場、可燃物は最寄りの焼却施設とする。 5. 建設廃棄物のうち、再生資材として有効利用できるコンクリート・アスファルト塊、金属くず、木くず等については、最寄りの再資源化施設(許可を受けた施設)へ搬出すること。 6. マニフェスト(管理票)の備考欄にせつこうボードの有無を明記するとともに、せつこうボードが含まれている場合は製造会社名等を明記すること。 7. 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は図示による。	○ 7. 特別な材料の工法 ○ 8. 発生材の処理等	○ 7. 特別な材料の工法 ○ 8. 発生材の処理等	○ 7. 特別な材料の工法 ○ 8. 発生材の処理等	○ 7. 特別な材料の工法 ○ 8. 発生材の処理等	○ 7. 特別な材料の工法 ○ 8. 発生材の処理等	○ 7. 特別な材料の工法 ○ 8. 発生材の処理等	○ 7. 特別な材料の工法 ○ 8. 発生材の処理等	○ 7. 特別な材料の工法 ○ 8. 発生材の処理等	○ 7. 特別な材料の工法 ○ 8. 発生材の処理等	○ 7. 特別な材料の工法 ○ 8. 発生材の処理等
	○ 9. 施工図等の取扱い ○ 10. 設備工事との取合い	○ 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。 施工範囲 図示した鉄筋コンクリート梁の貫通孔及び鉄筋コンクリート部で、補強を必要とする貫通孔、開口部の補強、壁、天井の仕上材、下地材の補強、駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ並びに自動開閉装置取付け箇所の切込み及び補強は標準詳細図などのとおりとし、本工事とする。 なお、細部については監督員と協議する。 施工図 設備機器の位置、取合いなどの検討のできる施工図を提出し、監督員の承諾を受ける。	○ 9. 施工図等の取扱い ○ 10. 設備工事との取合い	○ 9. 施工図等の取扱い ○ 10. 設備工事との取合い	○ 9. 施工図等の取扱い ○ 10. 設備工事との取合い	○ 9. 施工図等の取扱い ○ 10. 設備工事との取合い	○ 9. 施工図等の取扱い ○ 10. 設備工事との取合い	○ 9. 施工図等の取扱い ○ 10. 設備工事との取合い	○ 9. 施工図等の取扱い ○ 10. 設備工事との取合い	○ 9. 施工図等の取扱い ○ 10. 設備工事との取合い	○ 9. 施工図等の取扱い ○ 10. 設備工事との取合い	○ 9. 施工図等の取扱い ○ 10. 設備工事との取合い
	○ 11. 完成図等	○ 完成図等を提出する。 (1) 電子データ i) データ提出媒体:「CD-R」又は「DVD-R」とする。 ii) データ保存形式: CADデータ(国土交通省の「官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕業務編】」のCADデータ交換標準に対応したもの)及び画像データ。 ただし、原則に依りたい場合は、事前に監督員の承諾を得るものとする。 (2) 2つ折製本(A3判)2部を監督員に提出する。装丁や文字の仕上げについては監督員と協議。 ・保全に関する資料 部数1部(監督員の指定する様式)・取扱い説明書 部数 部 (建設戸数+2戸分)	○ 11. 完成図等	○ 11. 完成図等	○ 11. 完成図等	○ 11. 完成図等	○ 11. 完成図等	○ 11. 完成図等	○ 11. 完成図等	○ 11. 完成図等	○ 11. 完成図等	○ 11. 完成図等
	○ 12. 工事写真	○ 実績報告用写真(2部)を監督員に提出する。 着工前と完成時の外観4面及び完成時の主要内廊その他監督員の指示する工種の状況及び完成写真、その他監督員の指示する工種の状況及び完成写真	○ 12. 工事写真	○ 12. 工事写真	○ 12. 工事写真	○ 12. 工事写真	○ 12. 工事写真	○ 12. 工事写真	○ 12. 工事写真	○ 12. 工事写真	○ 12. 工事写真	○ 12. 工事写真
	○ 13. 竣工写真	○ 竣工写真は下記記者の撮影とし、箇所及び方法については監督員の指示による。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。) ・完成後(解体工事の場合は、着工前及び完成後)の航空写真及びその電子データを提出すること。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。)	○ 13. 竣工写真	○ 13. 竣工写真	○ 13. 竣工写真	○ 13. 竣工写真	○ 13. 竣工写真	○ 13. 竣工写真	○ 13. 竣工写真	○ 13. 竣工写真	○ 13. 竣工写真	○ 13. 竣工写真
	○ 14. 既存建物との取合い	○ 工事中、取合部その他本工事範囲外の部分に汚損又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。	○ 14. 既存建物との取合い	○ 14. 既存建物との取合い	○ 14. 既存建物との取合い	○ 14. 既存建物との取合い	○ 14. 既存建物との取合い	○ 14. 既存建物との取合い	○ 14. 既存建物との取合い	○ 14. 既存建物との取合い	○ 14. 既存建物との取合い	○ 14. 既存建物との取合い
	○ 15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	○ 揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告すること。 また、指針値を上回った場合は、引渡しをするまでの間、換気の繰り返し又はベークアウト等により濃度の低下に努め、指針値以下になること。なお、住宅については「住宅の品質確保の促進等に関する法律」の評価方法基準第5の6-3の(3)の定めにより測定等を行うこと。 測定対象 ・ 住宅 (建設戸数の1割以上(10戸未満の場合は1戸以上)で、各住戸2室以上) ・ 非住宅 (測定対象室()) 測定項目 ・ 5項目(ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン) ・ 6項目(上記5項目及びパラジクロロベンゼン)	○ 15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	○ 15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	○ 15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	○ 15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	○ 15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	○ 15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	○ 15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	○ 15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	○ 15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	○ 15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定
2 仮設工事	○ 1. 監督員事務所	○ ※ 設ける(規模: ・ 1号(10㎡程度) ・ 2号(20㎡程度) ・ 3号(35㎡程度) ・ 4号(65㎡程度) (2. 3. 1) ・ 5号(100㎡程度) ○ 設けない ・ 仮設便所 ・ 工事用電話 ・ 設置する備品等の種類及び数量(監督員との協議による) 仕上りは下表を標準とする。	○ 2. 工事用水	○ 3. 工事用電力	○ 4. 敷地調査	○ 5. その他	○ 6. 仮設工事	○ 7. 仮設工事	○ 8. 仮設工事	○ 9. 仮設工事	○ 10. 仮設工事	
	○ 1. 監督員事務所	○ 2. 工事用水	○ 3. 工事用電力	○ 4. 敷地調査	○ 5. その他	○ 6. 仮設工事	○ 7. 仮設工事	○ 8. 仮設工事	○ 9. 仮設工事	○ 10. 仮設工事	○ 11. 仮設工事	
	○ 1. 監督員事務所	○ 2. 工事用水	○ 3. 工事用電力	○ 4. 敷地調査	○ 5. その他	○ 6. 仮設工事	○ 7. 仮設工事	○ 8. 仮設工事	○ 9. 仮設工事	○ 10. 仮設工事	○ 11. 仮設工事	
	○ 1. 監督員事務所	○ 2. 工事用水	○ 3. 工事用電力	○ 4. 敷地調査	○ 5. その他	○ 6. 仮設工事	○ 7. 仮設工事	○ 8. 仮設工事	○ 9. 仮設工事	○ 10. 仮設工事	○ 11. 仮設工事	
3 土工	○ 1. 埋戻し及び盛土	○ 2. 地均し	○ 3. 建設発生土の処理	○ 4. 山留め	○ 1. 砂利地業	○ 2. 砂地業	○ 3. 捨コンクリート地業	○ 4. 床下防湿層	○ 1. 鉄筋の種類	○ 2. 溶接金網	○ 3. 継手及び定着	
	○ 1. 砂利地業	○ 2. 砂地業	○ 3. 捨コンクリート地業	○ 4. 床下防湿層	○ 1. 鉄筋の種類	○ 2. 溶接金網	○ 3. 継手及び定着	○ 4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	○ 5. 帯筋	○ 6. 最上階柱頭補強	○ 7. 壁開口部の補強	
	○ 1. 砂利地業	○ 2. 砂地業	○ 3. 捨コンクリート地業	○ 4. 床下防湿層	○ 1. 鉄筋の種類	○ 2. 溶接金網	○ 3. 継手及び定着	○ 4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	○ 5. 帯筋	○ 6. 最上階柱頭補強	○ 7. 壁開口部の補強	
	○ 1. 砂利地業	○ 2. 砂地業	○ 3. 捨コンクリート地業	○ 4. 床下防湿層	○ 1. 鉄筋の種類	○ 2. 溶接金網	○ 3. 継手及び定着	○ 4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	○ 5. 帯筋	○ 6. 最上階柱頭補強	○ 7. 壁開口部の補強	
4 地業工事	○ 1. 砂利地業	○ 2. 砂地業	○ 3. 捨コンクリート地業	○ 4. 床下防湿層	○ 1. 鉄筋の種類	○ 2. 溶接金網	○ 3. 継手及び定着	○ 4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	○ 5. 帯筋	○ 6. 最上階柱頭補強	○ 7. 壁開口部の補強	
	○ 1. 砂利地業	○ 2. 砂地業	○ 3. 捨コンクリート地業	○ 4. 床下防湿層	○ 1. 鉄筋の種類	○ 2. 溶接金網	○ 3. 継手及び定着	○ 4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	○ 5. 帯筋	○ 6. 最上階柱頭補強	○ 7. 壁開口部の補強	
	○ 1. 砂利地業	○ 2. 砂地業	○ 3. 捨コンクリート地業	○ 4. 床下防湿層	○ 1. 鉄筋の種類	○ 2. 溶接金網	○ 3. 継手及び定着	○ 4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	○ 5. 帯筋	○ 6. 最上階柱頭補強	○ 7. 壁開口部の補強	
	○ 1. 砂利地業	○ 2. 砂地業	○ 3. 捨コンクリート地業	○ 4. 床下防湿層	○ 1. 鉄筋の種類	○ 2. 溶接金網	○ 3. 継手及び定着	○ 4.				

7
鉄骨
工事

11
タ
イ
ル
工
事

4. 溶 接 接 合

開先形状(国土交通省大臣官庁官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による)
・レ形 ・K形 ・() (7. 6. 4)
余盛り高さ ※鉄骨精度検査基準による ・() (7. 6. 7)
・鋼製エンドタブを切断する箇所及び範囲
()
溶接部の試験 (7. 6. 12)
※外観試験
(a)()
(b)()
※超音波探傷試験 ※行う
AOQL(工場溶接) ※4.0% ・2.5%
検査水準 ※第6水準 ・()

5. 錆 止 め 塗 装

耐火被覆材の接着する面の塗装範囲() (7. 8. 2)
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲()
種別 鋼製スリーブ内面(※A種 ・B種) (7. 8. 4)(表18. 3. 1)
耐火被覆材の接着面 () (7. 8. 4)

6. 耐 火 被 覆

種類() (7. 9. 2)
材料()
工法()
耐火性能() (7. 9. 3)

7. 工 事 現 場 施 工

建方精度 ※鉄骨精度検査基準による ・() (7. 10. 2)
アンカーボルト ・構造用アンカーボルト 形状()寸法() (7. 10. 3)
・アンカーフレーム 形状()寸法()
・建方用アンカーボルト
保持及び埋込工法(・A種 ※B種 ・C種) (表7. 10. 1)
柱底均しモルタル工法 工法(※A種 ・B種) 厚さ() (7. 11. 2)

8. 軽 量 形 鋼

ボルト接合 ※普通ボルト接合 ・() (7. 11. 2)

9. 溶 融 垂 鉛 め っ き
工 法

垂鉛めっき (7. 12. 4)(表14. 2. 2)

垂鉛めっき種別	材 料	適 用 部 位
A 種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類	
B 種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類	
C 種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類	

普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類
高力ボルト接合摩擦面 ・プラスト処理 ・() (7. 12. 5)

8
コン
クリ
ート
ブ
ロ
ッ
ク
工
事

1. 補 強 コ ン ク リ ー ト
フ ロ ッ ク 造

ブロックの種類 () (8. 2. 2)
モジュール呼び寸法()
正味厚さ ()
各部の配筋 ※図示による (8. 2. 5)

2. 2.

| 章 | | 項 目 | | 特 記 事 項 | | 章 | | 項 目 | | 特 記 事 項 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------------|--|---|--------------------------|---------------------------|--------------------------|------------------------|--|--|---------------------------------|--------------------------------------|------------------------|--|-----------------------------------|--|------------------------|-----------------------------------|--------------------|--------------|-------------------------|-----------------------------------|---------|-------------|-----------------|-----------------------------------|---------|----------------|-----------|-----------------------------------|--|----------------------|---------------|--------|-----|---------|---------|------|--|------|--|------|--|---------|------|--|------|--|------|--|
| 14
金
属
工
事 | ○ 1. 一 般 事 項 | あと施工アンカー施工後の確認引張試験 ・ 実施する ○ 実施しない (14. 1. 3) | | | | 19
内
装
工
事 | ○ 1. ビニル床シート、
ビニル床タイル及び
ゴム床タイル張り | ・ 耐候性塗料塗り(DP)
・ 鉄鋼面上塗り塗料の等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 (18. 7. 2)(表18. 7. 1)
・ 亜鉛めっき鋼面上塗り塗料の等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 (18. 7. 3)(表18. 7. 2)
・ コンクリート面・押出成形セメント板面上塗り塗料の等級 (18. 7. 4)(表18. 7. 3)
・ 1級 ・ 2級 ・ 3級
○ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) (18. 8. 2～5)(表18. 8. 1～4)
○ 塗り種別(下地:コンクリート、モルタル、プ
ラスター、せっこうボード等) ・ A種 ※B種
・ 塗り種別(下地:鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面) ・ A種 ※B種
・ 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)
塗り種別 ・ A種 ※B種
・ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) (18. 10. 2)(表18. 10. 1)
木部塗り種別(一般木部及びフローリングは1液形) ・ A種 ※B種
・ オイルステイン塗り(OS) (18. 11. 2)(表18. 11. 1)
塗料 ・ () ・ 図示による
・ 木材保護塗料塗り(WP) (18. 12. 2)(表18. 12. 1)
塗り別 ・ A種 ※B種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ○ 2. 表 面 処 理 | ○ アルミニウム及びアルミニウム合金 (14. 2. 1)(表14. 2. 1)
<table><tr><th>種 類</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・ AB-1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・ AB-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・ AC-1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・ AC-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・ BA-1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・ BA-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>※BB-1種(無着色)</td><td>アルミ建具</td></tr><tr><td>・ BB-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・ BC-1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・ BC-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・ C種</td><td></td></tr></table> 陽極酸化皮膜着色方法 ※二次電解着色 (色合:) ・ ()
・ 鉄鋼の亜鉛めっき (14. 2. 2)(表14. 2. 2～4)
<table><tr><th>表面処理方法</th><th>種 類</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td><td>・ A種</td><td></td></tr><tr><td>・ B種</td><td></td></tr><tr><td>・ C種</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td><td>・ D種</td><td></td></tr><tr><td>・ E種</td><td></td></tr><tr><td>・ F種</td><td></td></tr></table> | | | | | | 種 類 | 施 工 箇 所 | ・ AB-1種(無着色) | | ・ AB-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) | | ・ AC-1種(無着色) | | ・ AC-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) | | ・ BA-1種(無着色) | | ・ BA-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) | | ※BB-1種(無着色) | アルミ建具 | ・ BB-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) | | ・ BC-1種(無着色) | | ・ BC-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) | | ・ C種 | | 表面処理方法 | 種 類 | 施 工 箇 所 | 溶融亜鉛めっき | ・ A種 | | ・ B種 | | ・ C種 | | 電気亜鉛めっき | ・ D種 | | ・ E種 | | ・ F種 | |
| | 種 類 | 施 工 箇 所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ AB-1種(無着色) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ AB-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ AC-1種(無着色) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ AC-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ BA-1種(無着色) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ BA-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※BB-1種(無着色) | アルミ建具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ BB-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ BC-1種(無着色) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ BC-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ C種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 表面処理方法 | 種 類 | 施 工 箇 所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 溶融亜鉛めっき | ・ A種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ B種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ C種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電気亜鉛めっき | ・ D種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ E種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ F種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 3. 軽 量 鉄 骨 天 井 下 | 野縁等の種類 屋内 ※19形 ・ 25形 (14. 4. 2)(表14. 4. 1)
屋外 ・ 19形 ※25形
・ 野縁受、吊ボルト及びインサート間隔(屋外) () (14. 4. 3)(表14. 4. 2)
・ 野縁の間隔(屋外) ()
・ ダクト等により吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法※図示による ・ () (14. 4. 4)
・ 天井ふところが1.5m以上の補強方法 ※図示による ・ ()
・ 屋外の軒・ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 ※図示による ・ () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 軽 量 鉄 骨 壁 下 地 | スタッド、ランナーの種類 (14. 5. 1～14. 5. 4)(表14. 5. 1)
<table><tr><th>種 類</th><th>部 材</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・ 50形</td><td>・ スタッド ・ ランナ</td><td></td></tr><tr><td>・ 65形</td><td>・ スタッド ・ ランナ</td><td></td></tr><tr><td>・ 90形</td><td>・ スタッド ・ ランナ</td><td></td></tr><tr><td>・ 100形</td><td>・ スタッド ・ ランナ</td><td></td></tr></table> | | | | 種 類 | 部 材 | 施 工 箇 所 | ・ 50形 | ・ スタッド ・ ランナ | | ・ 65形 | ・ スタッド ・ ランナ | | ・ 90形 | ・ スタッド ・ ランナ | | ・ 100形 | ・ スタッド ・ ランナ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種 類 | 部 材 | 施 工 箇 所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 50形 | ・ スタッド ・ ランナ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 65形 | ・ スタッド ・ ランナ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 90形 | ・ スタッド ・ ランナ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 100形 | ・ スタッド ・ ランナ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 金 属 成 形 板 張 り | (14. 6. 2)(14. 6. 3)
<table><tr><th>形 状</th><th>製 法</th><th>材 種</th><th>寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>表面処理</th></tr><tr><td>・ スパンドレル形</td><td>・ 押出し</td><td>※ アルミニウム製</td><td></td><td></td><td>(14.2.1～3、表14.2.1～2 による)</td></tr><tr><td></td><td>・ ロール</td><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ パネル形</td><td>※ プレス</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 伸縮調整継手 ※設けない ・ 設ける(施工箇所は図示) | | | | 形 状 | 製 法 | 材 種 | 寸法(mm) | 厚さ(mm) | 表面処理 | ・ スパンドレル形 | ・ 押出し | ※ アルミニウム製 | | | (14.2.1～3、表14.2.1～2 による) | | ・ ロール | ・ | | | | ・ パネル形 | ※ プレス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 形 状 | 製 法 | 材 種 | 寸法(mm) | 厚さ(mm) | 表面処理 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ スパンドレル形 | ・ 押出し | ※ アルミニウム製 | | | (14.2.1～3、表14.2.1～2 による) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ ロール | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ パネル形 | ※ プレス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. アルミニウム製
木 笠 | (14. 7. 2)(14. 7. 3)
<table><tr><th>種 類</th><th>表 面 処 理</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ 250形</td><td>・ AB-1種 ・ AB-2種 ・ AC-1種 ・ AC-2種</td><td>・ 隅角部及び突当たり部等
の役物は本体製造所の
仕様による</td></tr><tr><td>・ 300形</td><td>・ BA-1種 ・ BA-2種 ※BB-1種 ・ BB-2種</td><td></td></tr><tr><td>・ 350形</td><td>・ BC-1種 ・ BC-2種 ・ C種</td><td></td></tr></table> ※工法は建築基準法に基づき風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること | | | | 種 類 | 表 面 処 理 | 備 考 | ・ 250形 | ・ AB-1種 ・ AB-2種 ・ AC-1種 ・ AC-2種 | ・ 隅角部及び突当たり部等
の役物は本体製造所の
仕様による | ・ 300形 | ・ BA-1種 ・ BA-2種 ※BB-1種 ・ BB-2種 | | ・ 350形 | ・ BC-1種 ・ BC-2種 ・ C種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種 類 | 表 面 処 理 | 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 250形 | ・ AB-1種 ・ AB-2種 ・ AC-1種 ・ AC-2種 | ・ 隅角部及び突当たり部等
の役物は本体製造所の
仕様による | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 300形 | ・ BA-1種 ・ BA-2種 ※BB-1種 ・ BB-2種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 350形 | ・ BC-1種 ・ BC-2種 ・ C種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15
左
官
工
事 | ○ 1. モ ル タ ル 塗 り | 材料 (15. 3. 2)
モルタル ○ 現場調合材料 ・ 既調合材料(材料は監督員の承諾による)
防水モルタルの防水剤
製造所(監督員の承諾を得るものとする。)
・既製目地材 形状() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ○ 2. 仕 上 塗 材 仕 上 げ | 材料 (15. 6. 2)(表15. 6. 1～2)
JIS A 6909(建築用仕上塗材)
<table><tr><th>種 類</th><th>呼 び 名</th><th>仕 上 げ 形 状 等</th></tr><tr><td>○ 薄付け仕上塗材</td><td>※ 外装薄塗材E</td><td>・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状</td></tr><tr><td>○ 複層仕上塗材</td><td>※ 複層塗材E
・ 複層塗材RE
・ 防水形複層塗材E</td><td>※ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状
耐候性 ※ 耐候形3種
上塗材
溶 媒 ※ 水系 ・ 溶剤系
樹 脂 ※ アクリル系
外 観 ※ つやあり ・ つやなし
・ メタリック</td></tr></table> | | | | 種 類 | 呼 び 名 | 仕 上 げ 形 状 等 | ○ 薄付け仕上塗材 | ※ 外装薄塗材E | ・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状 | ○ 複層仕上塗材 | ※ 複層塗材E
・ 複層塗材RE
・ 防水形複層塗材E | ※ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状
耐候性 ※ 耐候形3種
上塗材
溶 媒 ※ 水系 ・ 溶剤系
樹 脂 ※ アクリル系
外 観 ※ つやあり ・ つやなし
・ メタリック | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種 類 | 呼 び 名 | 仕 上 げ 形 状 等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 薄付け仕上塗材 | ※ 外装薄塗材E | ・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 複層仕上塗材 | ※ 複層塗材E
・ 複層塗材RE
・ 防水形複層塗材E | ※ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状
耐候性 ※ 耐候形3種
上塗材
溶 媒 ※ 水系 ・ 溶剤系
樹 脂 ※ アクリル系
外 観 ※ つやあり ・ つやなし
・ メタリック | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16
建
具
工
事 | ○ 1. アルミニウム製
建 具 | (16. 2. 2.4.5)(表16. 2. 1. 2)
<table><tr><th>種 別</th><th>外 部 に 面 す る 建 具</th><th>内 部 建 具</th><th>枠見込み(mm)</th></tr><tr><td>※ 普通ドア
セツト、サッシ</td><td>※ コンクリート系
鉄骨下地</td><td>・ A種 ○ B種</td><td>※ 70 ・</td></tr><tr><td></td><td>・ 木下地</td><td>・ C種</td><td>※ 100 ・ 図示</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ D種 ・ E種</td><td>※ 70</td></tr><tr><td>・ 防音ドアセット</td><td>遮音性の等級()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 断熱ドアセット</td><td>断熱性の等級()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 耐震ドアセット</td><td>面内変形追従性の等級()</td><td></td><td></td></tr></table> 表面処理(表14.2.1による) ※BB-1種 ・
※AC-1種 ・
網戸防虫網 ※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 (16. 2. 3)
製造所 (監督員の承諾を得るものとする。) | | | | 種 別 | 外 部 に 面 す る 建 具 | 内 部 建 具 | 枠見込み(mm) | ※ 普通ドア
セツト、サッシ | ※ コンクリート系
鉄骨下地 | ・ A種 ○ B種 | ※ 70 ・ | | ・ 木下地 | ・ C種 | ※ 100 ・ 図示 | | | ・ D種 ・ E種 | ※ 70 | ・ 防音ドアセット | 遮音性の等級() | | | ・ 断熱ドアセット | 断熱性の等級() | | | ・ 耐震ドアセット | 面内変形追従性の等級() | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 種 別 | 外 部 に 面 す る 建 具 | 内 部 建 具 | 枠見込み(mm) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ※ 普通ドア
セツト、サッシ | ※ コンクリート系
鉄骨下地 | ・ A種 ○ B種 | ※ 70 ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ 木下地 | ・ C種 | ※ 100 ・ 図示 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ・ D種 ・ E種 | ※ 70 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 防音ドアセット | 遮音性の等級() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 断熱ドアセット | 断熱性の等級() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 耐震ドアセット | 面内変形追従性の等級() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 鋼 製 建 具 | (16. 4. 2.4.5)(表16. 4. 1.2)
<table><tr><th>種 別</th><th>簡易気密型ドアセットの性能</th><th>外部に面する建具の耐風圧性</th><th>銅 板 類 の 厚 さ</th></tr><tr><td>・ 標準型建具</td><td>・ 表16. 4. 1を適用する
・ 適用しない</td><td>・ S-4 ・ S-5
・ S-6 ・</td><td>※表16. 4. 2による
・ 適用しない</td></tr><tr><td>・ 標準型建具
以外の建具</td><td>・ 表16. 4. 1を適用する
・ 適用しない</td><td>・ S-4 ・ S-5
・ S-6 ・</td><td>※表16. 4. 2による
・ 適用しない</td></tr></table> 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。) | | | | 種 別 | 簡易気密型ドアセットの性能 | 外部に面する建具の耐風圧性 | 銅 板 類 の 厚 さ | ・ 標準型建具 | ・ 表16. 4. 1を適用する
・ 適用しない | ・ S-4 ・ S-5
・ S-6 ・ | ※表16. 4. 2による
・ 適用しない | ・ 標準型建具
以外の建具 | ・ 表16. 4. 1を適用する
・ 適用しない | ・ S-4 ・ S-5
・ S-6 ・ | ※表16. 4. 2による
・ 適用しない | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種 別 | 簡易気密型ドアセットの性能 | 外部に面する建具の耐風圧性 | 銅 板 類 の 厚 さ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 標準型建具 | ・ 表16. 4. 1を適用する
・ 適用しない | ・ S-4 ・ S-5
・ S-6 ・ | ※表16. 4. 2による
・ 適用しない | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 標準型建具
以外の建具 | ・ 表16. 4. 1を適用する
・ 適用しない | ・ S-4 ・ S-5
・ S-6 ・ | ※表16. 4. 2による
・ 適用しない | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. ステンレス製建具 | 材料 ※SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 (16. 6. 3)
表面仕上げ ※HL ・ No.8(鏡面) ・ #400 ・ No.2B (16. 6. 4)
曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ (16. 6. 5)
製造所 (監督員の承諾を得るものとする。) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 木 製 建 具 | 建具材の含水率 ※A種 ・ B種 ・ C種 (16. 7. 2)(表16. 7. 1)
かまち戸の樹種 かまち () 鏡板 ()
ふすま紙の上張り ・ 新鳥の子 ・ 鳥の子 ・ ビニル紙 ・ 雲花紙
枠 ・ 木製枠 ・ 鋼製枠 ()
くつずり ・ ステンレス製(HL仕上げ) ・ ()
フラッシュ戸 表面板の厚さ ※表16.7.6 ・ () (16. 7. 3)
見込み寸法 かまち戸(※36mm ・) ふすま戸(※19.5 ・ 21 ・ 18) (16. 7. 3)
戸ふすま(※30mm ・) 紙張り障子(※30mm ・) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 5. 建 具 用 金 物 | ※建具製作所の仕様による ・ 図示による (16. 8. 1.2,3)(表16. 8. 1)
マスターキー ※製作する ・ 製作しない (16. 8. 4)
鍵箱 ※必要 (組用) ・ 不要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. 重 量 シ ャ ッ タ ー | (16. 11. 2～5)
<table><tr><th>種 類</th><th>耐 風 圧 性 能</th><th>開 閉 機 能</th><th>シャッターケースの設置</th><th>危 害 防 止 機 構</th></tr><tr><td>・ 管理用シャッター</td><td>・ 50 ・ 80</td><td>※ 上部電動式
(手動併用)</td><td>・ 有 ・ 無</td><td rowspan="4">※危険防止措置
・ シャッターの二段降下方式</td></tr><tr><td>・ 外壁用防火シャッター</td><td>・ 120 ・</td><td>・ 上部電動式
(手動併用)</td><td>・ 有 ・ 無</td></tr><tr><td>・ 屋内用防火シャッター</td><td></td><td>・ 上部電動式</td><td>※ 有</td></tr><tr><td>・ 防煙シャッター</td><td></td><td>・ 上部電動式</td><td>※ 有</td></tr></table> | | | | 種 類 | 耐 風 圧 性 能 | 開 閉 機 能 | シャッターケースの設置 | 危 害 防 止 機 構 | ・ 管理用シャッター | ・ 50 ・ 80 | ※ 上部電動式
(手動併用) | ・ 有 ・ 無 | ※危険防止措置
・ シャッターの二段降下方式 | ・ 外壁用防火シャッター | ・ 120 ・ | ・ 上部電動式
(手動併用) | ・ 有 ・ 無 | ・ 屋内用防火シャッター | | ・ 上部電動式 | ※ 有 | ・ 防煙シャッター | | ・ 上部電動式 | ※ 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種 類 | 耐 風 圧 性 能 | 開 閉 機 能 | シャッターケースの設置 | 危 害 防 止 機 構 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 管理用シャッター | ・ 50 ・ 80 | ※ 上部電動式
(手動併用) | ・ 有 ・ 無 | ※危険防止措置
・ シャッターの二段降下方式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 外壁用防火シャッター | ・ 120 ・ | ・ 上部電動式
(手動併用) | ・ 有 ・ 無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 屋内用防火シャッター | | ・ 上部電動式 | ※ 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 防煙シャッター | | ・ 上部電動式 | ※ 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7. 軽 量 シ ャ ッ タ ー | 開閉形式 ※手動式 ・ 上部電動式(手動併用) (16. 12. 2)
耐風圧性能 ・ 50 ・ 65 ・ 80 ・
スラットの材質 ※塗装亜鉛めっき鋼板又は鋼帯 ・ () (16. 12. 3)
スラットの形状 ・ インターロック形 ・ オーバーラッピング形 (16. 12. 4) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 8. ガ ラ ス | JIS規格品 (16. 14. 2)
※材料、厚みは図示による | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 9. ガ ラ ス 留 め 材 | アルミニウム製建具 ※シーリング(SR-1) (16. 14. 2.3)
・ ガasket(グレイジングチャンネル形)(窓に適用)
鋼製・ステンレス製建具 ※シーリング(SR-1) (表 9. 7. 1)
木製建具 ※シーリング(SR-1) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10. ガラスブロック積み | JIS A 5212(ガラスブロック(中空)) (16. 14. 5)
表面形状() 呼び寸法() 厚さ()
壁用金属枠及び補強材 ()
力骨
<table><tr><th>材 質</th><th>寸 法</th><th>形 状</th></tr><tr><td>※ ステンレス鋼(SUS304)</td><td>※ 径5.5mm</td><td>※ はしご形状腹筋及び単筋</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> シーリング材 ()
金属製化粧カバー 材質() 寸法() 形状()
ガラスブロックの目地幅の寸法
平積み ※8～15mm ・ ()
曲面積み ※ 外側15mm以下、内側6mm以上 ・ ()
伸縮調整目地位置 ※6m以下 ・ ()
目地部の力骨の補強方法 ※ 製造所の仕様 ・ () | | | | 材 質 | 寸 法 | 形 状 | ※ ステンレス鋼(SUS304) | ※ 径5.5mm | ※ はしご形状腹筋及び単筋 | ・ | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 材 質 | 寸 法 | 形 状 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※ ステンレス鋼(SUS304) | ※ 径5.5mm | ※ はしご形状腹筋及び単筋 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18
塗
装
工
事 | ○ 1. 材 料 | ※ 屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は、防火材料の指定がある場合は建築基準法に基づき、指定又は認定を受けたものとする。基材同等の認定表示のあるものとする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ○ 2. 素 地 ご し ら え | ○ 木部 不透明塗料塗り (※A種 ・ B種) (18. 2. 2)(表18. 2. 1)
透明塗料塗り (・ A種 ※B種)
・ 鉄鋼面 (・ A種 ・ B種 ※C種) (18. 2. 3)(表18. 2. 2)
(耐候性塗料塗り(DP)の場合は、B種とする)
・ 亜鉛めっき鋼面 (・ A種 ・ B種) (18. 2. 4)(表18. 2. 3)
・ モルタル及びせっこうプラスター面 (・ A種 ※B種) (18. 2. 5)(表18. 2. 4)
○ コンクリート及びALCパネル及び押出成形セメント板面 (・ A種 ※B種) (18. 2. 6)(表18. 2. 5)
(耐候性塗料塗り(DP)、2液形ポリウレタンエナル塗り、アクリルシリコン樹脂エナル塗り、
常温乾燥形ふっ素エナル塗りについては、表18. 2. 6による)
・ せっこうボード及びその他ボード面 継目処理工法 (※A種 ・ B種) (18. 2. 7)(表18. 2. 7)
その他 (・ A種 ※B種) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 3. 塗 料 塗 り | ・ 錆止め塗料塗り (18. 3. 2～3)(表18. 3. 1～6)
<table><tr><th>下 地</th><th>塗 料 種 別</th><th>塗 り 種 別</th></tr><tr><td rowspan="4">鉄鋼面</td><td>SOP ※A種</td><td>見え掛り部分 ※A種 ・ B種</td></tr><tr><td>EP-G ・ A種 ※B種</td><td>見え隠れ部分 ・ A種 ※B種</td></tr><tr><td>DP 1回目 ※C種</td><td rowspan="2">表18. 3. 4</td></tr><tr><td>2・3回目 ※D種</td></tr><tr><td rowspan="3">亜鉛めっき鋼面</td><td>SOP ※A種 ・ B種</td><td>鋼製建具 ※A種 ・ B種</td></tr><tr><td>EP-G ※C種</td><td>その他 ・ A種 ※B種</td></tr><tr><td>DP ※B種</td><td></td></tr></table> ・ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)
塗料種類 ※1種 ・ 2種 (18. 4. 2)
木部塗り種別 (屋外) ※A種 ・ B種 (18. 4. 3)
(屋内) ・ A種 ※B種 (多孔質広葉樹の場合を除く)
鉄鋼面塗り種別 ・ A種 ※B種 (18. 4. 4)
○ クリヤラッカー塗り(CL) (18. 5. 2)(表18. 5. 1)
塗り種別 ・ A種 ※B種
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) (18. 6. 2)(表18. 6. 1)
塗り種別 ・ A種 ※B種 | | | 下 地 | 塗 料 種 別 | 塗 り 種 別 | 鉄鋼面 | SOP ※A種 | 見え掛り部分 ※A種 ・ B種 | EP-G ・ A種 ※B種 | 見え隠れ部分 ・ A種 ※B種 | DP 1回目 ※C種 | 表18. 3. 4 | 2・3回目 ※D種 | 亜鉛めっき鋼面 | SOP ※A種 ・ B種 | 鋼製建具 ※A種 ・ B種 | EP-G ※C種 | その他 ・ A種 ※B種 | DP ※B種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 下 地 | 塗 料 種 別 | 塗 り 種 別 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鉄鋼面 | SOP ※A種 | 見え掛り部分 ※A種 ・ B種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | EP-G ・ A種 ※B種 | 見え隠れ部分 ・ A種 ※B種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | DP 1回目 ※C種 | 表18. 3. 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2・3回目 ※D種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 亜鉛めっき鋼面 | SOP ※A種 ・ B種 | 鋼製建具 ※A種 ・ B種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | EP-G ※C種 | その他 ・ A種 ※B種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | DP ※B種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19
内
装
工
事 | ○ 4. 合 成 樹 脂 塗 床 | (19. 4. 2～3)(表19. 4. 4～8)
<table><tr><th>材 料</th><th>種 類</th><th>仕 上 げ の 種 類</th></tr><tr><td rowspan="2">・ 厚膜型塗床材</td><td>・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材</td><td>※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</td></tr><tr><td>・ エポキシ樹脂系塗床材</td><td>・ 薄膜流しのペ工法 (※平滑 ・ 防滑)
・ 厚膜流しのペ工法 (※平滑 ・ 防滑)
・ 樹脂モルタル工法 (※平滑 ・ 防滑)</td></tr><tr><td>・ 薄膜型塗床材</td><td>・ エポキシ樹脂系塗床材</td><td>・ 平滑仕上げ</td></tr></table> | | | 材 料 | 種 類 | 仕 上 げ の 種 類 | ・ 厚膜型塗床材 | ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 | ※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ | ・ エポキシ樹脂系塗床材 | ・ 薄膜流しのペ工法 (※平滑 ・ 防滑)
・ 厚膜流しのペ工法 (※平滑 ・ 防滑)
・ 樹脂モルタル工法 (※平滑 ・ 防滑) | ・ 薄膜型塗床材 | ・ エポキシ樹脂系塗床材 | ・ 平滑仕上げ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 材 料 | 種 類 | 仕 上 げ の 種 類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ 厚膜型塗床材 | ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 | ※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ エポキシ樹脂系塗床材 | | ・ 薄膜流しのペ工法 (※平滑 ・ 防滑)
・ 厚膜流しのペ工法 (※平滑 ・ 防滑)
・ 樹脂モルタル工法 (※平滑 ・ 防滑) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 薄膜型塗床材 | ・ エポキシ樹脂系塗床材 | ・ 平滑仕上げ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. フローリング張り | (19. 5. 2～7)(表19. 5. 1～5)
<table><tr><th>工 法</th><th>フ ロー リ ン グ 種 類</th><th>寸 法 等</th><th>樹 種</th></tr><tr><td rowspan="2">※ 釘留め工法
(接着剤併用)</td><td>単層 ※フローリングボード</td><td>表19. 5. 1</td><td>・ なら</td></tr><tr><td>複合 ・ A種
・ B種
※C種</td><td>表19. 5. 2</td><td>・ さくら</td></tr><tr><td rowspan="2">・ 直張り工法</td><td>単層 ※フローリングボード</td><td>表19. 5. 3</td><td>・ なら</td></tr><tr><td>複合 ・ A種
・ B種
・ C種</td><td>表19. 5. 4</td><td>・ さくら</td></tr><tr><td rowspan="2">・ 接着工法</td><td>単層 ・ フローリングブロック</td><td>※図示による</td><td>・ なら</td></tr><tr><td>複合 ・ フローリングボード</td><td>表19. 5. 5</td><td>・ さくら</td></tr><tr><td></td><td>・ A種
・ B種
・ C種</td><td>表19. 5. 6</td><td>・</td></tr></table> | | | 工 法 | フ ロー リ ン グ 種 類 | 寸 法 等 | 樹 種 | ※ 釘留め工法
(接着剤併用) | 単層 ※フローリングボード | 表19. 5. 1 | ・ なら | 複合 ・ A種
・ B種
※C種 | 表19. 5. 2 | ・ さくら | ・ 直張り工法 | 単層 ※フローリングボード | 表19. 5. 3 | ・ なら | 複合 ・ A種
・ B種
・ C種 | 表19. 5. 4 | ・ さくら | ・ 接着工法 | 単層 ・ フローリングブロック | ※図示による | ・ なら | 複合 ・ フローリングボード | 表19. 5. 5 | ・ さくら | | ・ A種
・ B種
・ C種 | 表19. 5. 6 | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工 法 | フ ロー リ ン グ 種 類 | 寸 法 等 | 樹 種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※ 釘留め工法
(接着剤併用) | 単層 ※フローリングボード | 表19. 5. 1 | ・ なら | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 複合 ・ A種
・ B種
※C種 | 表19. 5. 2 | ・ さくら | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 直張り工法 | 単層 ※フローリングボード | 表19. 5. 3 | ・ なら | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 複合 ・ A種
・ B種
・ C種 | 表19. 5. 4 | ・ さくら | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 接着工法 | 単層 ・ フローリングブロック | ※図示による | ・ なら | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 複合 ・ フローリングボード | 表19. 5. 5 | ・ さくら | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ A種
・ B種
・ C種 | 表19. 5. 6 | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 畳 敷 き | 畳の種別 (和室) ・ A種 ・ B種 ・ C種 (19. 6. 2)(表19. 6. 1)
・ D種 (・ KT-I ・ KT-II ・ KT-Ⅲ ・ KT-K ・ KT-N)
(柔道場) 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古川 稔 | | 福平小学校プール新築その他本体工事
建築工事特記仕様書 5ー4
鹿児島市建設局建築部建築課
Aー4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 章 | | 項 目 | | 特 記 事 項 | | 章 | | 項 目 | | 特 記 事 項 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-------------------|------------------------------------|----------------|---|--------------------|---------------------------|--|---|--|---|--|-----|---------|----------|----------------|---------------------|------|----------------|---------------------|--------------------|------------------|-----------|-------------------|------------|------------|------------------|
| 19
内装工事 | ○ | 6. せっこうボード、
その他ボード及び
合 板 張 り | | せっこうボード、その他ボード類 (19. 7. 2～3) (表 19. 7. 1～5) | | | | 6. 階 段 滑 り 止 め | | 材種 ※ SUS ・ ()
形状 ※ ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ ゴムタイヤなし
両端フラットエンド ・ 無 ※ 有
幅(mm) ・ 35 ※ 40
取付け工法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法(溶接)
床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる。
・ 黄銅製 4×12 ・ ステンレス製 4×12 ※ ステンレス製 〇型 (幅40 内外厚さ2) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | ○ 7. 床 目 地 棒 | | 床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる。
・ 黄銅製 4×12 ・ ステンレス製 4×12 ※ ステンレス製 〇型 (幅40 内外厚さ2) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 8. 黒 板 及 び
ホワイ ト ホ ー ト | | (20. 2. 9)
<table><tr><th></th><th>種 類</th><th>寸 法 (mm)</th><th>色 彩</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ 黒板</td><td>※ 研出し
・ 焼付け</td><td></td><td>※ 緑 ・ 黒
※ 緑 ・ 黒</td><td>※ 曲面 ・ スクリーン付引分け</td></tr><tr><td>・ ホワイトボード</td><td>※ ほうろう白板</td><td></td><td>※ 白
※ 白</td><td>・ 曲面 ・ スクリーン付引分け</td></tr></table> 黒板及びホワイトボードについて5年保証書を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。
(製品には、製造年月、製作所記名プレートを取り付ける。) | | | 種 類 | 寸 法 (mm) | 色 彩 | 備 考 | ・ 黒板 | ※ 研出し
・ 焼付け | | ※ 緑 ・ 黒
※ 緑 ・ 黒 | ※ 曲面 ・ スクリーン付引分け | ・ ホワイトボード | ※ ほうろう白板 | | ※ 白
※ 白 | ・ 曲面 ・ スクリーン付引分け |
| | | | 種 類 | 寸 法 (mm) | 色 彩 | 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ・ 黒板 | ※ 研出し
・ 焼付け | | ※ 緑 ・ 黒
※ 緑 ・ 黒 | ※ 曲面 ・ スクリーン付引分け | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ・ ホワイトボード | ※ ほうろう白板 | | ※ 白
※ 白 | ・ 曲面 ・ スクリーン付引分け | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 9. 鏡 | | 厚さ ※ 5mm ・ (20. 2. 10) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | ○ 10. 表 示 | | ・ 対人衝突防止表示 ※ 図示 (市販品 ※ ステンレス製 径約30mm ・) ・ 無し
・ 誘導標識、非常用進入口等の表示は消防法に適合する市販品とし、その他は共通詳細図による。(20. 2. 11)
◎ 室名表示 ※ 図示による | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 11. ブ ラ イ ンド | | (20. 2. 13)
<table><tr><th>形 式</th><th>スラットの材種</th><th>開 閉 方 式</th><th>スラットの幅
(mm)</th><th>ヘッドボックス
及びボトムレール</th></tr><tr><td>・ 横形</td><td>※ アルミニウム合金</td><td>※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td><td>※ 25 ・</td><td>※ 鋼製</td></tr><tr><td>・ 縦形</td><td>・ アルスラット ・ クロスラット</td><td>※ 2本操作コード式</td><td>・ 80 ・ 100</td><td></td></tr></table> | | 形 式 | スラットの材種 | 開 閉 方 式 | スラットの幅
(mm) | ヘッドボックス
及びボトムレール | ・ 横形 | ※ アルミニウム合金 | ※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式 | ※ 25 ・ | ※ 鋼製 | ・ 縦形 | ・ アルスラット ・ クロスラット | ※ 2本操作コード式 | ・ 80 ・ 100 | |
| | | 形 式 | スラットの材種 | 開 閉 方 式 | スラットの幅
(mm) | ヘッドボックス
及びボトムレール | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 横形 | ※ アルミニウム合金 | ※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式 | ※ 25 ・ | ※ 鋼製 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 縦形 | ・ アルスラット ・ クロスラット | ※ 2本操作コード式 | ・ 80 ・ 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 12. カー テ ン 及 び
カーテンレール | | レール、ブラケットの強さによる区分 ※ 10-90 ・ () (20. 2. 16) (表 20. 2. 1)
材料 カーテンレール ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成型材 (アルマイト仕上げ)
・ ステンレス製
工法 暗幕用カーテン両端、上部及び召合せ重なり ※ 300mm以上 ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 21
排水工事 | | ○ 1. 屋 外 雨 水 排 水
材料 ※ 図示による | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | ○ | | 2. 緑 石 及 び 側 溝
材料 ※ 図示による | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 22
舗装工事 | | ○ 1. 路 盤
・ 厚さ： ※ 図面による
・ 材料： ※ 再生クラッシュランRC-40 ・ クラッシュランC-40 ・ 図面による
・ 構成及び厚さ： ※ 図面による
・ 再生アスファルトの種類 ・ 60～80 ・ 80～100 ・ ()
・ シールコートの適用： ・ 行う ※ 行わない
・ 表層の加熱アスファルトの混合物の種類： ・ ()
・ 切取り検査： ・ 行う ※ 行わない
・ アスファルト混合物等の抽出試験： ・ 行う ※ 行わない
○ 3. コンクリート舗装
・ 構成及び厚さ： ※ 図面による
・ 寒冷期に施工する場合で早強セメントを用いる場合： ※ 用いない ・ 用いる
・ 注入目地材料のタイプ： ※ 低弾性タイプ ・ ()
・ 溶接金網の網目の形状寸法、鉄線の径： ※ 鉄線径 6mm 網目 150mm
4. 透水性アスファルト
舗 装
・ 構成及び厚さ： ※ 図面による
・ 路盤材料： フィルター層は良質なシラスとする
5. ブロック系舗装
・ 種類： ・ コンクリート平板舗装 ・ インターロッキングブロック舗装 ・ 舗石舗装
・ 構成及び厚さ： ※ 図面による
・ ブロックの敷設パターン： ※ 監督員の指示による ・ ()
6. 砂 利 敷 き
・ 構成及び厚さ： ※ 図面による
・ 種別： ・ A種 ・ B種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

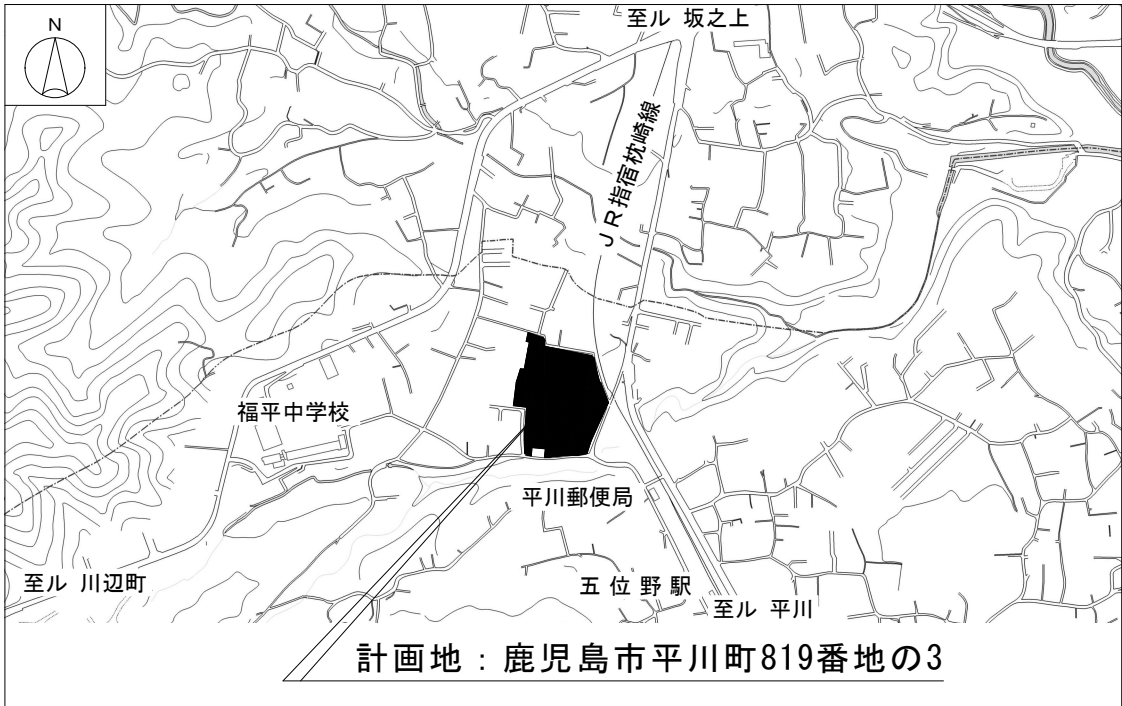
■ 工事概要

| 新築建築物 | | | |
|-------|------------------|---------------|------------------------|
| 番 号 | 用 途 | 概 要 | |
| (1) | プール付属屋①（児童用更衣室等） | 鉄筋コンクリート造 平家建 | 延べ面積:68.80㎡ |
| (2) | プール付属屋②（職員更衣室等） | 鉄筋コンクリート造 平家建 | 延べ面積:24.00㎡ |
| (3) | 屋根付休憩所 | アルミ合金造 平家建 | 延べ面積:65.10㎡(32.55㎡×2棟) |
| (4) | 物品倉庫 | 鉄筋コンクリート造 平家建 | 延べ面積:19.50㎡ |

| 新築工作物・外構等 | | |
|-----------|--------|---|
| 番 号 | 用 途 | 概 要 |
| (5) | 大プール | ステンレスプール 6レーン 水面積:325㎡
配管用トレンチピット（鉄筋コンクリート造） |
| (6) | 小プール | ステンレスプール 水面積:55.25㎡
配管用トレンチピット（鉄筋コンクリート造） |
| (7) | プール擁壁 | 鉄筋コンクリート造 L型・重力式・土留壁 |
| (8) | プールサイド | フェンス、シャワースペース、土間、側溝等を含む |
| | | |

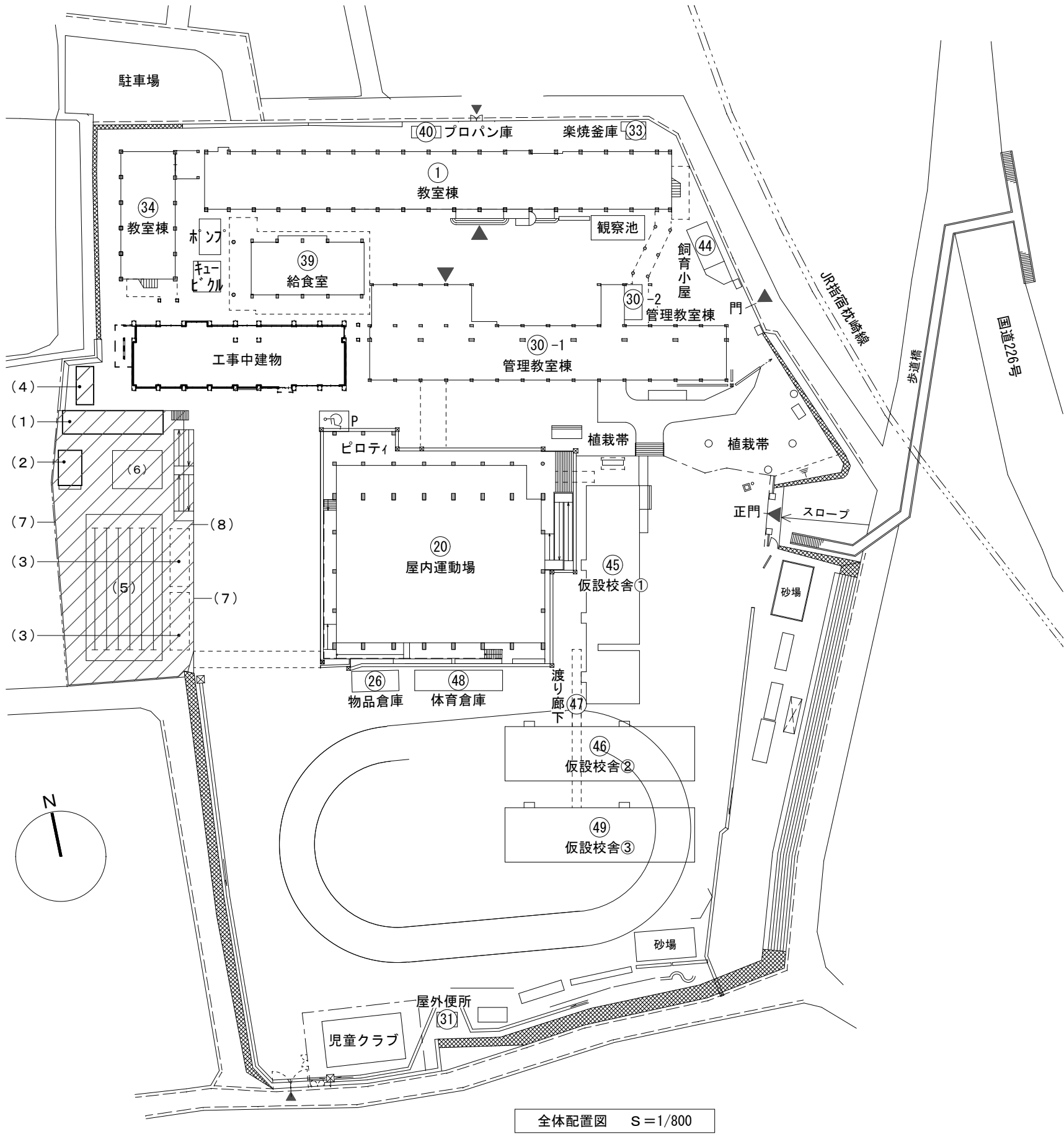
■ 既存建築物面積表（建築基準法算定）

| | | 延べ面積（㎡） | 建築面積（㎡） | | | 延べ面積（㎡） | 建築面積（㎡） |
|------|-------|----------|----------|----|-------|------------|-----------|
| ① | 教室棟 | 2,023.00 | 674.30 | ③9 | 給食室 | 203.97 | 273.10 |
| ②0 | 屋内運動場 | 1,230.35 | 1,309.08 | ④0 | プロパン庫 | 10.00 | 10.00 |
| ②6 | 物品倉庫 | 28.00 | 28.00 | ④4 | 飼育小屋 | 44.00 | 44.00 |
| ③0-1 | 管理教室棟 | 2521.56 | 768.26 | ④5 | 仮設校舎① | 670.12 | 348.35 |
| ③0-2 | 管理教室棟 | 12.00 | 58.69 | ④6 | 仮設校舎② | 664.48 | 334.04 |
| ③1 | 屋外便所 | 9.00 | 9.00 | ④7 | 渡り廊下 | 0.00 | 30.09 |
| ③3 | 楽焼釜庫 | 11.00 | 11.00 | ④8 | 体育倉庫 | 76.59 | 76.59 |
| ③4 | 教室棟 | 405.00 | 269.29 | ④9 | 仮設校舎③ | 665.72 | 343.43 |
| | | | | | 新築校舎 | 1,536.84 | 467.23 |
| 合 計 | | | | | | 10,111.63㎡ | 5,054.45㎡ |



計画地：鹿児島市平川町819番地の3

付 近 見 取 図 No Scale



※工事を施工するにあたり、学校関係車両の通行の支障にならないよう十分配慮し施工すること。
※作業中は工事関係者であることがわかる腕章を身に着けること。
※校舎増築工事の受注業者と協力しながら施工を行うこと。

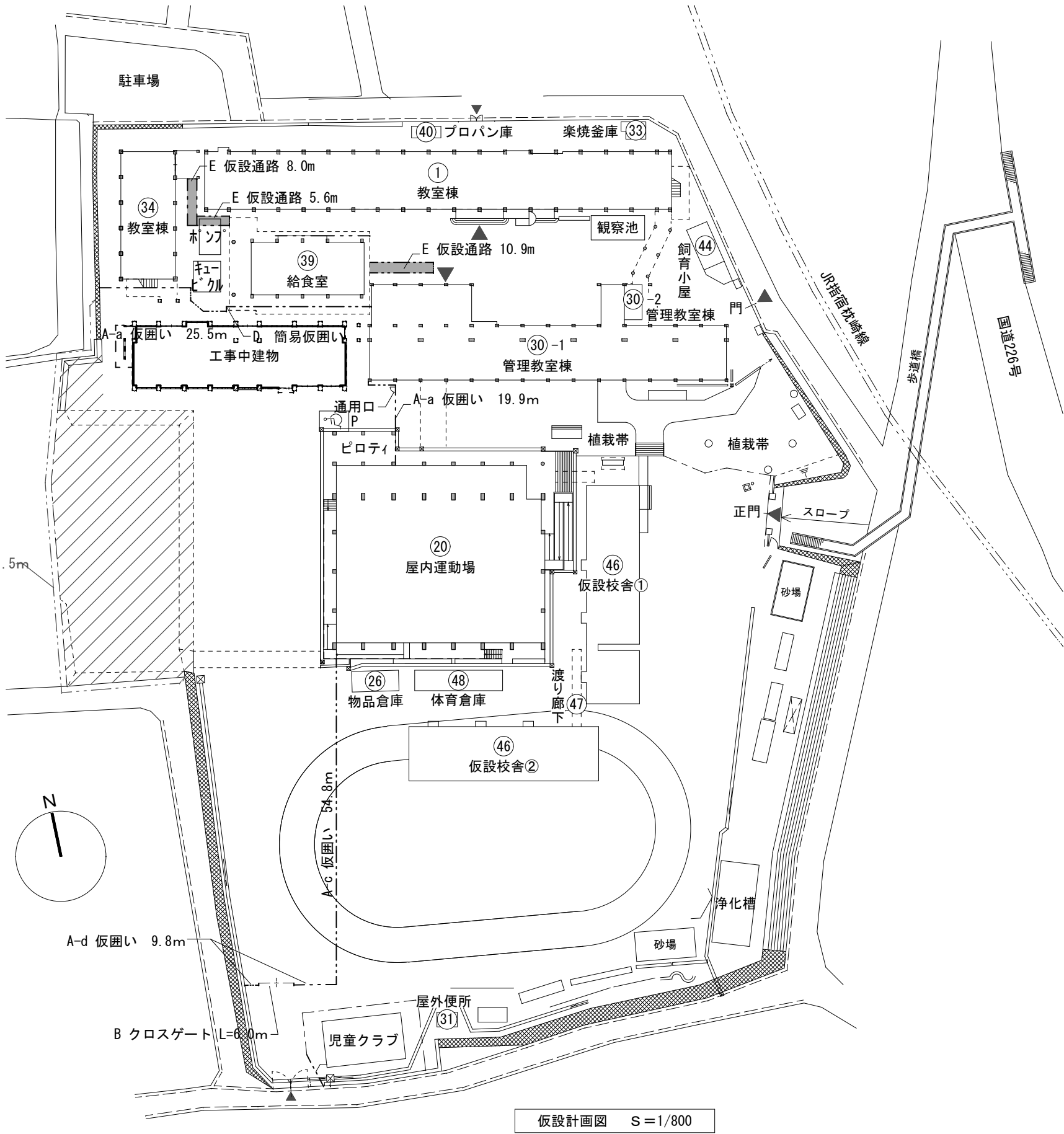
| | | | |
|--|------------------------------|----------|------|
| (株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古 川 稔 | 福平小学校プール新築その他本体工事 | | |
| | 工事概要・既存建築物面積表
付近見取図・全体配置図 | A3:1/800 | A-06 |
| | 鹿児島市建設局建築部建築課 | | |

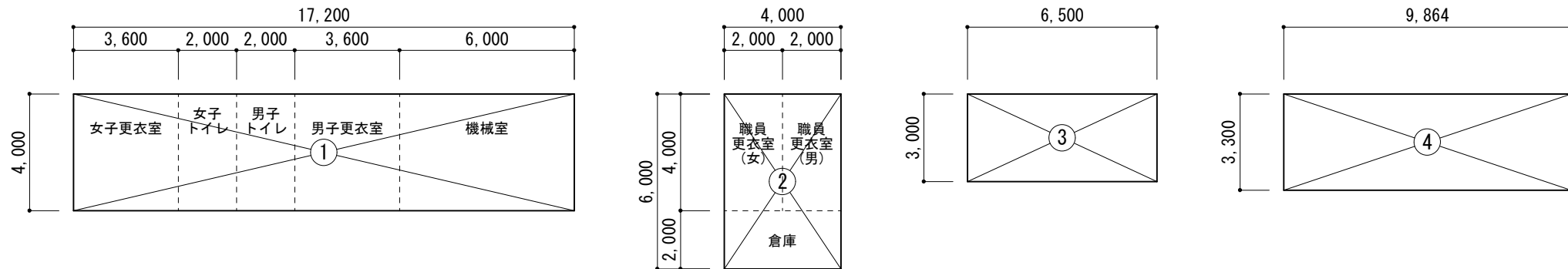
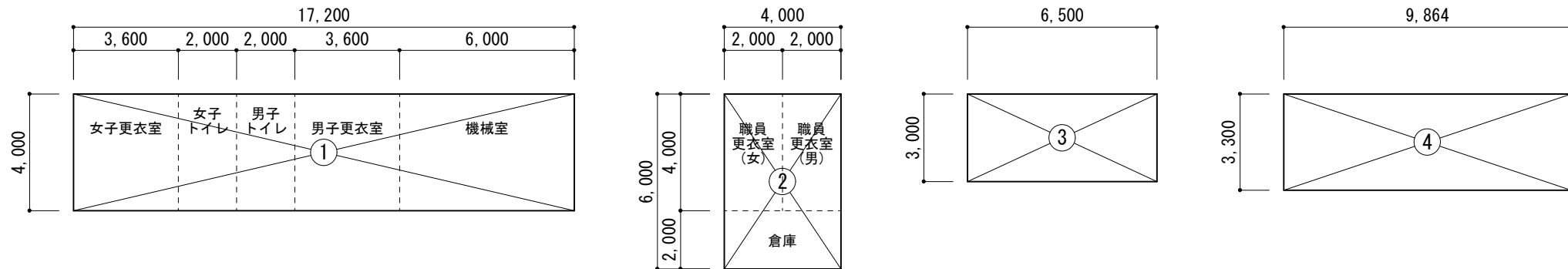
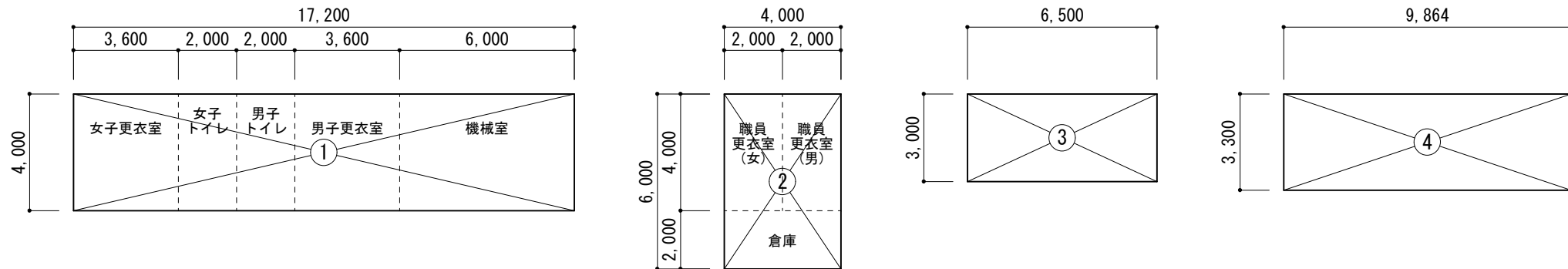
| | 仮 設 仕 様 | 備 考 |
|---|----------------------------------|------|
| A | a 銅板仮囲い : H=2.0m L=25.5m | 別途工事 |
| | b 銅板仮囲い : H=2.0m L=19.9m(通用口1ヵ所) | |
| | c 銅板仮囲い : H=2.0m L=54.8m | |
| | d 銅板仮囲い : H=2.0m L=9.8m | |
| B | クロスゲート : H=2.0m L=6.0m | 別途工事 |
| C | シート張り仮囲い : H=2.0m L=91.5m | |
| D | 簡易仮囲い : H=2.9m L=24.8m | 別途工事 |
| E | 仮設通路 : L=24.5m | 別途工事 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

※施工に伴い必要となる諸手続き（道路使用許可等）については、関係機関と協議の上、適切に処理すること。

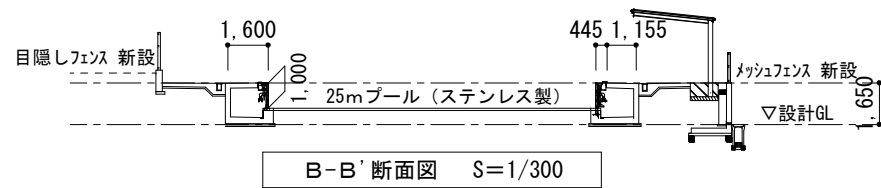
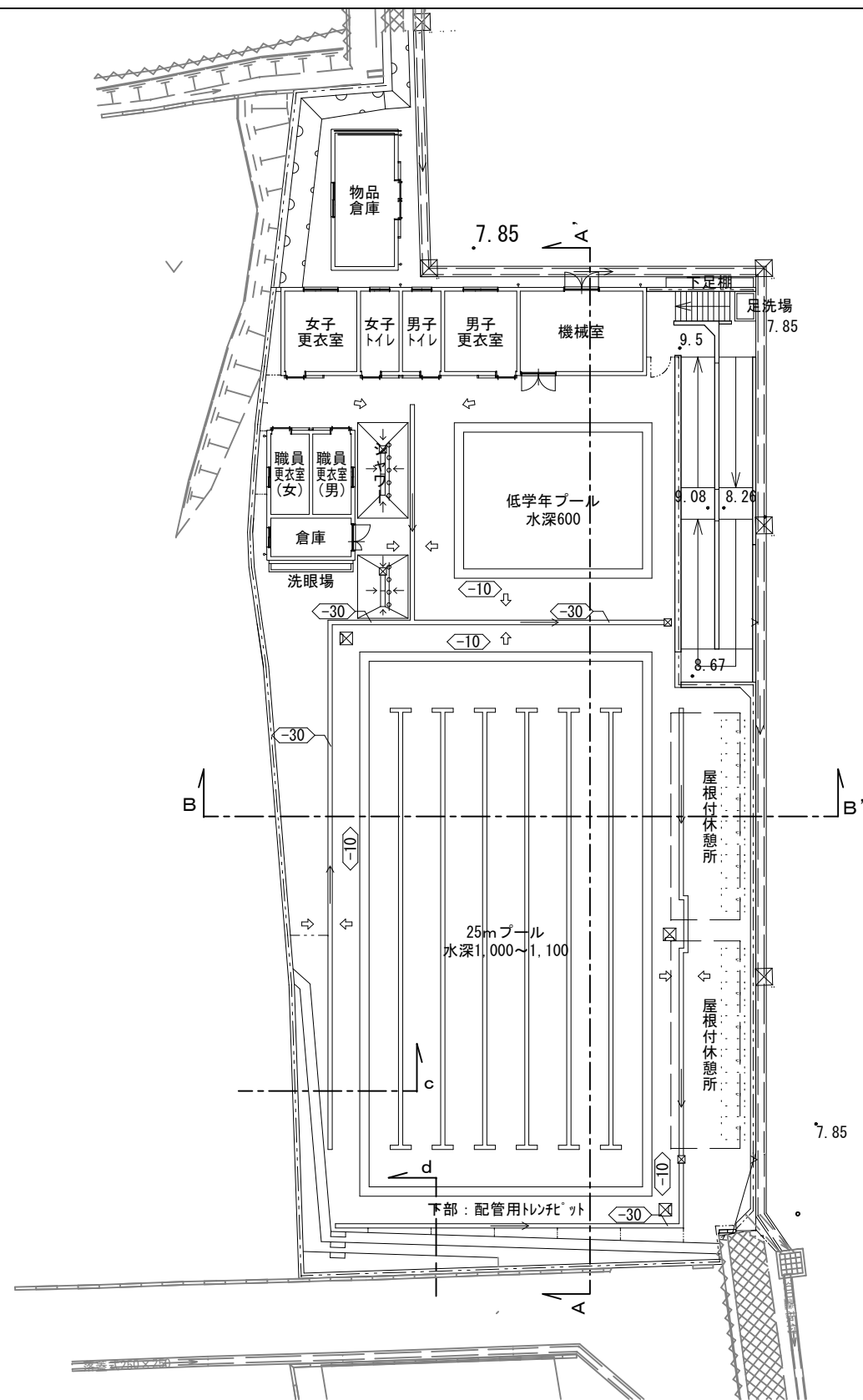
※こまめに散水し、隣地へ砂・粉塵の飛散防止に努めること。

C シート張り仮囲い L=91.5m



| ■ 建 築 概 要 | | | | | | ■ 面 積 表 | | | | | | | | | |
|-----------|--------------------------------|------------|---------|------------|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 工事名称 | 福平小学校プール新築その他本体工事 | | | | |  | | | | | | | | | |
| 地名地番 | 鹿児島市平川町 8 1 9 番地の 3 | | | | | | | | | | | | | | |
| 用途地域 | 指定なし | 許容建蔽率 | 50% | 許容容積率 | 80% | | | | | | | | | | |
| 防火指定 | 指定なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 主要用途 | 小学校 | | | | | | | | | | | | | | |
| 工事種別 | 新築 | | | | |  | | | | | | | | | |
| | 新設・新築部分 | 既存部分 | | 合 計 | | | | | | | | | | | |
| 敷地面積 | | 16,504.93㎡ | | 16,504.93㎡ | | | | | | | | | | | |
| 建築面積 | 177.40㎡ | 5,054.45㎡ | | 5,231.85㎡ | | | | | | | | | | | |
| 延べ床面積 | 177.40㎡ | 10,111.63㎡ | | 10,289.03㎡ | | | | | | | | | | | |
| 建 蔽 率 | 31.70% | | | | |  | | | | | | | | | |
| 容 積 率 | 62.34% | | | | | | | | | | | | | | |
| 耐火建築物 | プール付属屋：その他
屋根付休憩所：その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| 構 造 | プール付属屋：ＲＣ造平家建
屋根付休憩所：アルミ合金造 | | | | | | | | | | | | | | |
| 最高の高さ | プール付属屋① | 5.15 m | プール付属屋② | 3.50 m | | | | | | | | | | | |
| 最高の軒の高さ | 物品倉庫 | 3.00 m | 屋根付休憩所 | 2.921m | | | | | | | | | | | |
| | プール付属屋① | 4.00 m | プール付属屋② | 3.32 m | | | | | | | | | | | |
| | 物品倉庫 | 2.76 m | 屋根付休憩所 | 2.469m | | | | | | | | | | | |

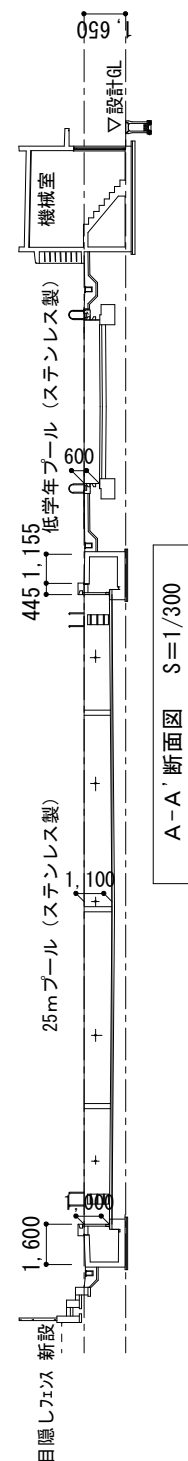
| 建築面積 | | | | 延べ床面積 | | | | 各室床面積 | |
|-----------------------------|----------------------------|----------------------------|--------------------------------------|-----------------------------|----------------------------|----------------------------|--------------------------------------|--------------------|-------------------|
| プール付属屋① | プール付属屋② | 物品倉庫 | 屋根付休憩所(2ヶ所) | プール付属屋① | プール付属屋② | 物品倉庫 | 屋根付休憩所(2ヶ所) | 男子更衣室・女子更衣室 | 男子便所・女子便所 |
| ① 17.20 × 4.00
= 68.80 ㎡ | ② 4.00 × 6.00
= 24.00 ㎡ | ③ 6.50 × 3.00
= 19.50 ㎡ | ④ 9.864 × 3.30
× 2
= 65.1024 ㎡ | ① 17.20 × 4.00
= 68.80 ㎡ | ② 4.00 × 6.00
= 24.00 ㎡ | ③ 6.50 × 3.00
= 19.50 ㎡ | ④ 9.864 × 3.30
× 2
= 65.1024 ㎡ | 28.8㎡(14.4 + 14.4) | 16.0㎡(8.0 + 8.0) |
| 小計 68.80 ㎡ | 小計 24.00 ㎡ | 小計 19.50 ㎡ | 小計 65.1024 ㎡ | 小計 68.80 ㎡ | 小計 24.00 ㎡ | 小計 19.50 ㎡ | 小計 65.1024 ㎡ | 機械室 | 職員更衣室(男)・職員更衣室(女) |
| 合計 177.40 ㎡ | | | | 合計 177.40 ㎡ | | | | 倉庫 | |
| | | | | | | | | 8.0㎡ | |



全体平面図 S=1/300

*** : 設計GL+1,650からの高低差を示す
▽設計GL+1,650

※道路境界線・隣地境界線から擁壁の位置については、
監督員と現場確認・協議の上、決定すること。

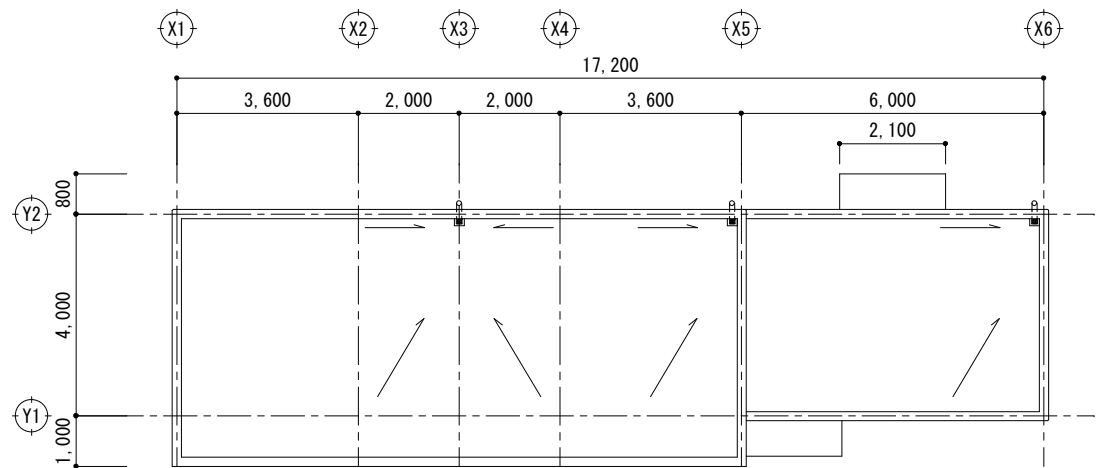


A-A'断面図 S=1/300

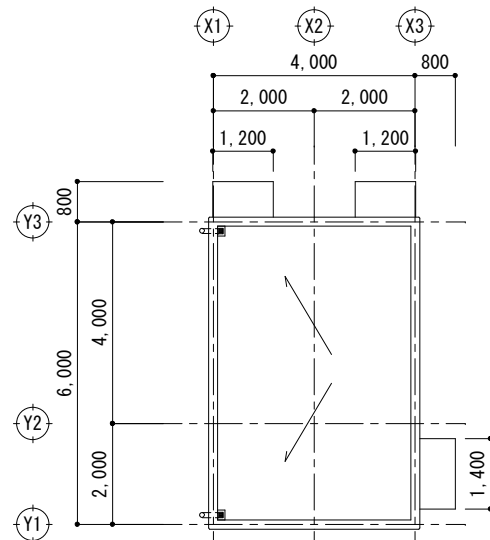
| ■ 工 事 区 分 表 | | | |
|-------------------------------|----|----|----|
| 工事項目 | 建築 | 機械 | 電気 |
| 外部足場 | ○ | | |
| 内部足場 | ○ | | |
| 鏡・衛生器具 | | ○ | |
| 衛生器具廻りコーキング | | ○ | |
| 天井点検口（開口補強共） | ○ | | |
| トイレパーテーション | ○ | | |
| プール廻りろ過配管及び給水・吐出ノズル | ○ | | |
| 上記以外のろ過配管 | | ○ | |
| プール給水口（市水） | ○ | | |
| 補給水口への給水配管接続 | | ○ | |
| 低学年プール給水口（ろ過） | ○ | | |
| プール廻りオーバーフロー管及び排水口（65φ）及び放流まで | ○ | | |
| プールサイド雨排水管（75φ）トレンチまで | ○ | | |
| プール排水口及びバルブビットまでの排水管 | ○ | | |
| 上記以降の排水管（既設排水管接続まで） | | ○ | |
| 25mプール消防用採水口取出口 | ○ | | |
| 上記以降の消火管及び採水口 | | ○ | |
| 機械室内集水樹 | ○ | | |
| 上記以降のポンプ排水設備 | | ○ | |
| 機械室内機器用コンクリート基礎 | ○ | | |
| ろ過機用制御盤 ※取付は電気工事 | | ○ | ○ |
| ろ過機循環ポンプ一次側及び二次側電源配線配管工事 | | | ○ |
| 排水ポンプ電源 | | | ○ |
| 職員更衣室（男女）シャワー用排水ユニット（トラップ含） | ○ | | |
| 同上以降の排水管 | | ○ | |
| 屋外シャワースペース配管及びシャワーノズル（排水も含む） | | ○ | |
| 設備用スリーブ取付 | | ○ | ○ |
| 上記の補強筋工事 | ○ | | |

（株）アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古 川 稔

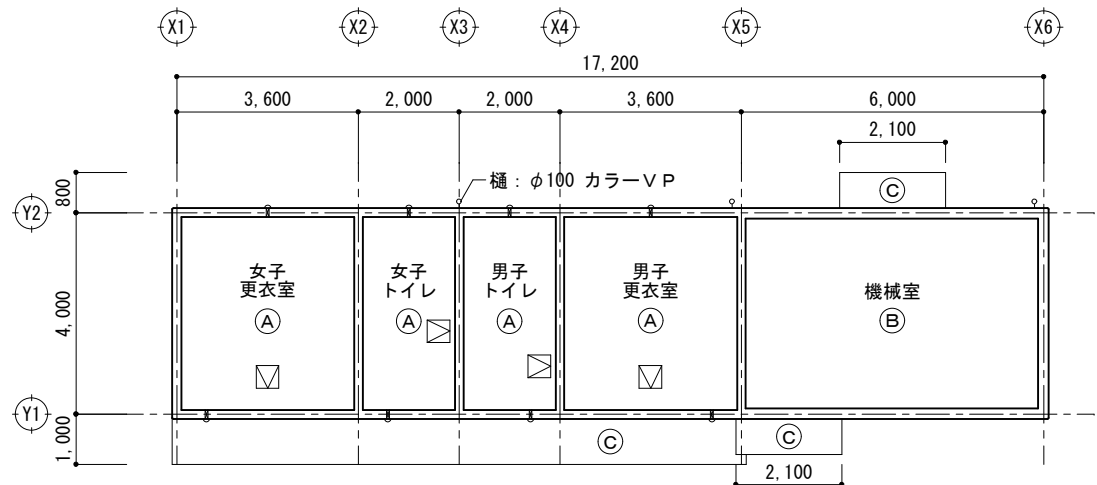
| 福平小学校プール新築その他本体工事 | | |
|-------------------|----------|------|
| 全体平面図・断面図・工事区分図 | A3:1/300 | A-09 |
| 鹿児島市建設局建築部建築課 | | |



プール付属屋① 屋根伏図



プール付属屋② 天井伏図

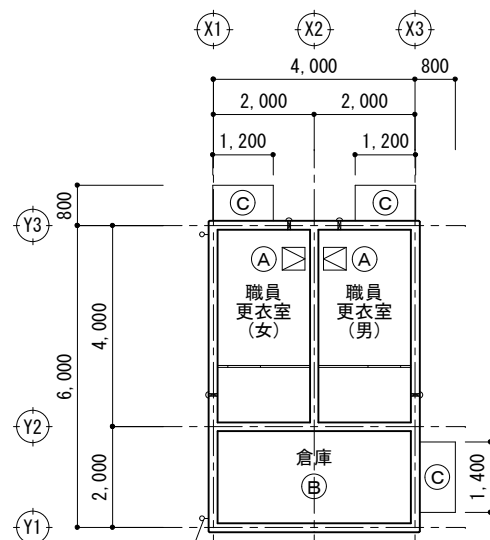


プール付属屋① 天井伏図

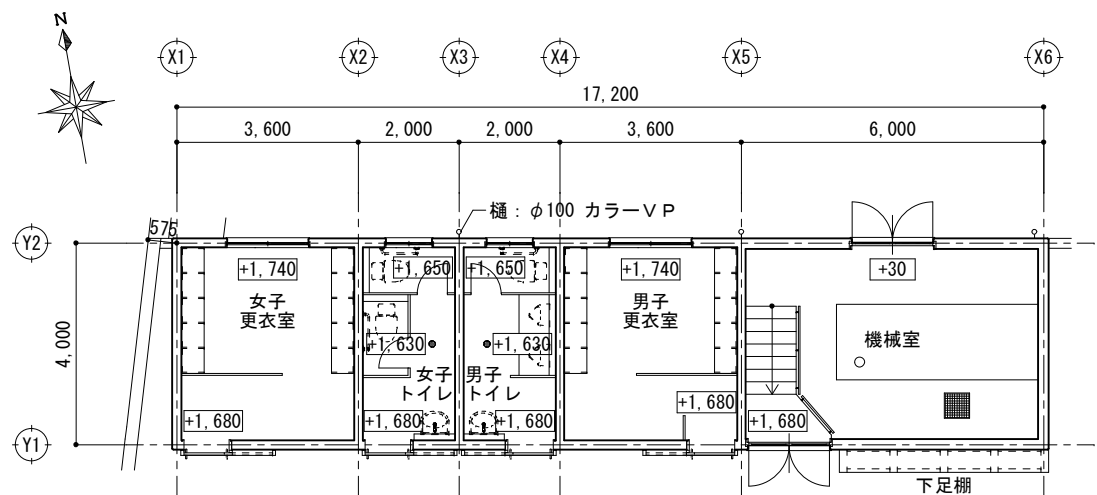
■天井伏図凡例

| 記号 | 仕上げ |
|----|--|
| Ⓐ | 厚9.5シーリング石膏ボードの上E P-G塗装 |
| Ⓑ | 厚25木毛セメント板 コンクリート同時打込み |
| Ⓒ | コンクリート打放し (B種) の上軒天用仕上げ塗材 (揚裏) |
| ☒ | ステンレス製フラット型フードガラー φ75 (ステンレス製防虫網付) ①: 8ヶ所、②: 4ヶ所 |
| ☒ | アルミ製天井点検口 450×450 ①: 4ヶ所、②: 2ヶ所 |
| ○ | S U S製丸環 (打ち込み式) φ100 ①: 1ヶ所、②: ー |

※天井点検口の設置位置は協議の上決定する。
※S U S製丸環の設置位置は協議の上決定する。

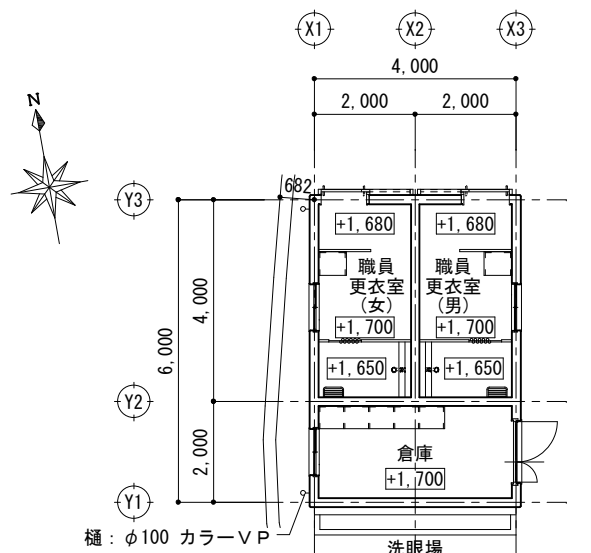


プール付属屋② 天井伏図



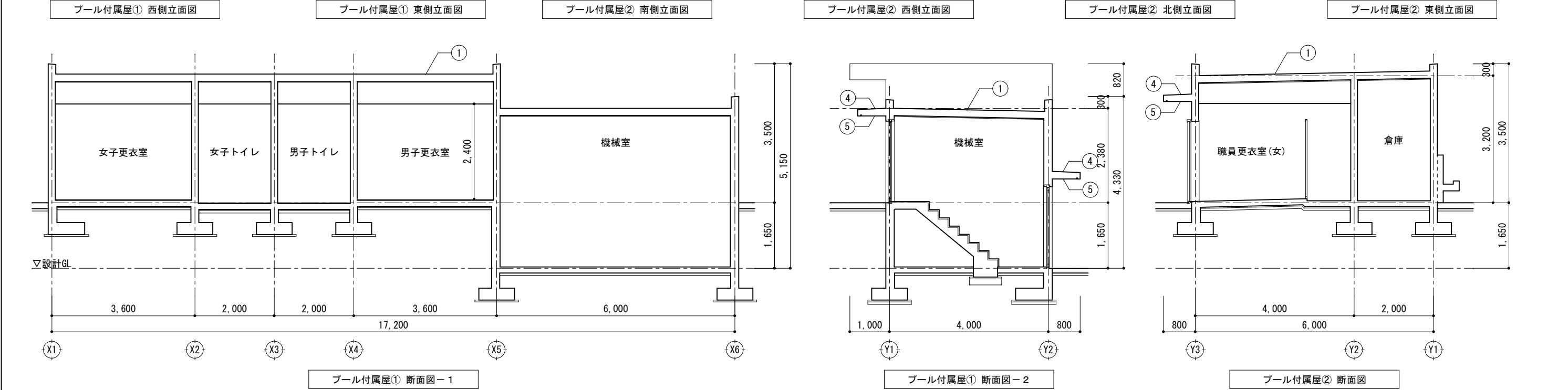
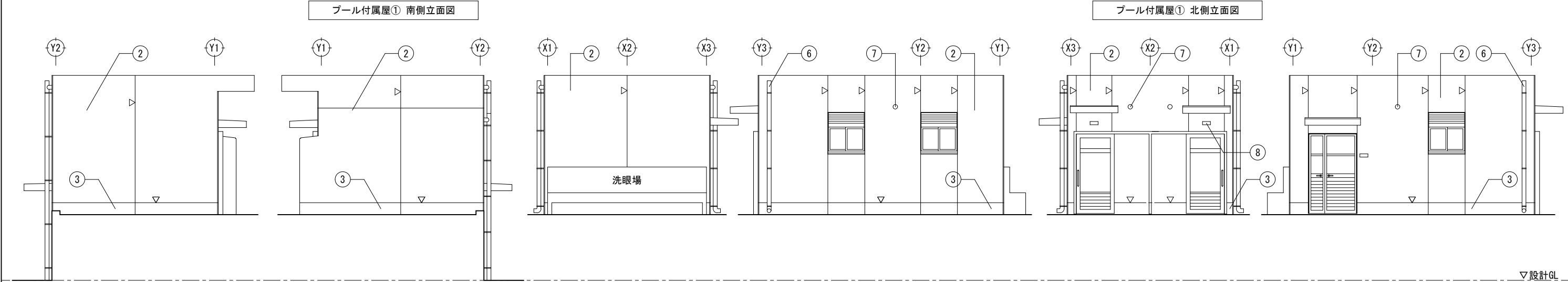
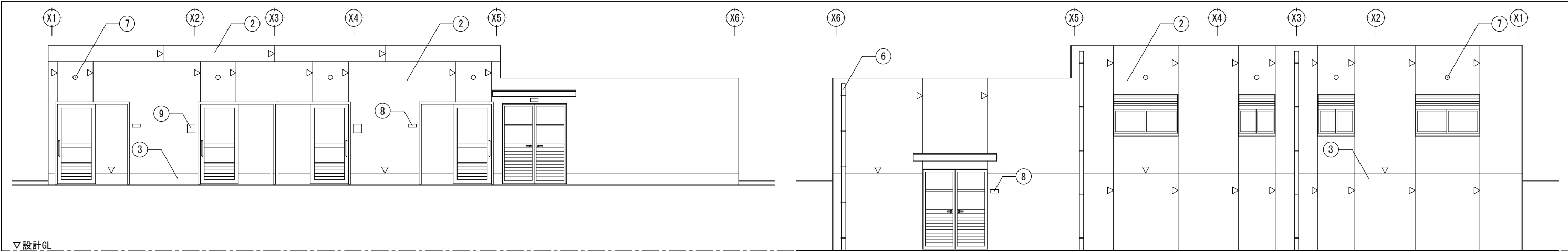
プール付属屋① 平面図

+N : 設計GLからの高低差を示す



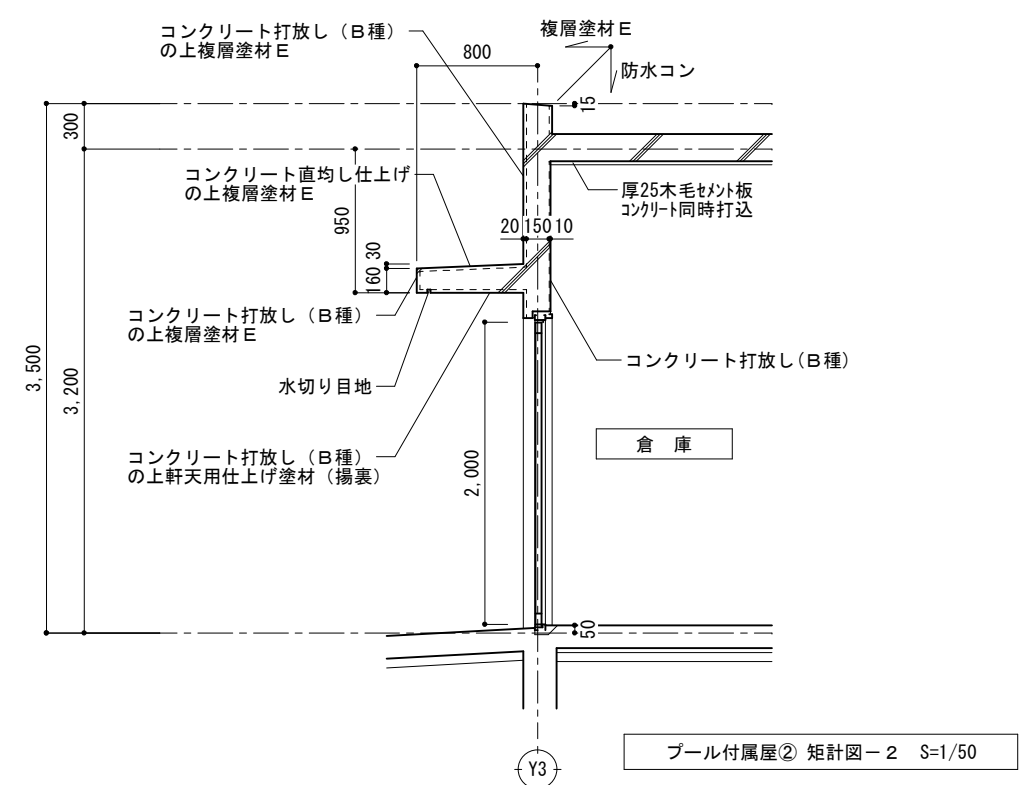
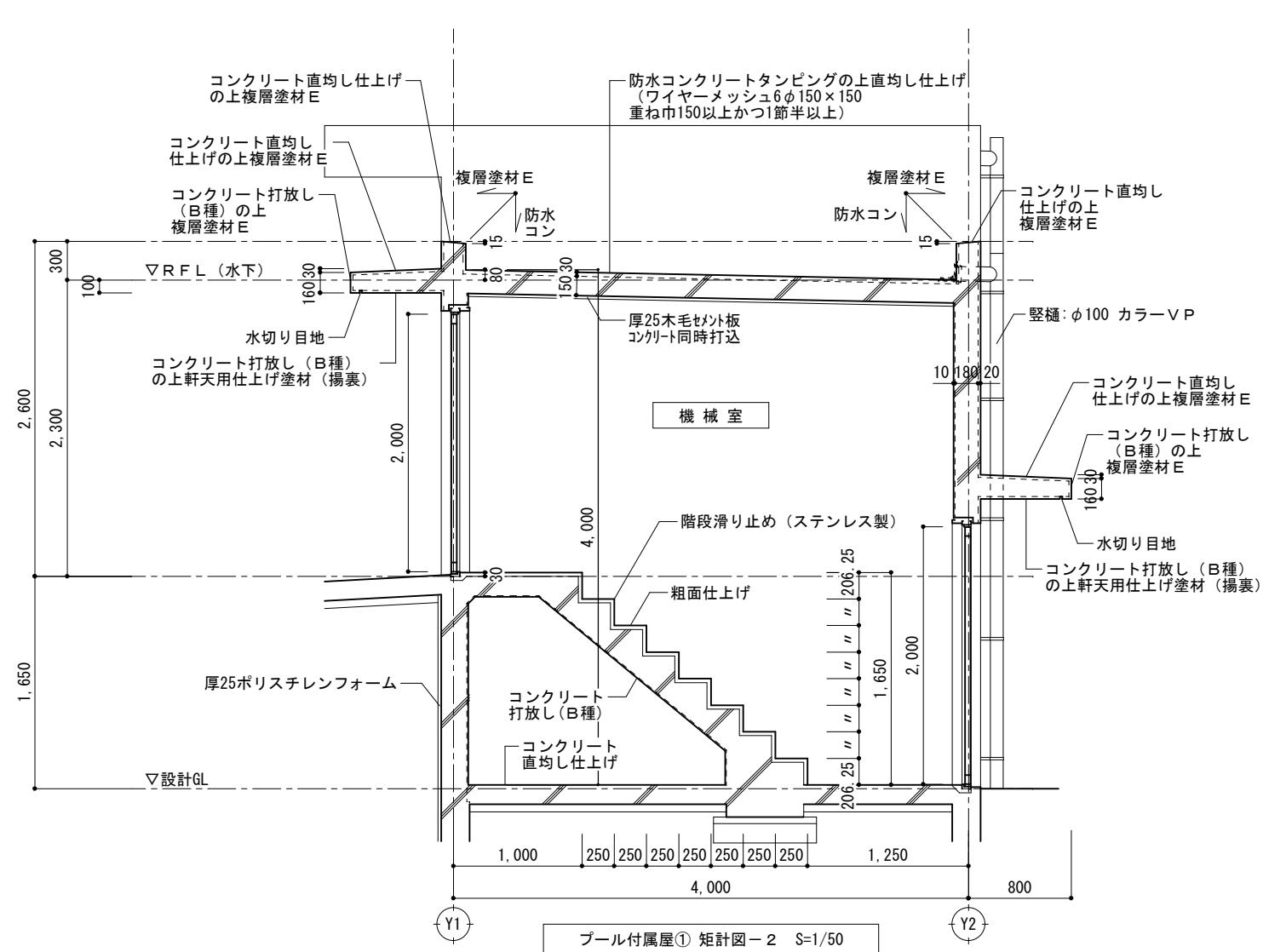
プール付属屋② 平面図

+N : 設計GLからの高低差を示す

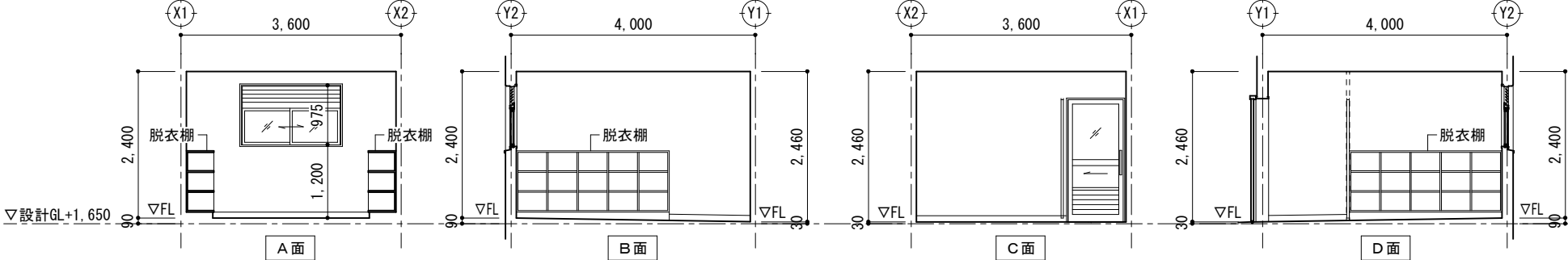


| 仕上凡例 | | | |
|------|--------------------------------------|---|---|
| ① | 防水コンクリートタンピングの上直均し仕上げ | ⑦ | 天井換気口：ステンレス製フラット型フードガラリ 75φ（ステンレス製防虫網付） ①：8ヶ所、②：4ヶ所 |
| ② | コンクリート打放し（B種）の上複層塗材E | ⑧ | 室名札 □ ①：4ヶ所、②：3ヶ所 |
| ③ | コンクリート打放し（B種） | ⑨ | ピクトサイン □ ①：2ヶ所、②：0ヶ所 |
| ④ | コンクリート直均し仕上げの上複層塗材E | | ※室名札及びピクトサインの設置位置は協議の上決定する。 |
| ⑤ | コンクリート金ごて押えの上軒天用仕上げ塗材（楊裏） | | |
| ⑥ | 縦樋：φ100 V Pカラーパイプ（ステンレス掴み金物@1,200以内） | ▽ | 伸縮目地（シーリング充填） |

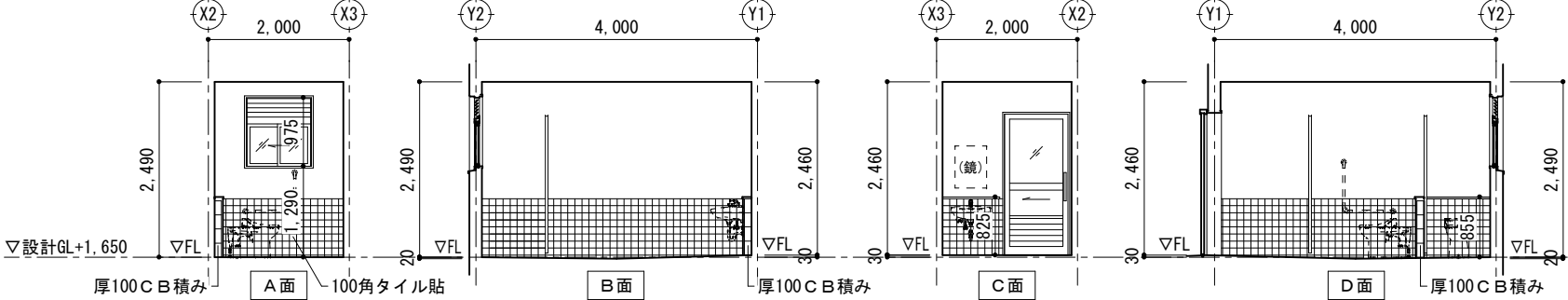
| | | | |
|--|----------------------|----------|------|
| (株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古 川 稔 | 福平小学校プール新築その他本体工事 | | |
| | プール付 属屋①②
立面図・断面図 | A3:1/100 | A-11 |
| | 鹿児島市建設局建築部建築課 | | |



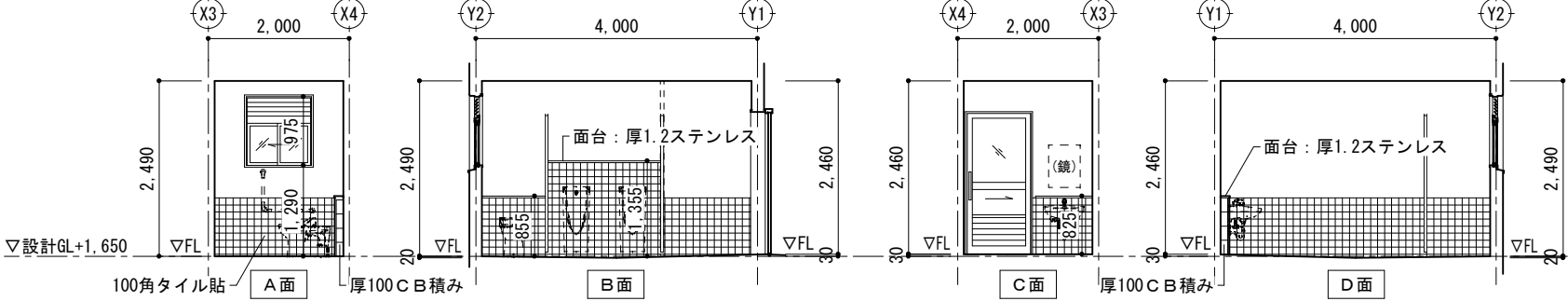
| | | |
|-------|---|----------------|
| 女子更衣室 | | CH=2,400～2,460 |
| 床 | コンクリート直均し仕上げの上
厚2.5複層ビニル床シート（防滑性・抗菌性） | |
| 巾木 | コンクリート打放し（B種）化粧目地切の上 EP-G塗装 H=100 | |
| 腰壁 | — | |
| 壁 | コンクリート打ち放し（B種）の上EP-G塗装 | |
| 天井 | 厚25㎎ポリスチレンフォーム コンクリート同時打込
厚9.5ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ボードの上EP-G塗装 LGS下地 | |
| 備考 | 室名札、脱衣棚、天井点検口 | |



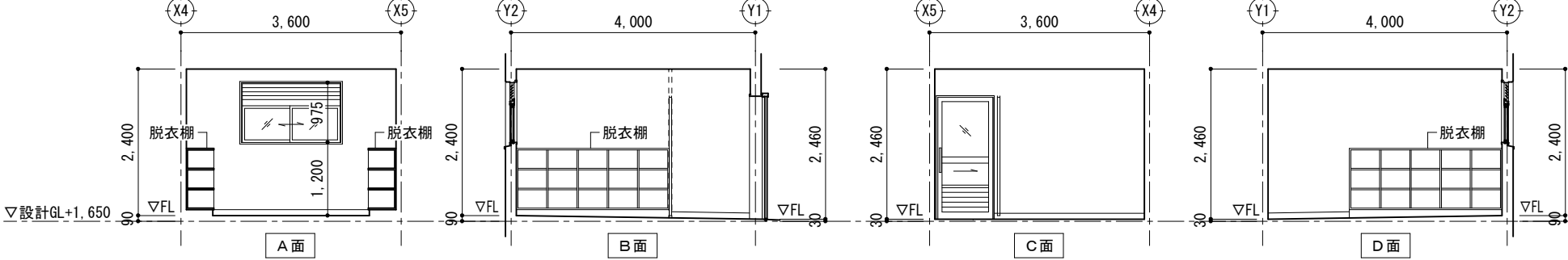
| | | |
|-------|---|----------------|
| 女子トイレ | | CH=2,460～2,510 |
| 床 | LGS下地の上50角磁器質ノンスリップタイル張り | |
| 巾木 | — | |
| 腰壁 | 100角タイル張り（H=800） | |
| 壁 | コンクリート打ち放し（B種）の上EP-G塗装 | |
| 天井 | 厚25㎎ポリスチレンフォーム コンクリート同時打込
厚9.5ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ボードの上EP-G塗装 LGS下地 | |
| 備考 | ビュクス、トイレットペーパー、面台：厚1.2ステンレス、天井点検口 | |



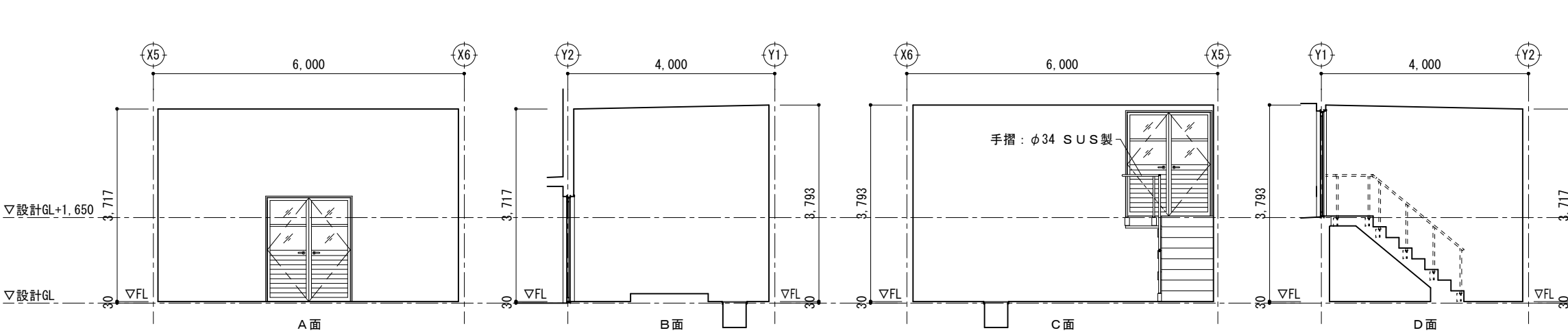
| | | |
|-------|---|----------------|
| 男子トイレ | | CH=2,460～2,510 |
| 床 | LGS下地の上50角磁器質ノンスリップタイル張り | |
| 巾木 | — | |
| 腰壁 | 100角タイル張り（H=800） | |
| 壁 | コンクリート打ち放し（B種）の上EP-G塗装 | |
| 天井 | 厚25㎎ポリスチレンフォーム コンクリート同時打込
厚9.5ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ボードの上EP-G塗装 LGS下地 | |
| 備考 | ビュクス、トイレットペーパー、面台：厚1.2ステンレス、天井点検口 | |



| | | |
|-------|---|----------------|
| 男子更衣室 | | CH=2,400～2,460 |
| 床 | コンクリート直均し仕上げの上
厚2.5複層ビニル床シート（防滑性・抗菌性） | |
| 巾木 | コンクリート打放し（B種）化粧目地切の上 EP-G塗装 H=100 | |
| 腰壁 | — | |
| 壁 | コンクリート打ち放し（B種）の上EP-G塗装 | |
| 天井 | 厚25㎎ポリスチレンフォーム コンクリート同時打込
厚9.5ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ボードの上EP-G塗装 LGS下地 | |
| 備考 | 室名札、脱衣棚、天井点検口 | |



| | | |
|-----|-------------------------------------|----------------|
| 機械室 | | CH=3,717～3,793 |
| 床 | コンクリート直均し仕上げ
階段：粗面仕上げ（段鼻：ステンレス製） | |
| 巾木 | — | |
| 腰壁 | — | |
| 壁 | コンクリート打放し（B種） | |
| 天井 | 厚25木毛セメント板 コンクリート同時打込 | |
| 備考 | 室名札、手摺：φ34 SUS製 | |



（株）アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古川 稔

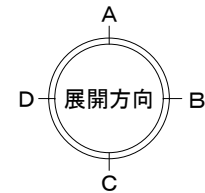
福平小学校プール新築その他本体工事

プール付属屋①
展開図

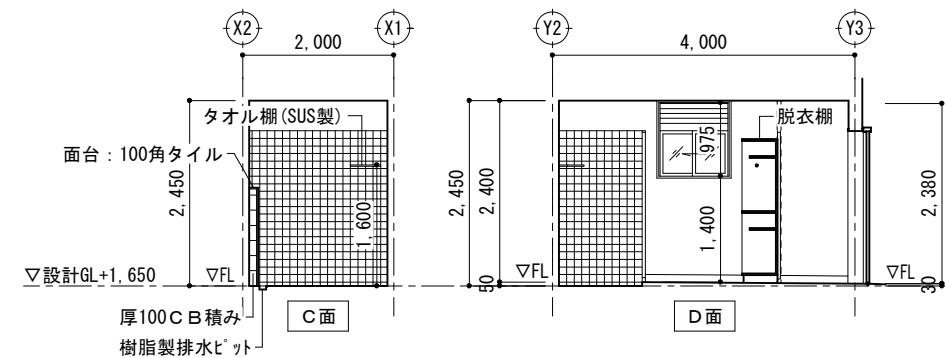
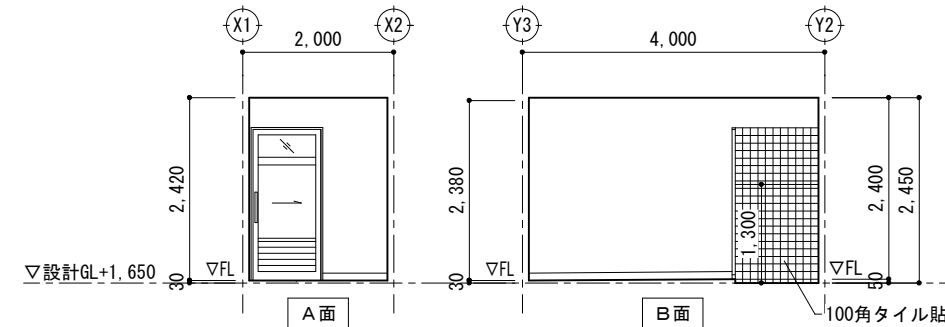
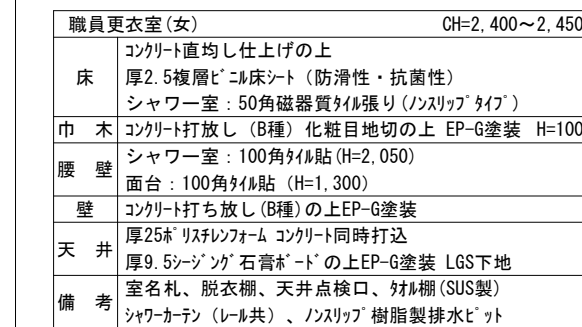
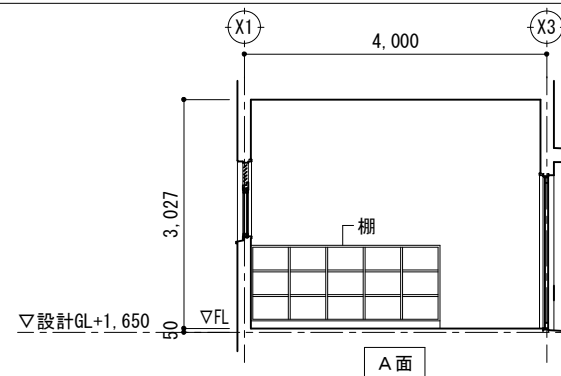
A3:1/100

鹿児島市建設局建築部建築課

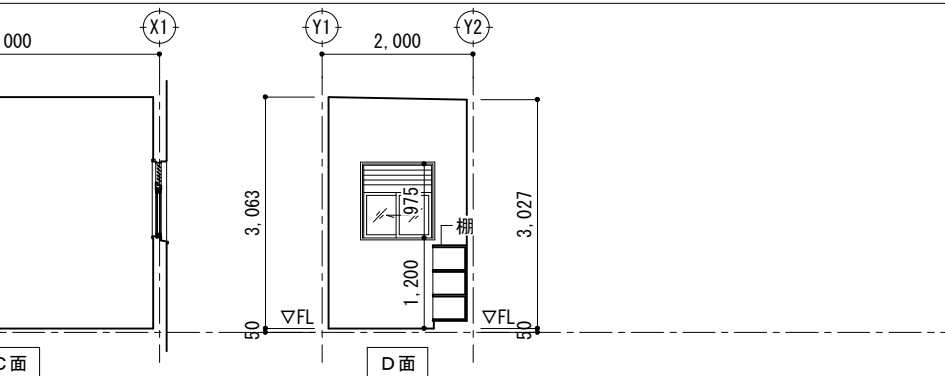
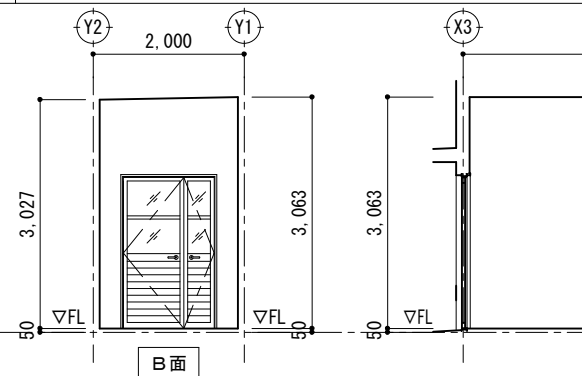
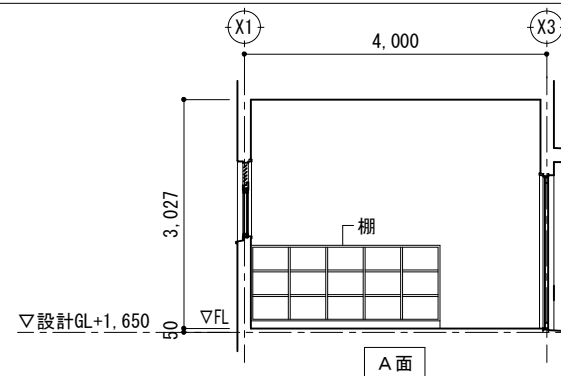
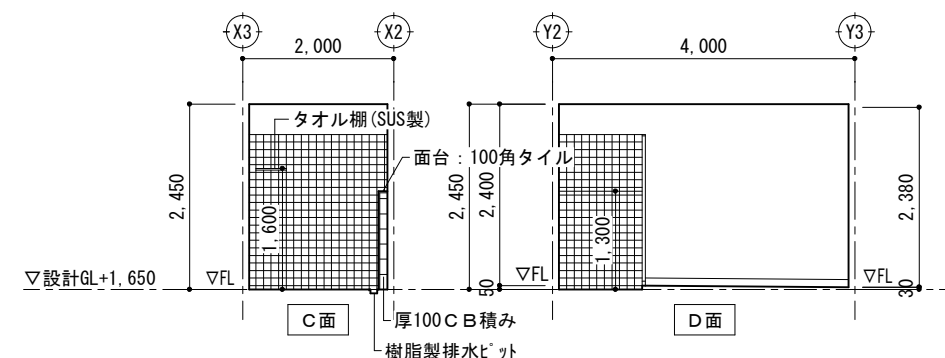
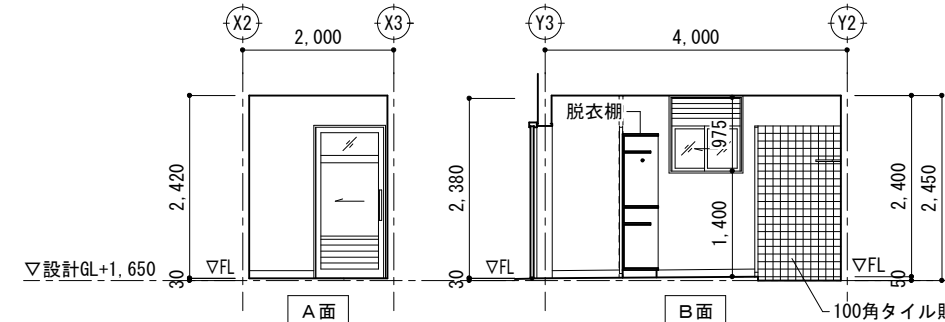
A-14

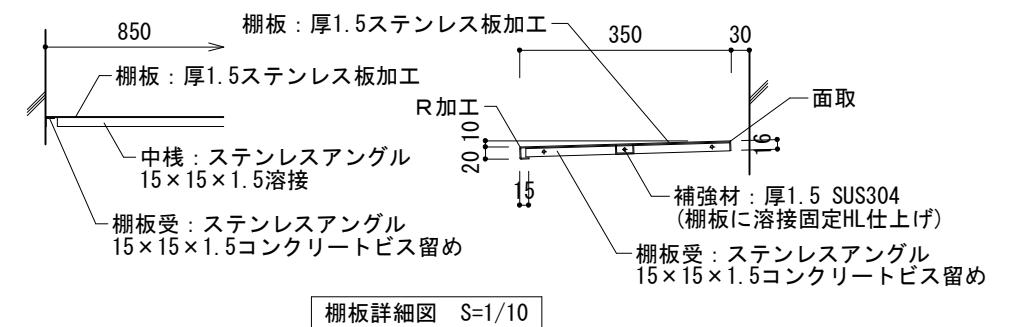
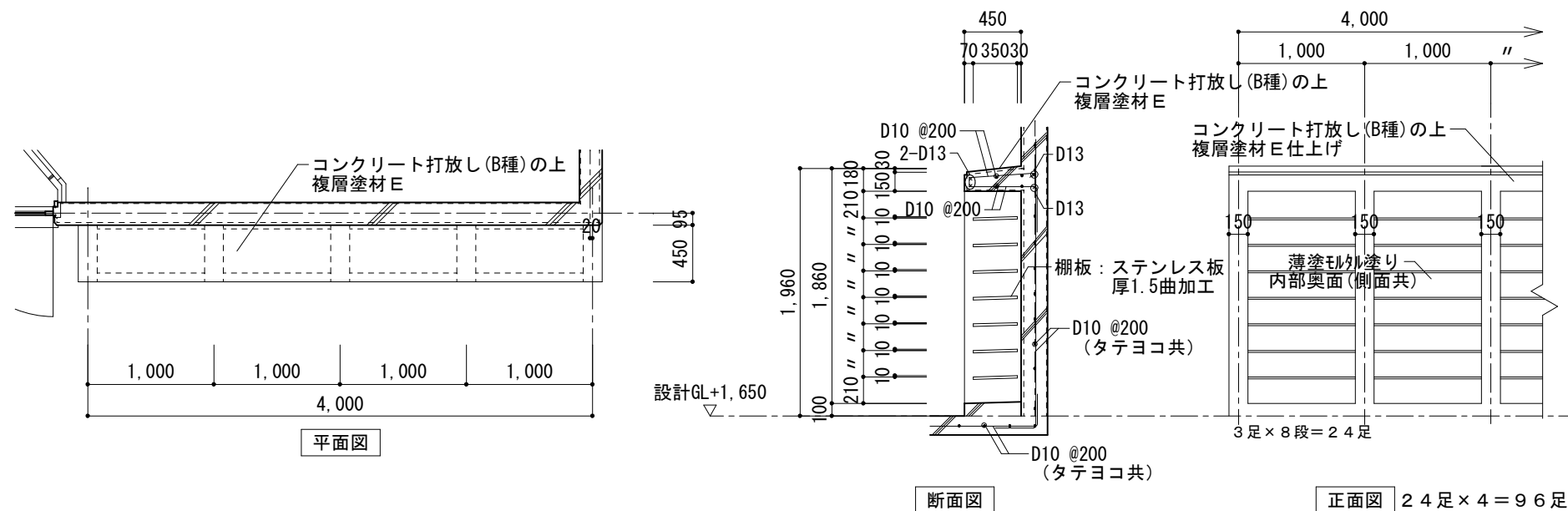
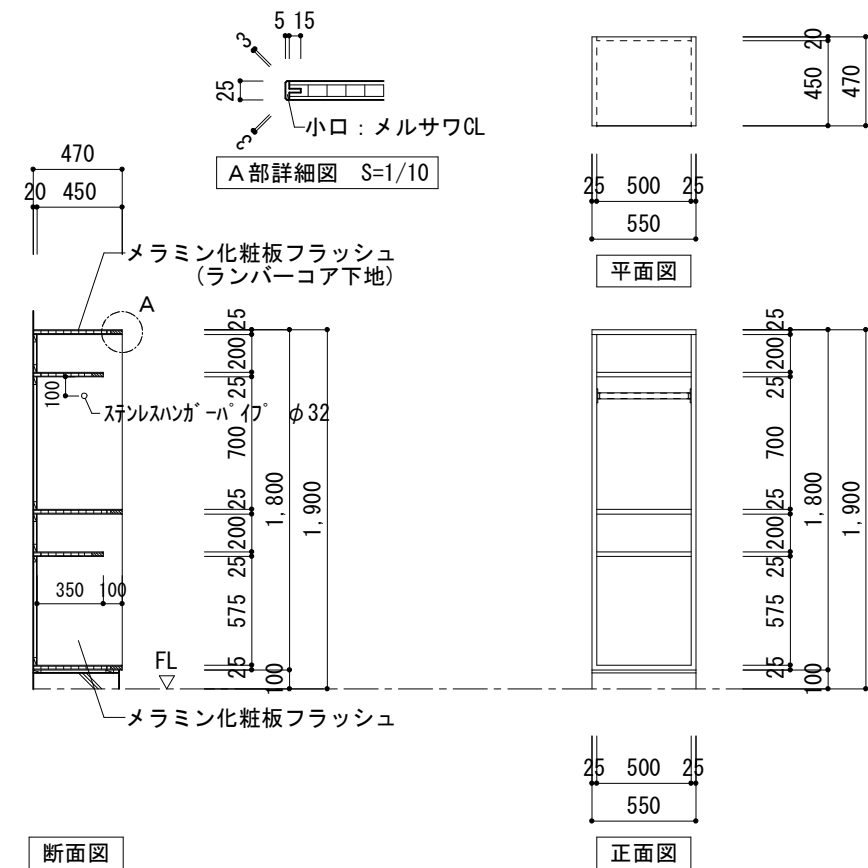
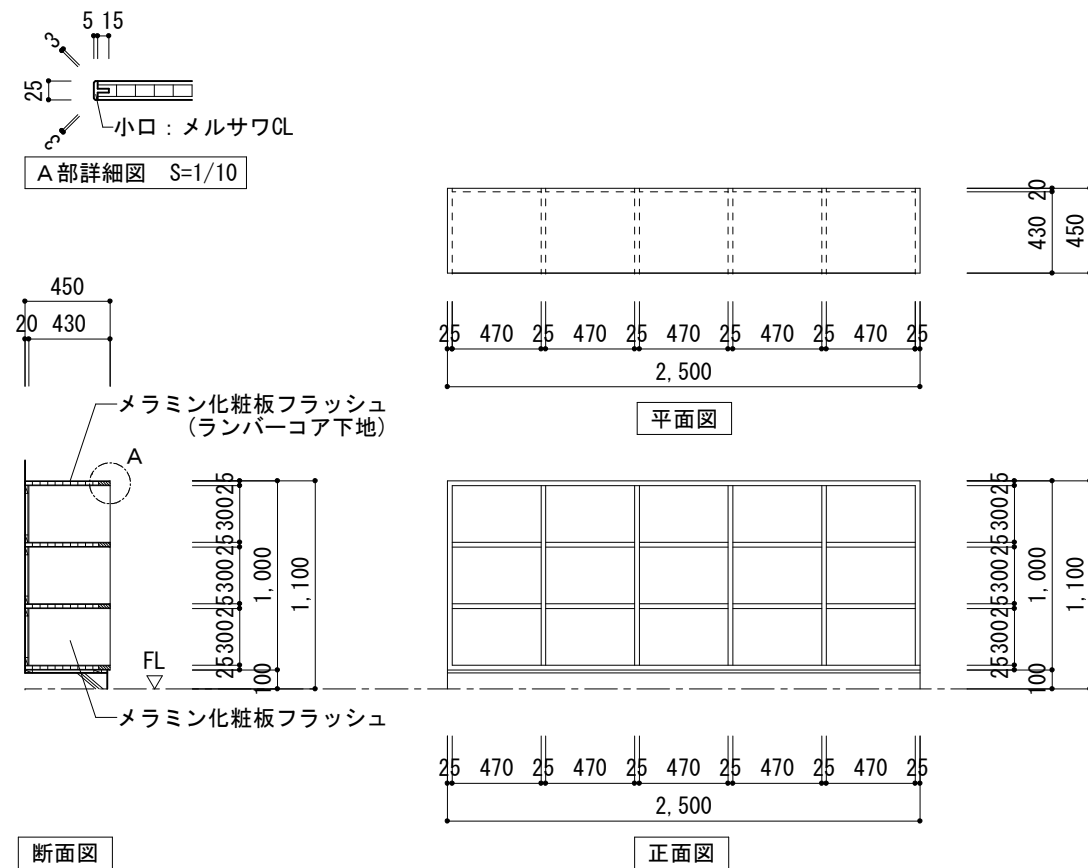


| | |
|-----|-----------------------|
| 倉庫 | CH=3, 027～3, 063 |
| 床 | コンクリート直均し仕上げ |
| 巾 木 | — |
| 腰 壁 | コンクリート打放し (B種) |
| 壁 | コンクリート打放し (B種) |
| 天 井 | 厚25木毛セメント板 コンクリート同時打込 |
| 備 考 | 室名札、棚 |



| | | |
|----------|---|----------------|
| 職員更衣室(男) | | CH=2,380~2,450 |
| 床 | コンクリート直均し仕上げの上
厚2.5複層ビニル床シート(防滑性・抗菌性)
シャワー室:50角磁器質タイル張り(ノズリツブタイプ) | |
| 巾 木 | コンクリート打放し(B種)化粧目地切の上 EP-G塗装 H=100 | |
| 腰 壁 | シャワー室:100角タイル貼(H=2,050)
面台:100角タイル貼(H=1,300) | |
| 壁 | コンクリート打ち放し(B種)の上EP-G塗装 | |
| 天井 | 厚25㎜ リシテレンフォーム コンクリート同時打込
厚9.5ｼｰｼﾞﾝｸﾞ 石膏ﾌｰﾄﾞの上EP-G塗装 LGS下地 | |
| 備考 | 室名札、脱衣棚、天井点検口、ケル棚(SUS製)
ショウカテン(レール共)、ノズリツブ 樹脂製排水バット | |





特記事項

- ・材料は全てF☆☆☆☆材料を使用する。
- ・棚は全て固定とする。
- ・作製する際は施工図を提出し、金物は見本提出ののち決定する。

- ・家具のコンクリートに接する部分は全て、防腐防蟻剤塗りとする。

(株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古川 稔

福平小学校プール新築その他本体工事

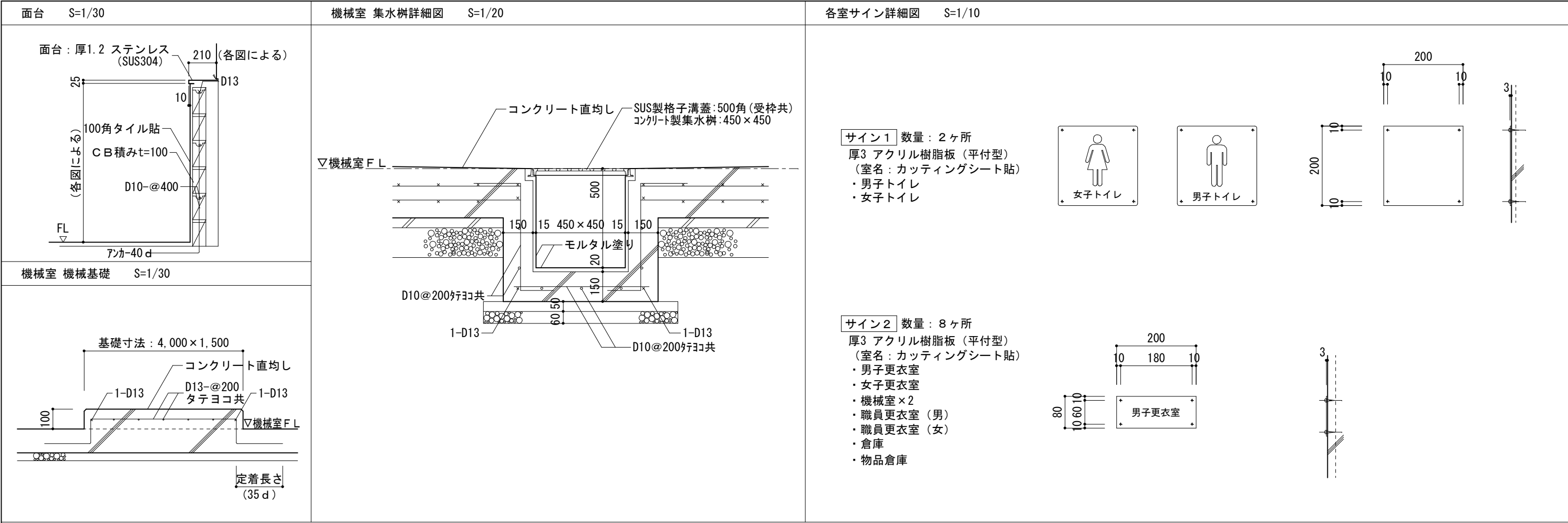
プール付属屋
棚詳細図

| | |
|---------|--|
| A3:1/50 | |
| 1/40 | |
| 1/10 | |

鹿兒島市建設局建築部建築課

A-17

| | |
|---------|--|
| A3:1/50 | |
| 1/40 | |
| 1/10 | |



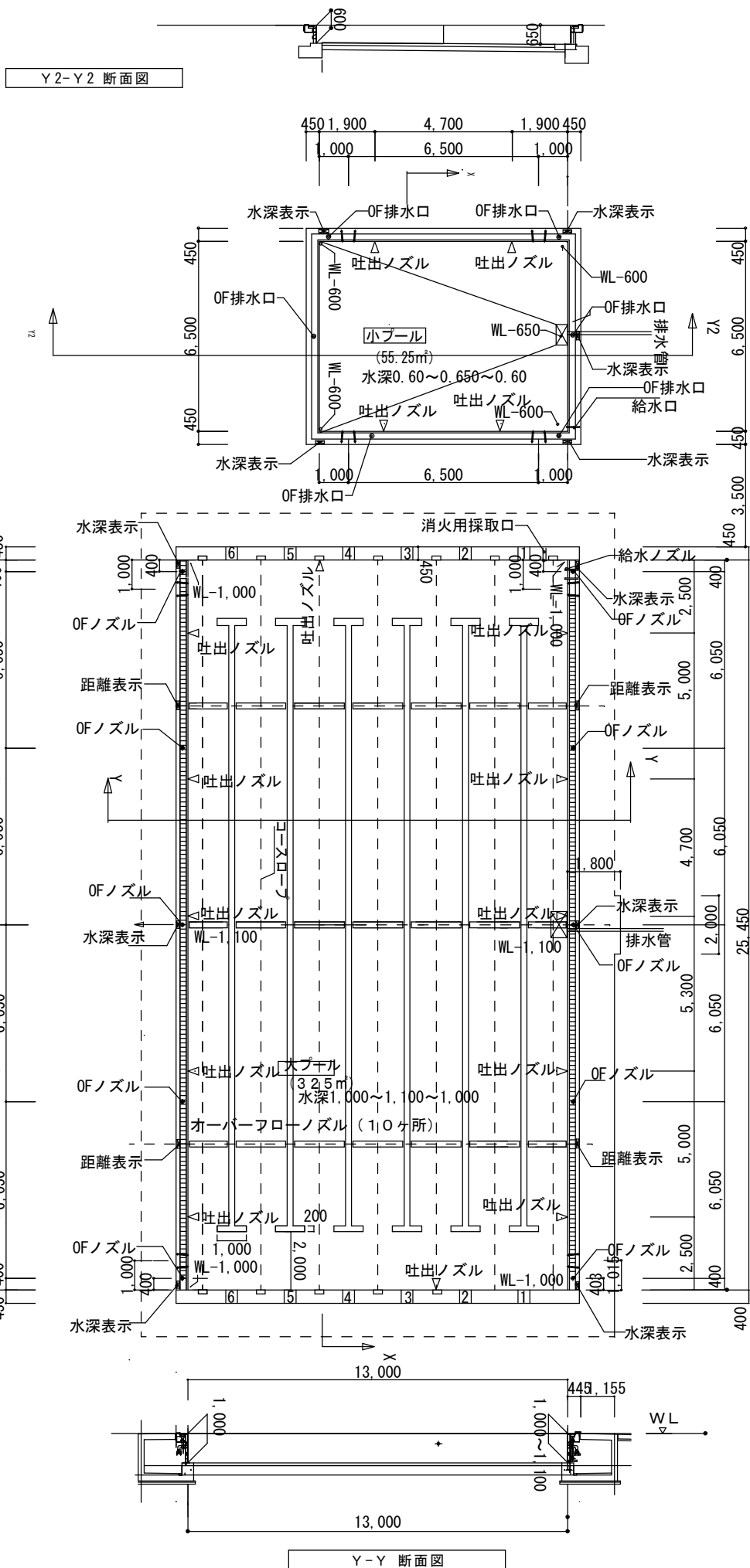
| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|--|---|-------------------------|--------------|--|-------------------------|--|---------|------------|-----------------|--|----|--------|
| ステンレスプール本体特記仕様書(無塗装仕様) | | | | | ※ 本仕様は一部参考例とした部分もあり、プール本体の受注メーカー仕様の違いは本仕様と同等以上とし、監督員の承諾の上施工すること。 | | | | | | | | |
| 1. 概要 | 大プール（ステンレス全溶接構造）無塗装 | | 小プール（ステンレス全溶接構造）無塗装 | | | 8. 検査基準

(組立完了検査) | 8－1 組立完了後、下記の要領で寸法及び外観検査を行う。その結果を監督員に提出する。 | | | | | | |
| | 25,000 x 13,000 6コース（水面積＝325.0㎡） | | 8,500x6,500（水面積＝55.25㎡） | | | | 1）プール寸法 ⅴ 図面寸法との確認 | | | | | | |
| | 水深 ⅴ 1,000～1,100～1,000 | | 水深 ⅴ 600～650～600 | | | | 2）プール長さ ⅴ 0～＋15mm | | | | | | |
| | | | | | | | 3）プール深さ ⅴ 0～＋10mm | | | | | | |
| | | | | | | | 4）オーバーフローレベルの測定 ⅴ 最大～最少10mm以内（目標値は5mm以内） | | | | | | |
| 2. 材料 | 全てステンレス製とする (JIS SUS304) | | | | | 5）取付治具跡等の傷の有無のチェック | | | | | | | |
| | | | | | | 6）オーバーフロー部分の曲がり・傷等のチェック | | | | | | | |
| 3. 使用材料 | 側板 | PL | t 2.5 | | | SUS304 | | | | | | | |
| | 底板 | PL | t 1.5 | | | 〃 | | | | | | | |
| | 補強材 | L－100x50x2.5、[－100x50x50x2.5、L－75x75x6、L－50x50x2.5、L－30x30x3、 | | | | | 〃 | | | | | | |
| | | FB－75x4 FB－50x4 FB－30x4 | | | | | 〃 | | | | | | |
| | | PL | 2.0 | 2.5 | 3.0 | 4.0 | 6.0 | 丸鋼 | 9φ | 〃 | | | |
| | グレーチング | 200W（樹脂製） | | | | | 〃 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 付属品 | | 大プール | | | 小プール | | | 9. 工事区分 | | | | | |
| | タラップ | 計 | 4 | ヶ所 | SUS304 | 計 | 4 | | | | | ヶ所 | SUS304 |
| | 排水ピット | 計 | 1 | ヶ所 | 〃 | 計 | 1 | | | | | ヶ所 | 〃 |
| | コースロープフック | 計 | 14 | ヶ所 | 〃（50A ソケット付） | | | | | | | | |
| | 背泳用グリップ | 計 | 12 | ヶ所 | 〃 | | | | | | | | |
| | コースロープ | 計 | 7 | 本 | (φ60 樹脂製) | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 配管部品 | 給水口 | 計 | 2 | ヶ所 | 50A J10KF | 計 | 1 | ヶ所 | 50A J10KF | 10. 特記事項 | | | |
| | オーバーフローノズル | 計 | 10 | ヶ所 | 65A J5KF | 計 | 6 | ヶ所 | 65A J5KF | | | | |
| | 吐出ノズル | 計 | 12 | ヶ所 | 50A J10KF | 計 | 4 | ヶ所 | 50A J10KF | | | | |
| | 本体排水管 | 計 | 1 | ヶ所 | 150A J10KF | 計 | 1 | ヶ所 | 125A J10KF | | | | |
| | 消火栓口 | 計 | 1 | ヶ所 | 100A J10KF | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 6. 塗装 共通 | プール内面
無塗装仕様

(側板 底板部は無塗装とし
溶接部のみ 電解研磨) | 素地調整 脱脂 . サンダーケレン | | | | | | | | 11. 保証 | | | |
| | | 下塗り | | エポキシ樹脂系プライマー | | 1回塗り | | 30μ | | | | | |
| | | 中塗り | | エポキシ樹脂塗料 | | 1回塗り | | 30μ | | | | | |
| | | 上塗り | | ウレタン樹脂塗料 | | 2回塗り | | 30μ×2 | | | | | |
| | | ノンスリップ塗装 | | ケイ砂6号散布 | | 0.2kg/㎡ | | | | | | | |
| | プール外面 | 変性エポキシ樹脂塗料 1回塗り
(底板裏面は除く) | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 7. マーキング | ライン | コースライン 5Mライン センターライン クロスライン
(ウレタン樹脂塗料1回) | | | | | | | | | | | |
| | | 水深表示 | | | | 計6ヶ所 (ビニールフィルム) | | | | 計5ヶ所 (ビニールフィルム) | | | |
| | 距離表示 | | | | 4ヶ所 (ビニールフィルム) | | | | | | | | |
| | コースNo | | | | 6コース (6X2X2＝24か所) | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

参考図

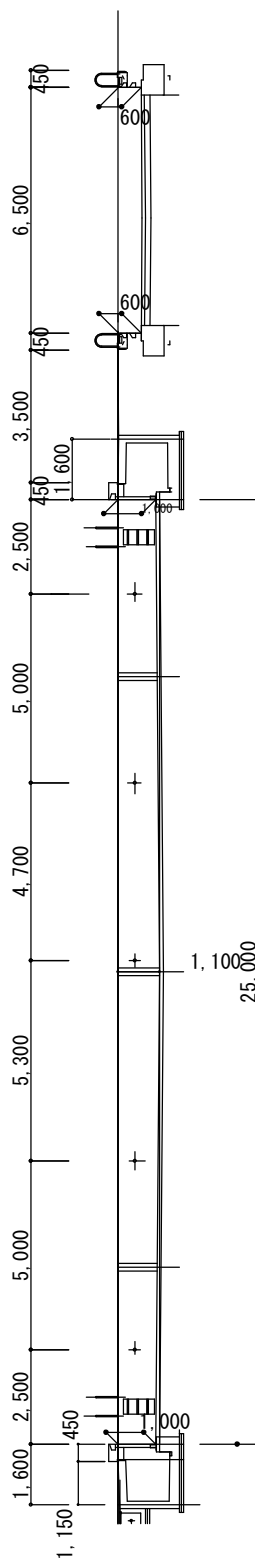
| | | | |
|---------------------------------------|-------------------|-----------|------|
| (株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古川 稔 | 福平小学校プール新築その他本体工事 | | |
| | プール特記仕様書 | NO. SCALE | A-19 |
| | 鹿児島市建設局建築部建築課 | | |



小プール 平面図

大プール 平面図

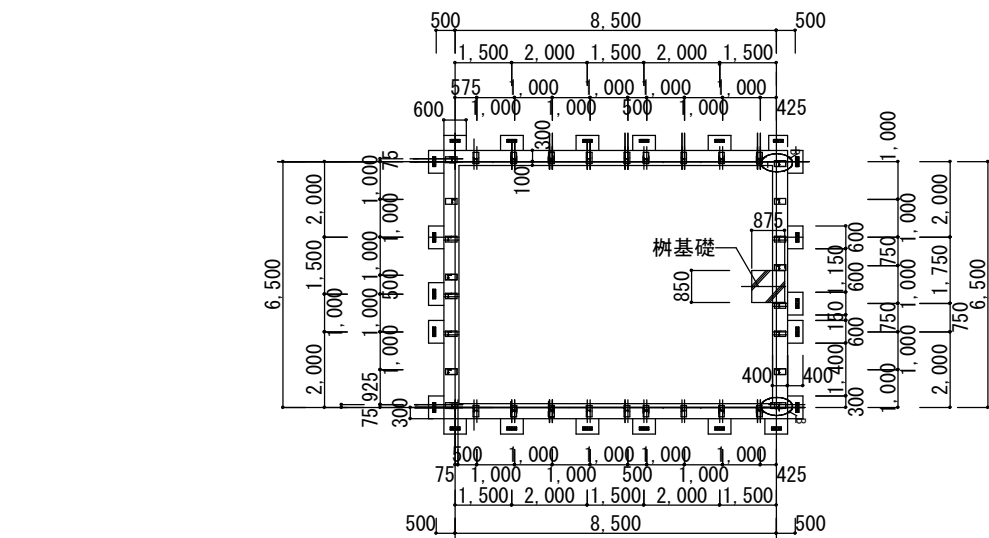
X-X 断面図



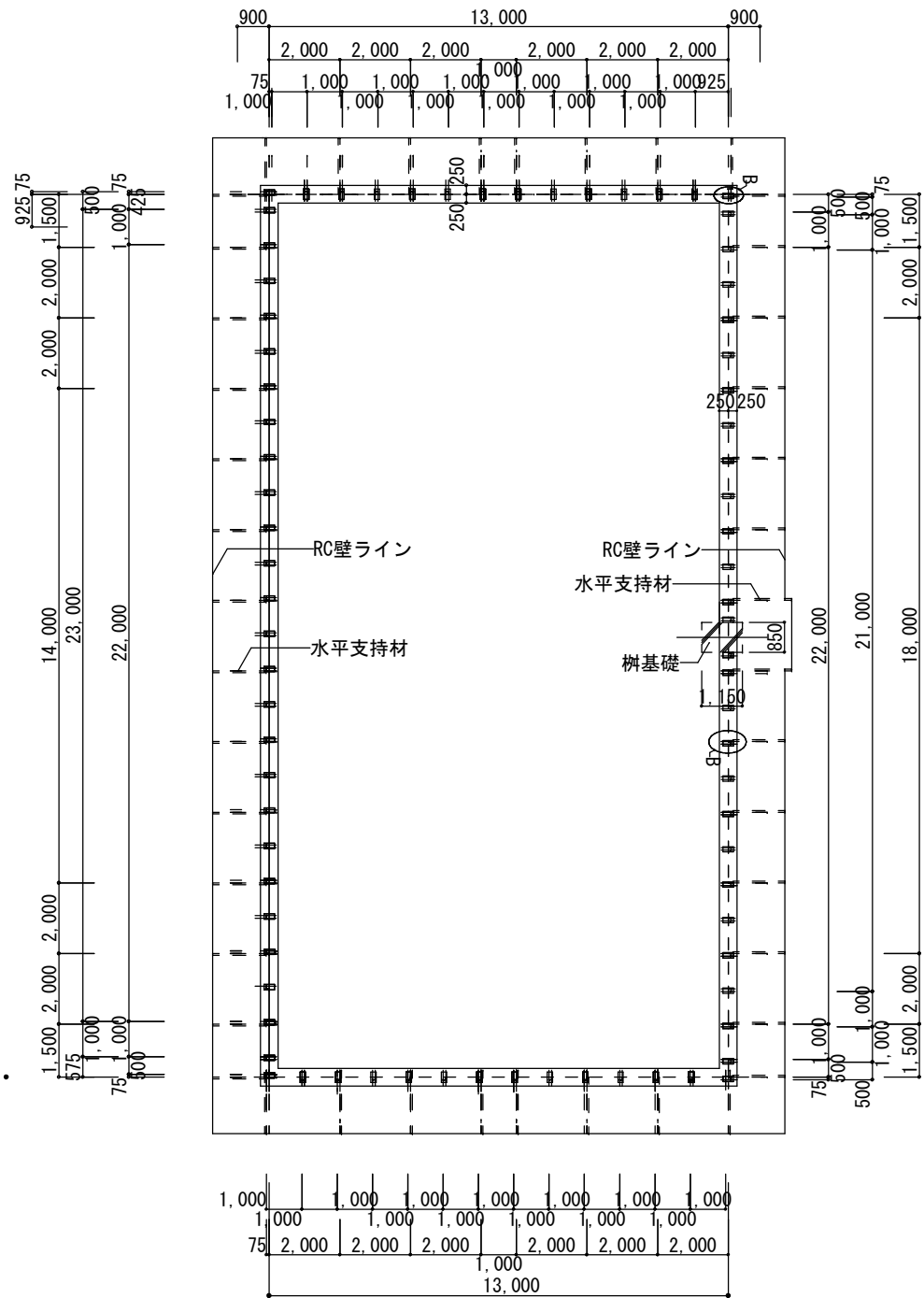
※ 本図は参考図とする。詳細は施工図を作成し監督員の承諾の上、施工すること。

参考図

| | | | |
|---------------------------------------|--------------------|----------|------|
| (株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古川 稔 | 福平小学校 プール新築その他本体工事 | | |
| | プール平面図・断面図 | A3:1/200 | A-20 |
| | 鹿児島市建設局建築部建築課 | | |

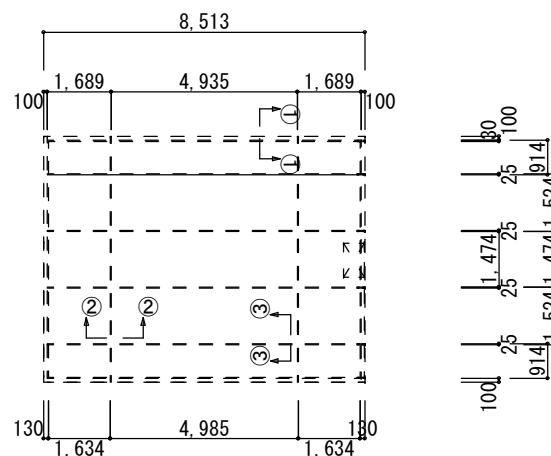


小プールアンカープラン S=1/1200

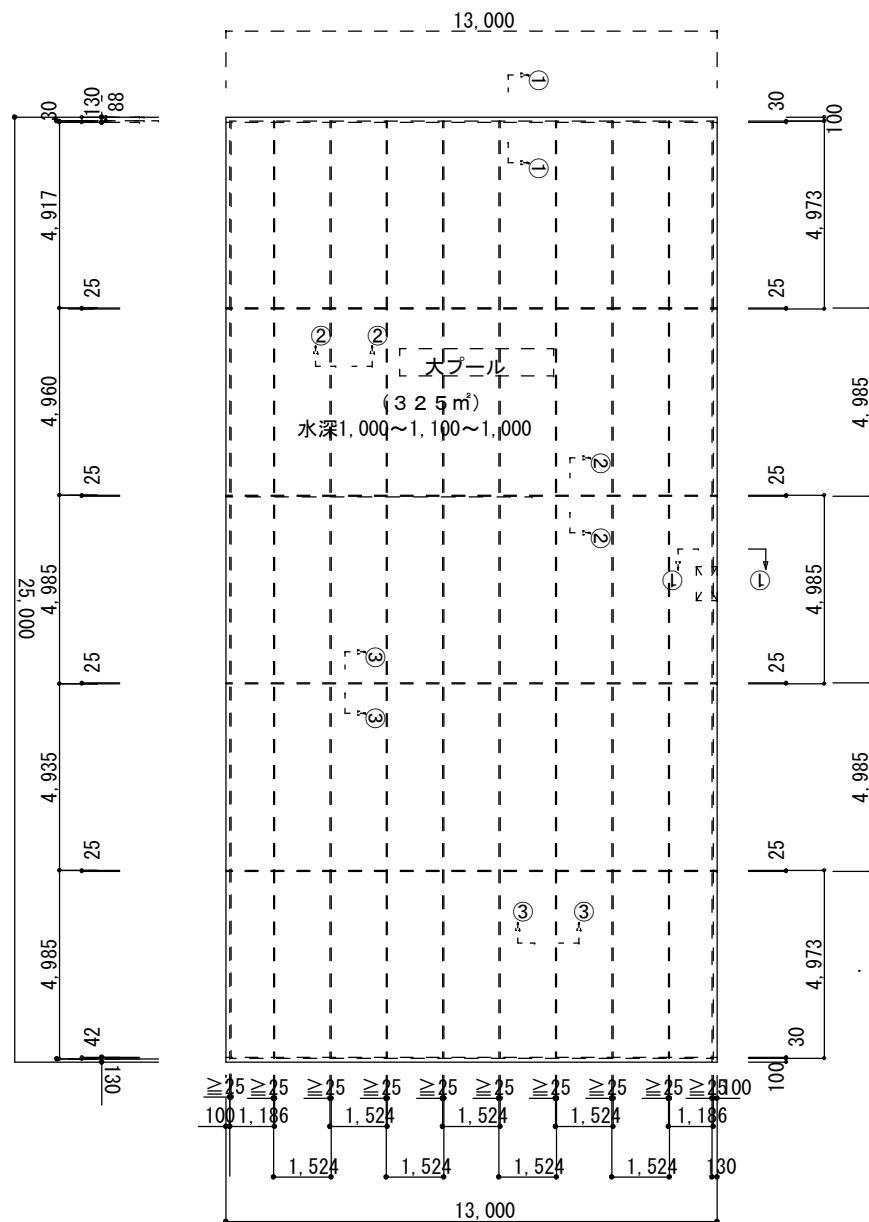


大プールアンカープラン S=1/200

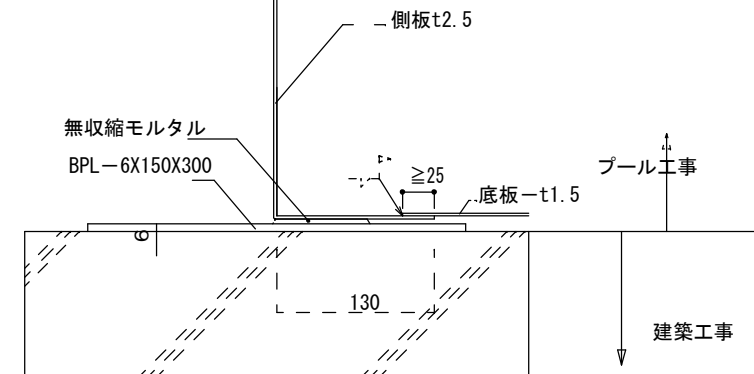
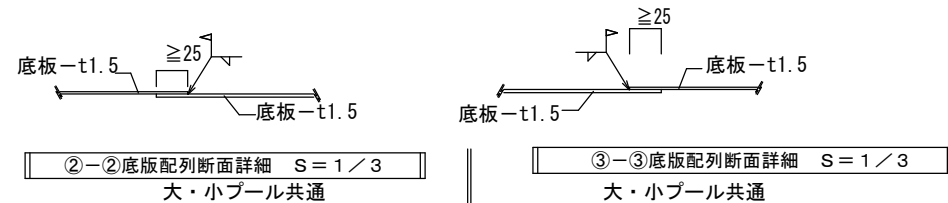
小プール
(55.25㎡)
水深600～650～600



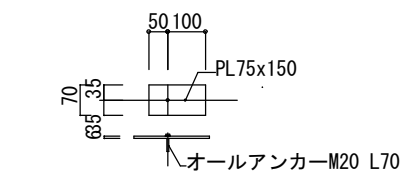
小プール底版配列図 S=1/200



大プール底版配列図 S=1/200

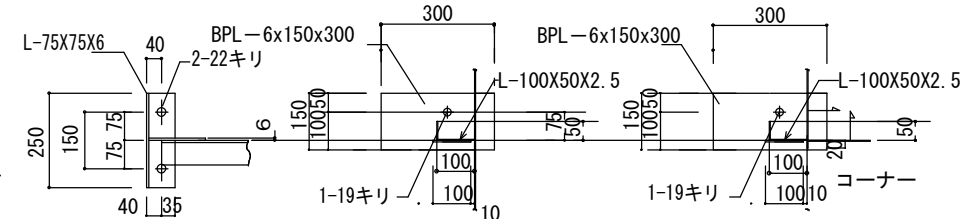


①-①底版配列断面詳細 S=1/3 大・小プール共通



数量：大小 各4枚

アンカープレート詳細図 共通 S=1/20



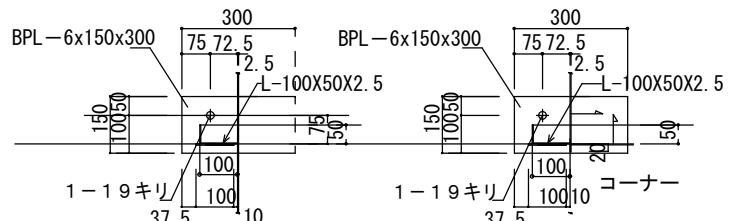
数量：小 22枚

A部 詳細図 S=1/20

数量：小 34枚

B部（ベースプレート）詳細図 S=1/20

小プール共通



数量：大 76枚

B部（ベースプレート）詳細図 S=1/20

大プール共通

参考図

- ※ 本図は参考図とする。詳細は施工図を作成し監督員の承諾の上、施工すること。
- ※ 斜材・側板・補強材ベースプレートは強度計算により安全を確認した上で決定すること。
- ※ 排水口の位置その他各メーカー仕様により異なる場合は監督員の承諾の上、施工すること。

(株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古川 稔

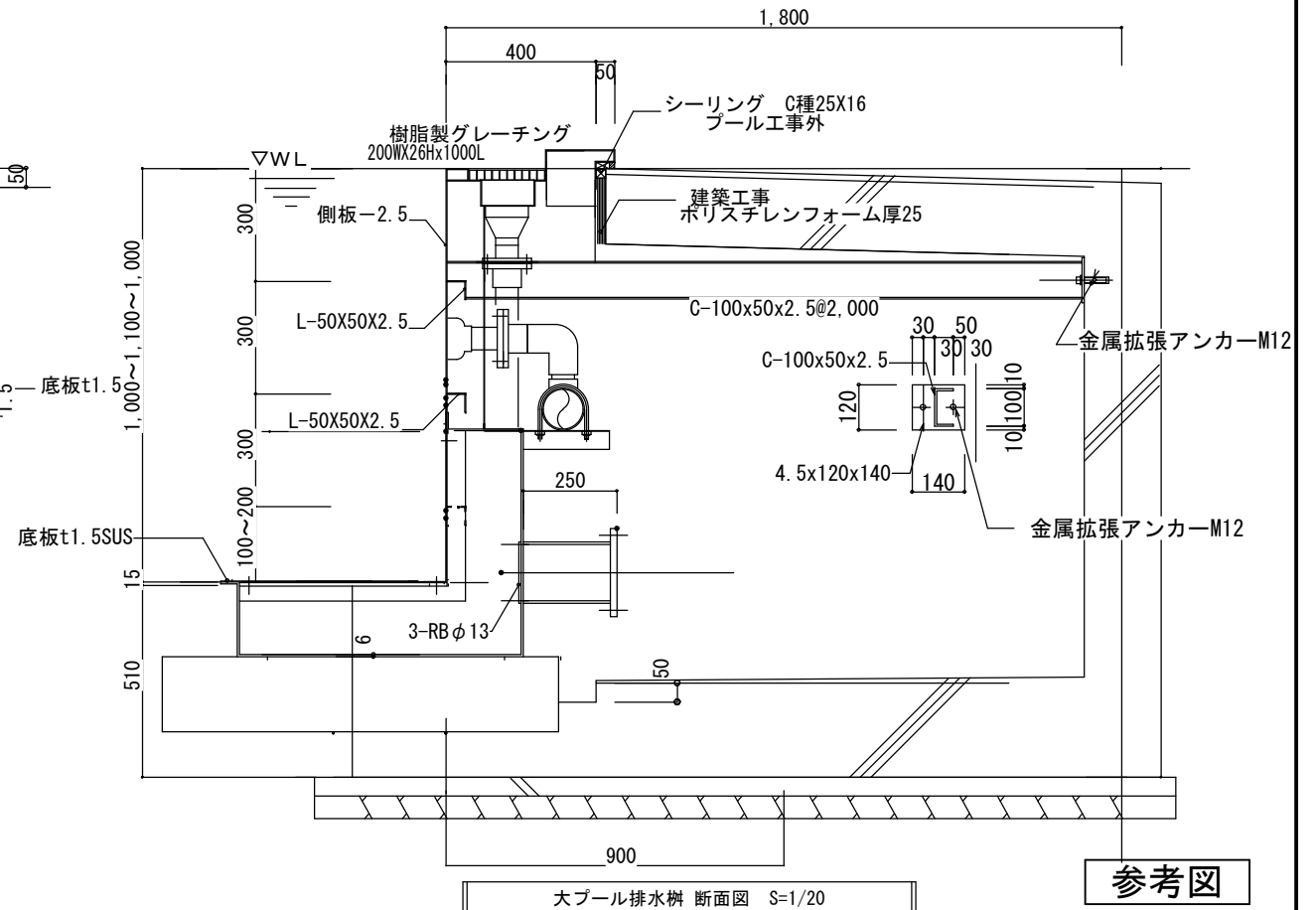
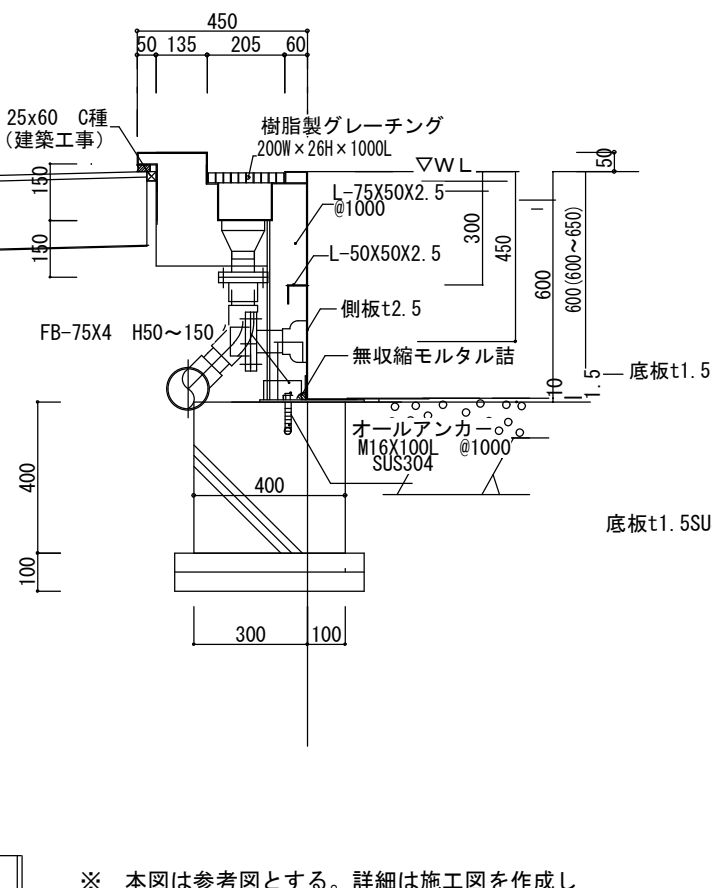
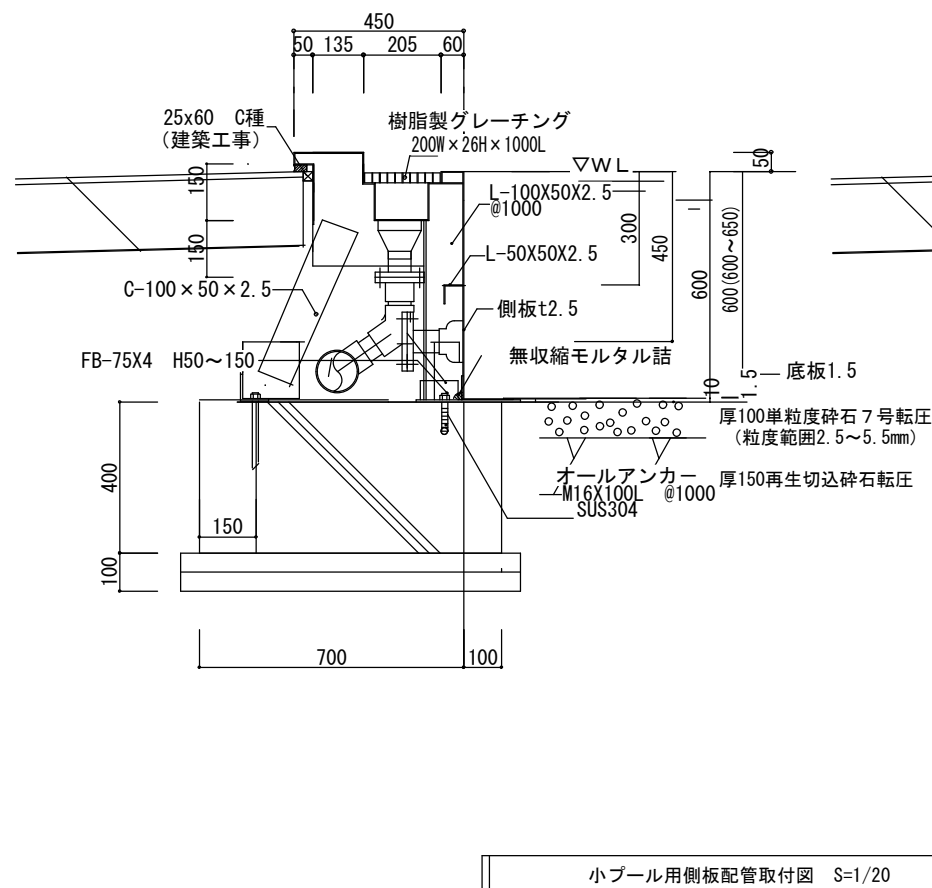
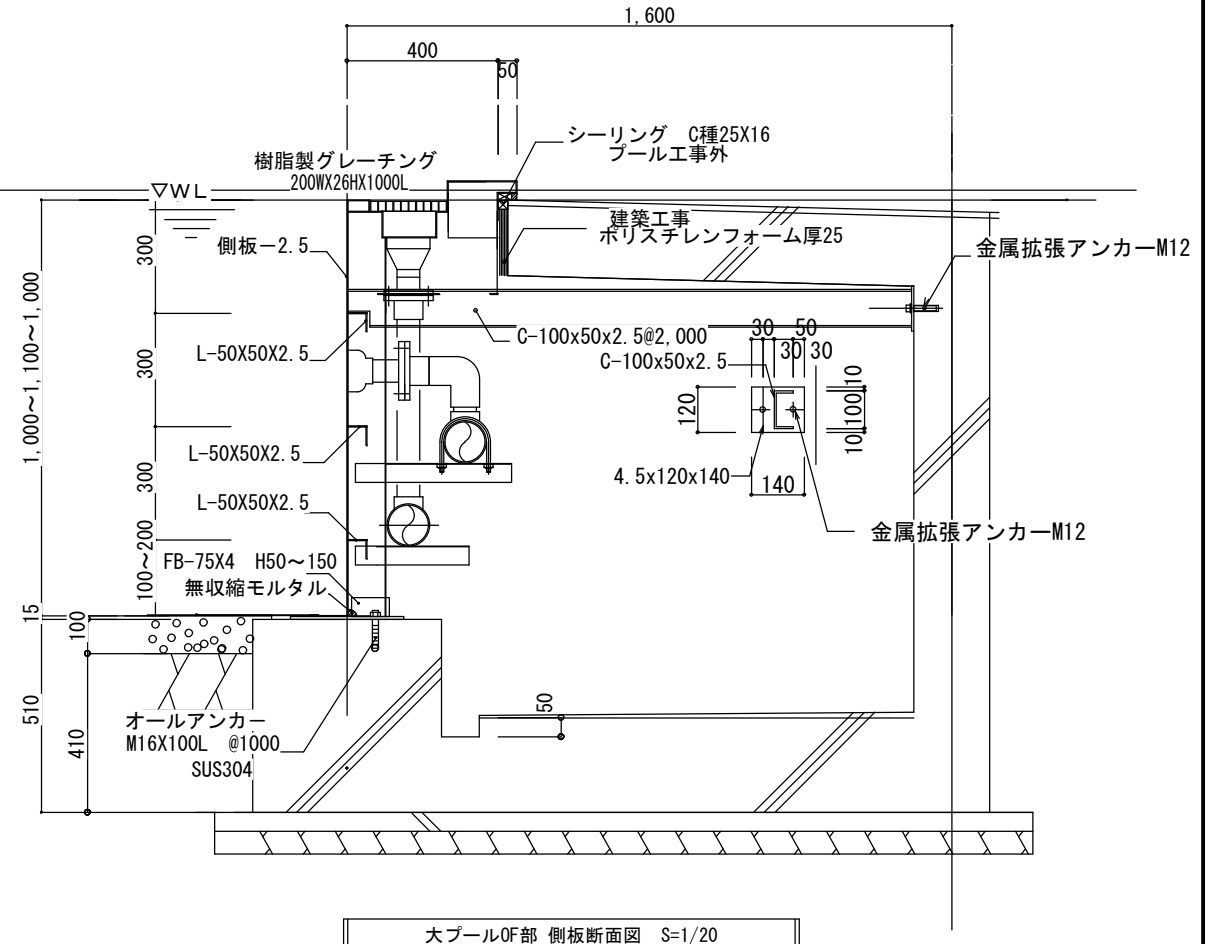
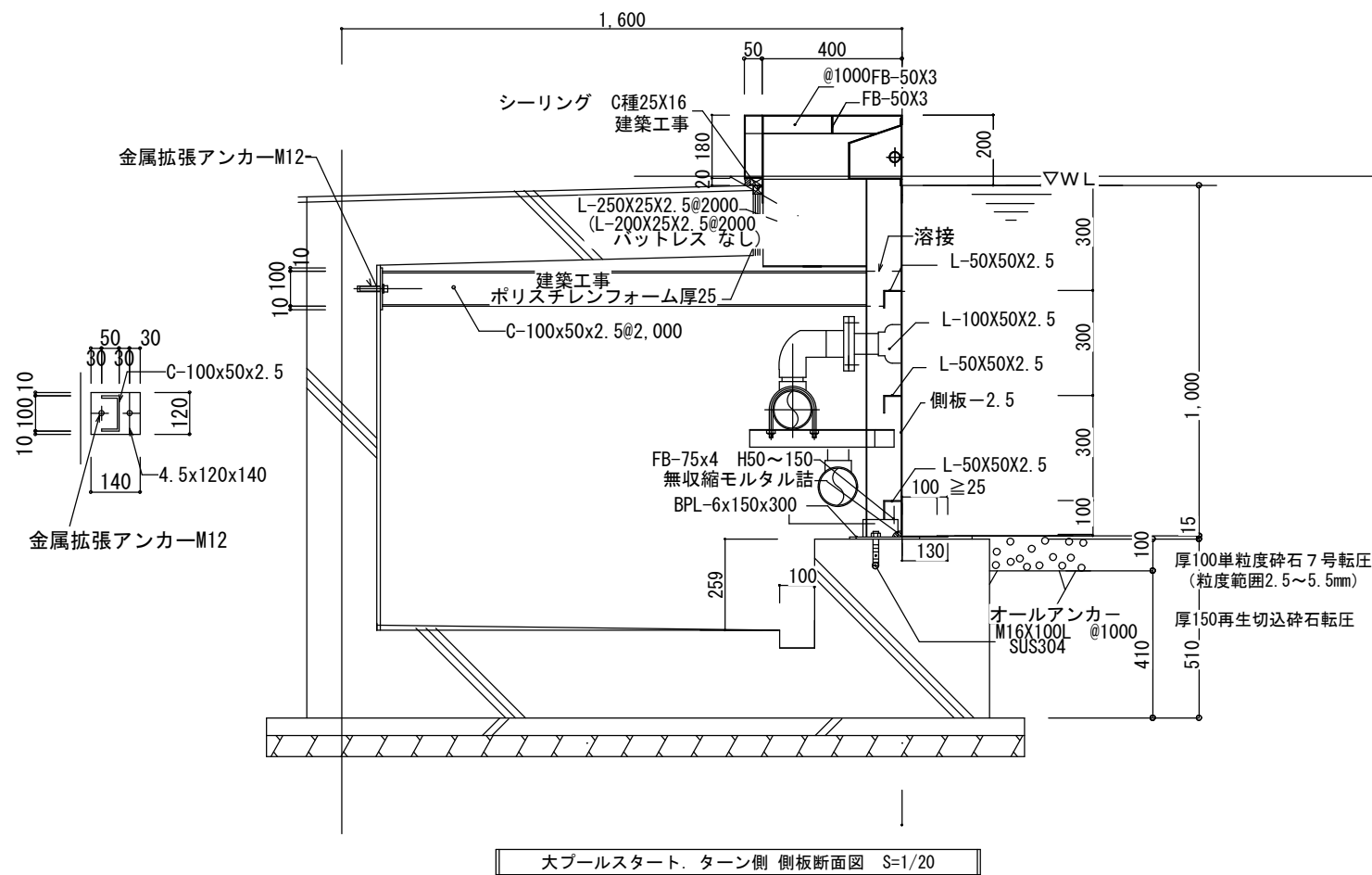
福平小学校プール新築その他本体工事

プール底版配列図

A3:1/200
1/20
1/3

鹿児島市建設局建築部建築課

A-21



参考図

※ 共通事項
底板外周部の基礎との隙間には、無収縮モルタル充填の上
シーリングを施工すること。

※ 本図は参考図とする。詳細は施工図を作成し
監督員の承諾の上、施工すること。

※ 補強材の寸法・配置については、強度計算により安全を
確認した上 決定し、かつプール本体に水圧や溶接等による
歪みを生じないよう適宜設けること。

(株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古川 稔

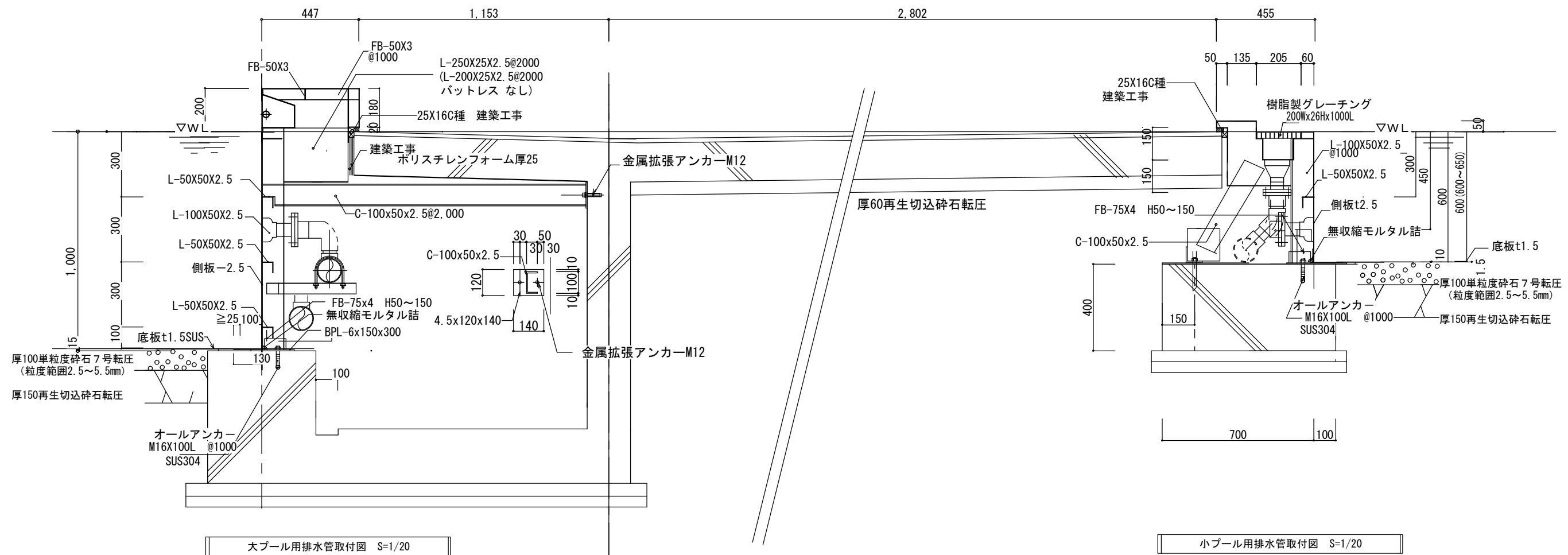
福平小学校プール新築その他本体工事

プール断面詳細図 (1)

A3:1/20

鹿児島市建設局建築部建築課

A-22



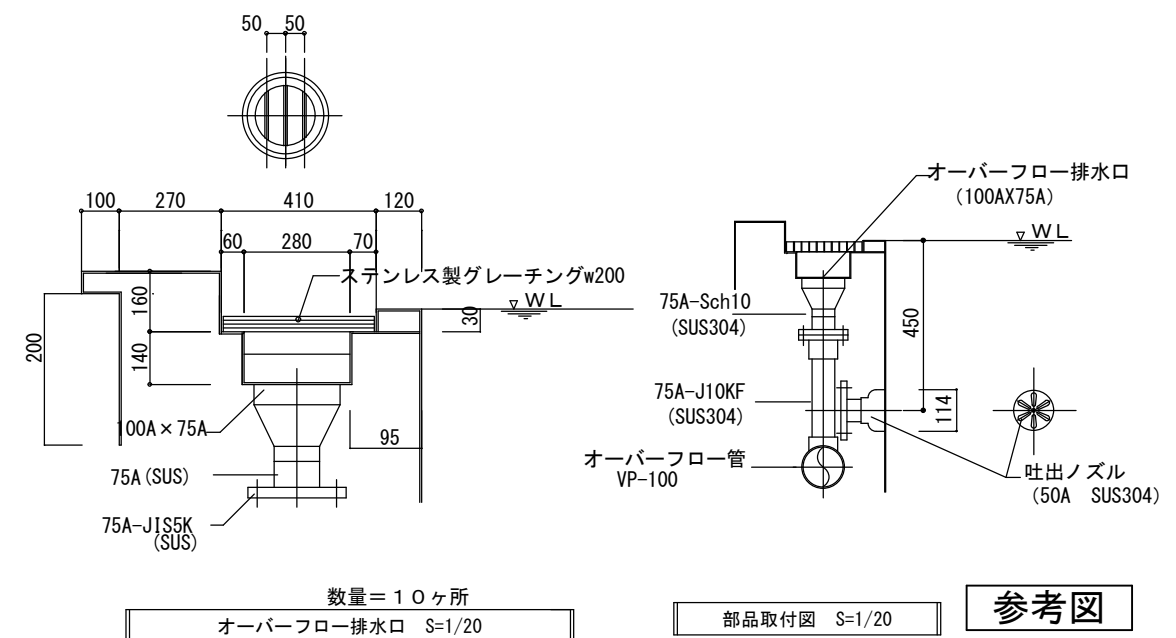
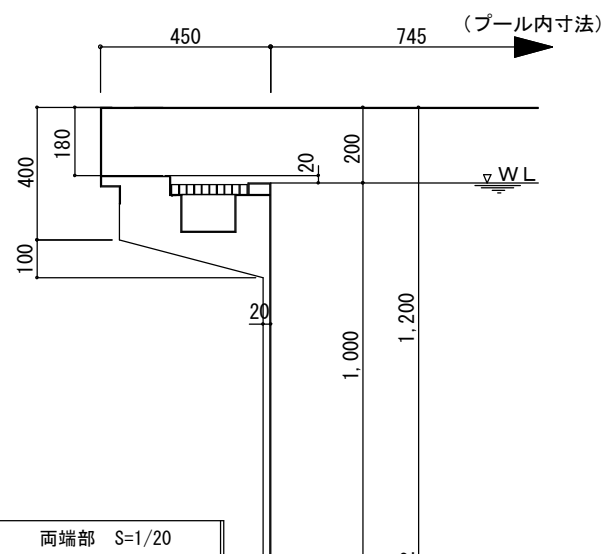
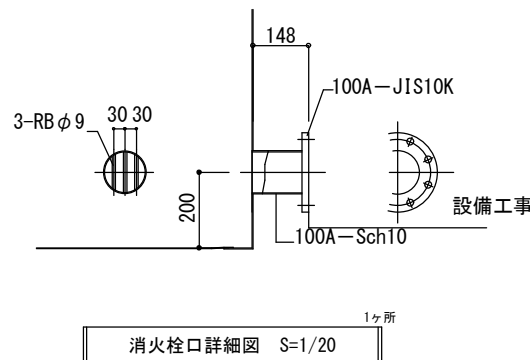
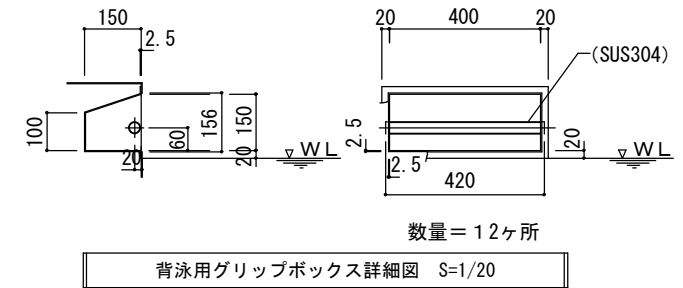
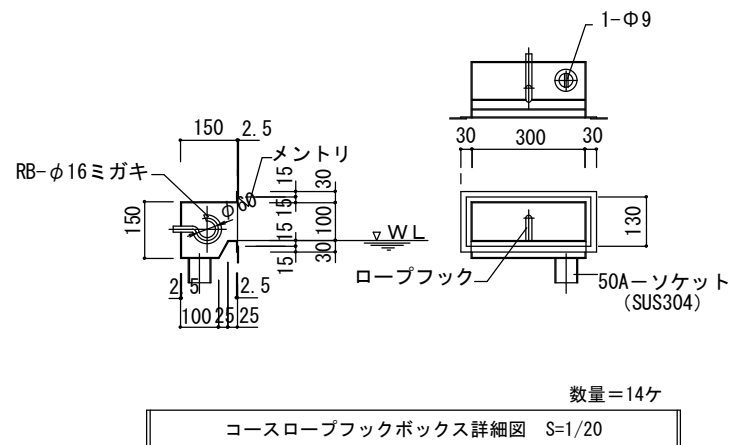
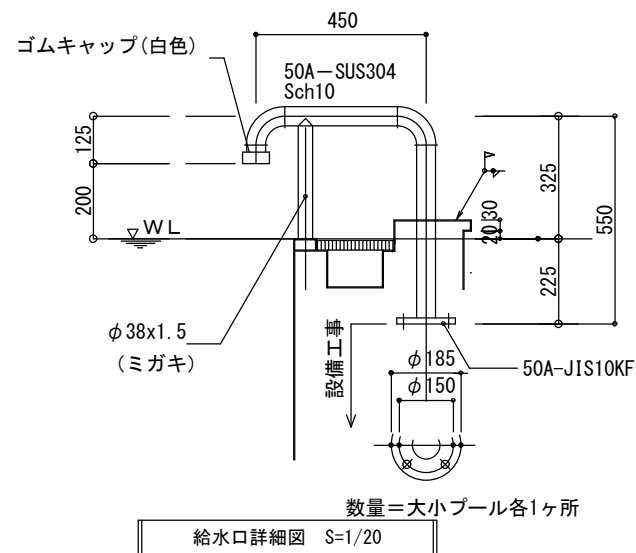
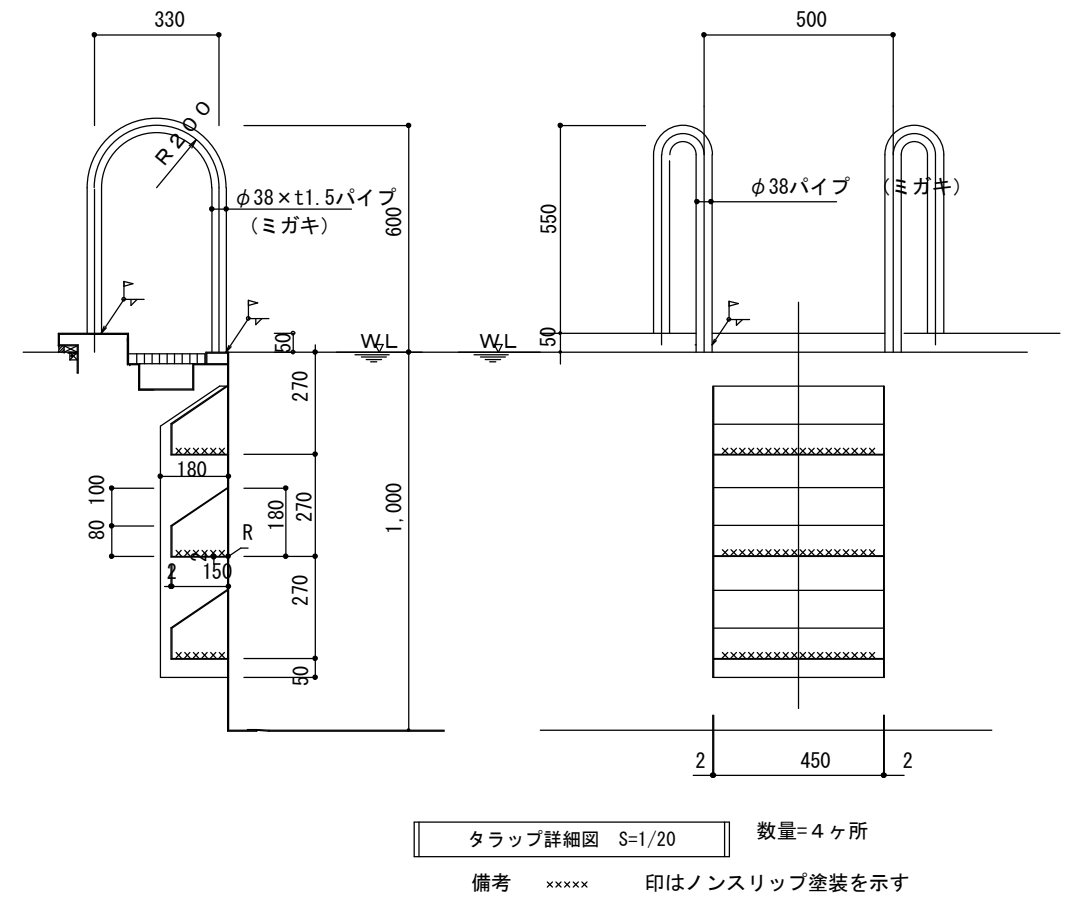
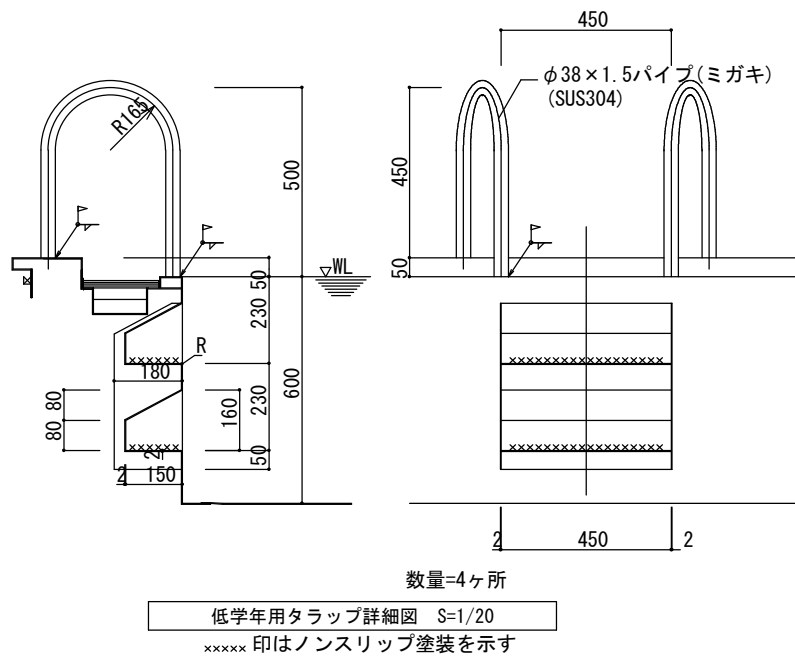
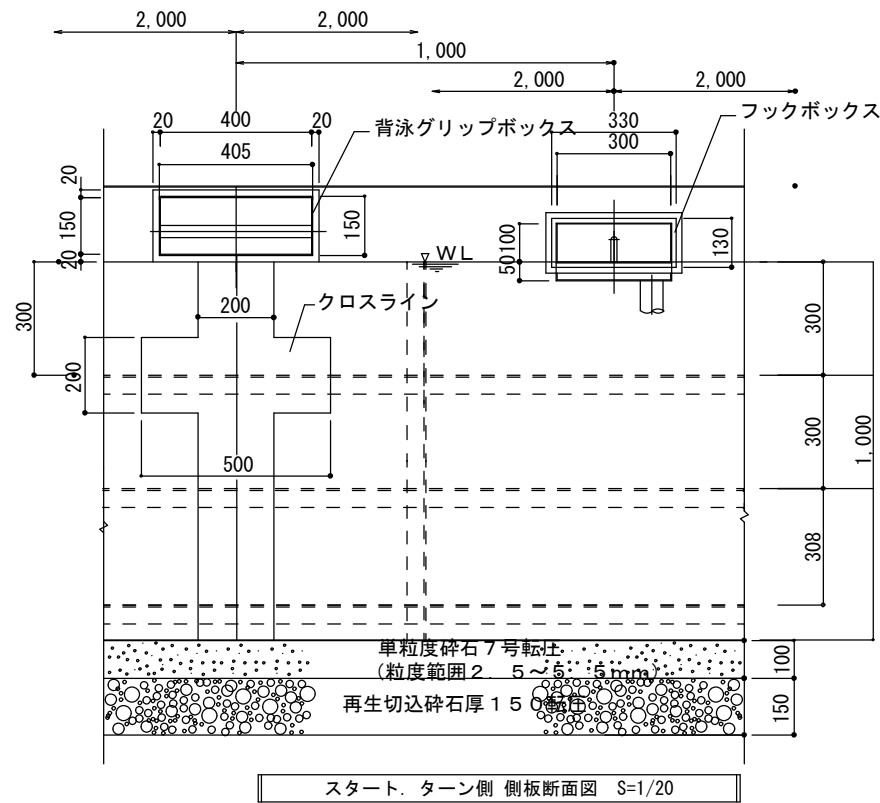
※ 共通事項
底板外周部の基礎との隙間には、無収縮モルタル充填の上
シーリングを施工すること。

- ※ 本図は参考図とする。詳細は施工図を作成し
監督員の承諾の上、施工すること。
- ※ 補強材の寸法・配置については、強度計算により安全を
確認した上 決定し、かつプール本体に水圧や溶接等による
歪みを生じないように適宜設けること。

| | | | |
|---------------------------------------|--------------------|---------|------|
| (株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古川 稔 | 福平小学校 プール新築その他本体工事 | | |
| | プール断面詳細図 (2) | A3:1/20 | A-23 |
| | 鹿児島市建設局建築部建築課 | | |

参考図

※大プールも上図に準ずる



参考図

- ※ 共通事項
底板外周部の基礎との隙間には、無収縮モルタル充填の上シーリングを施工すること。
- ※ 本図は参考図とする。詳細は施工図を作成し監督員の承諾の上、施工すること。

(株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古川 稔

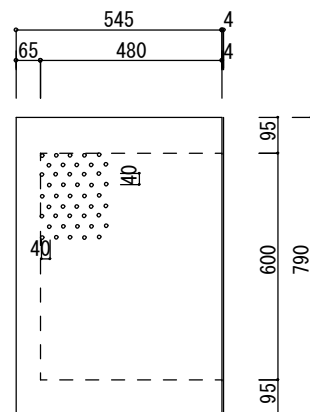
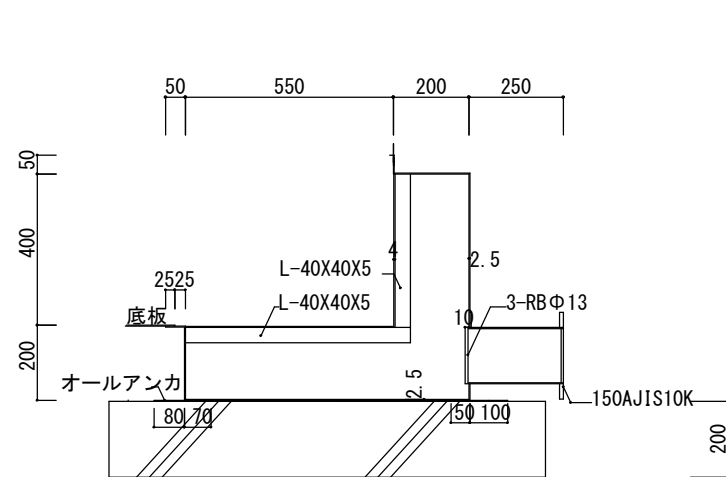
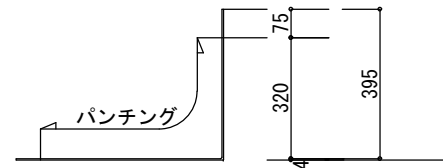
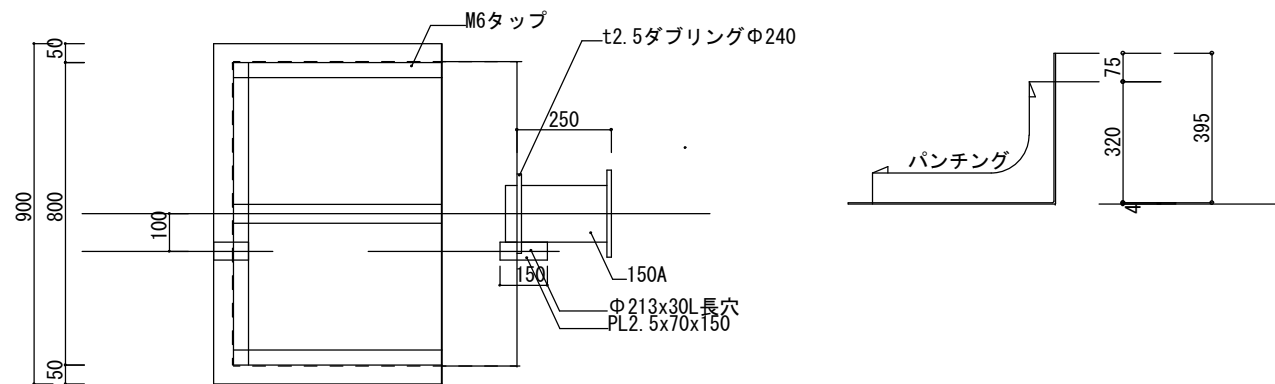
福平小学校プール新築その他本体工事

プール部品図 (1)

A3:1/20

鹿児島市建設局建築部建築課

A-24

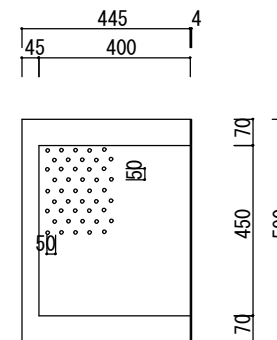
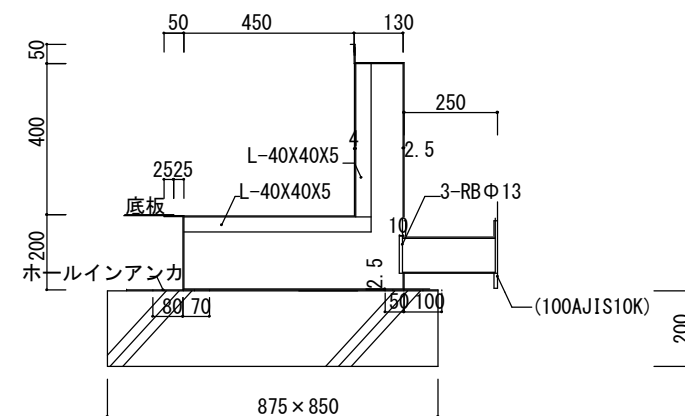
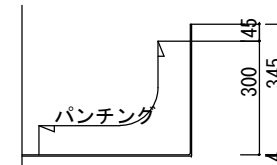
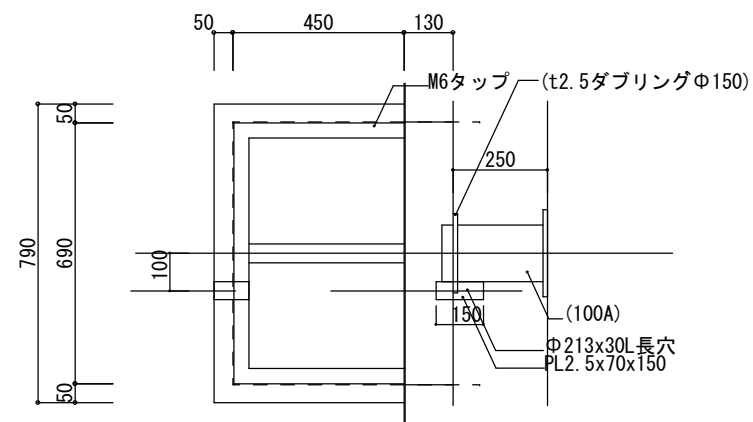


1,150×850

排水樹詳細図 S=1/20

排水樹蓋 S=1/20

固定PL 大プール 75X150 4枚



排水樹詳細図 S=1/20

固定PL プール 75X150 4枚
排水樹蓋 S=1/20

- ※ 共通事項
底板外周部の基礎との隙間には、無収縮モルタル充填の上
シーリングを施工すること。
- ※ 本図は参考図とする。詳細は施工図を作成し
監督員の承諾の上、施工すること。

参考図

(株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古川 稔

福平小学校プール新築その他本体工事

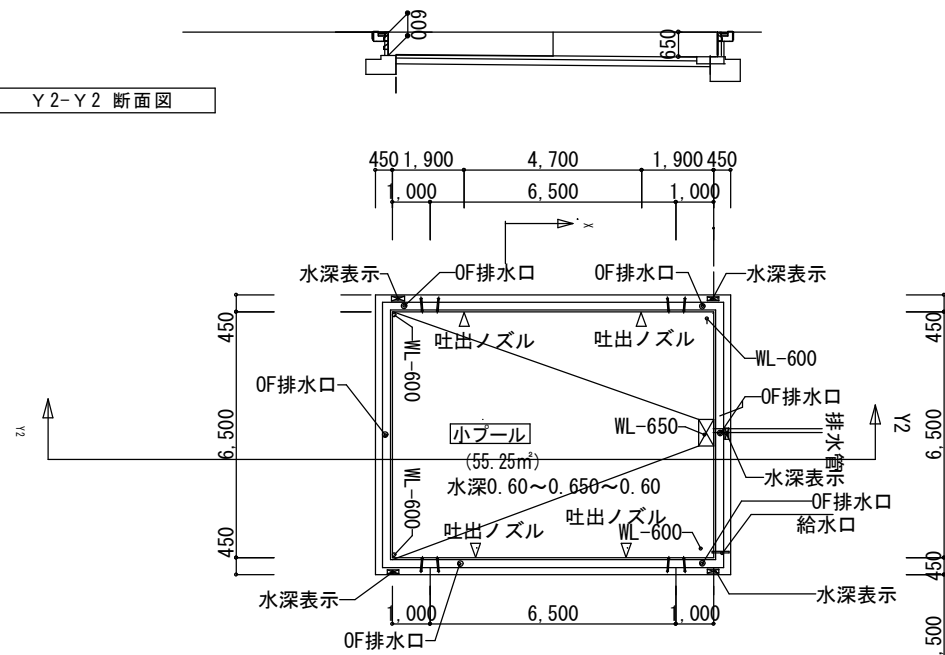
プール部品図 (1)

A3:1/20

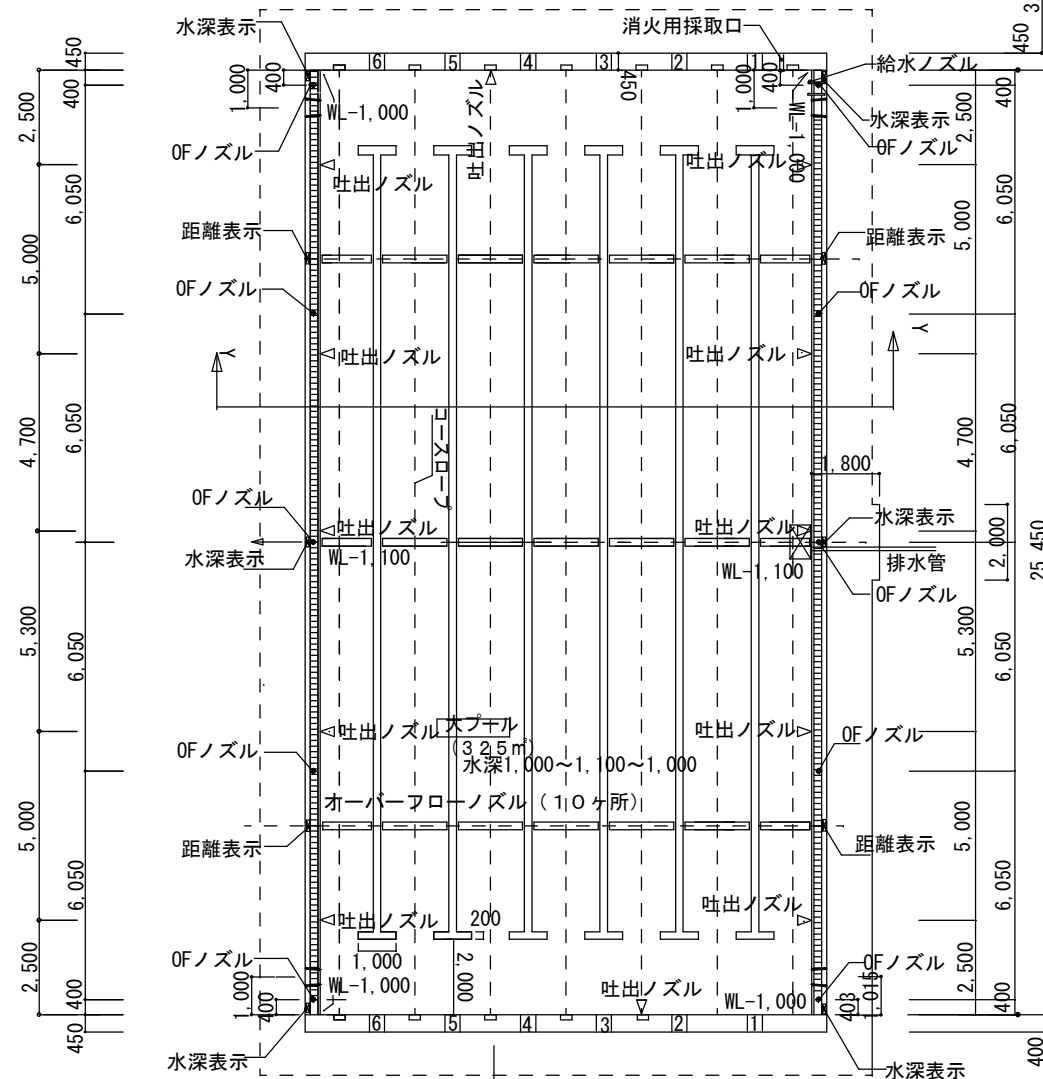
鹿児島市建設局建築部建築課

A-25

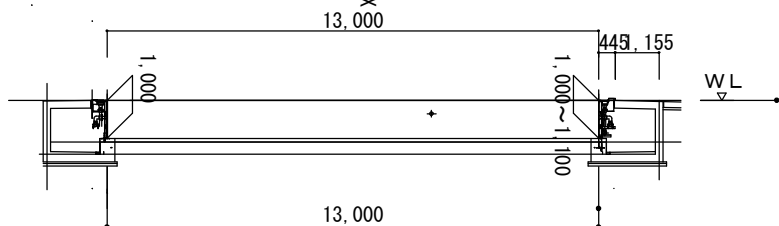
Y2-Y2 断面図



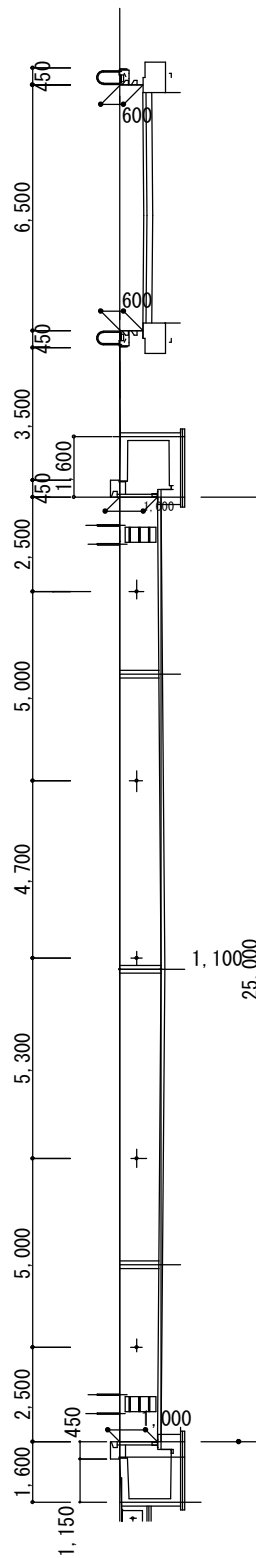
小プール 平面図



大プール 平面図



Y-Y 断面図



X-X 断面図

| | 日本塗料工業会色 | 色 素 |
|---------|----------|-----|
| プール内面 | L69-50T | 青 |
| プール上縁 | LN-95 | 白 |
| スタート台 | LN-95 | 白 |
| コースライン | L75-20L | 濃紺 |
| センターライン | L75-20L | 濃紺 |
| クロスライン | L75-20L | 濃紺 |
| 5mライン | L05-40V | 赤 |
| 文 字 | LN-10 | 黒 |

※ 色番は、日塗工2021年色番を示す。
※コースロープBOX内および背泳用BOX内は塗装除く

| | 施 工 仕 様 |
|-----------------------------------|--|
| プール上縁 | 素地調整脱脂及びサンダーケレン |
| プール内面
共通 | 下塗り エポキシ系樹脂プライマー 30μ 1回
中塗り エポキシ系樹脂塗料 30μ 1回
上塗り アクリルウレタン樹脂塗料 30μ×2 2回
(ノンスリップはケイ砂6号) |
| マーキング
共通 | コースライン・クロスライン ウレタン樹脂塗料 1回 |
| コースNo、
水深表示
距離表示
スタート台表示 | 5mラインマーク：ビニールフィルム貼り
(計11ヶ所=大プール6枚+小プール5枚) ビニールフィルム貼り
(4ヶ所) ビニールフィルム貼り
(6コース) ビニールフィルム貼り 6×2×2=24枚 |
| プール裏面
共通 | 脱脂後、変成エポキシ樹脂塗装 1回
(補強材共。 但し側板外面のみとし、底板裏面の塗装は無しとする。) |

| 塗 装 仕 様 | | 水 深 表 示 |
|--|--|---|
| (スタート、ターン側)
コースNo. 標示
プール上縁
ノンスリップ
プール外縁
プール内面
ノンスリップ (500W)
クロスライン | プール本体 (オーバーフロー側)
NON SCALE
プール上縁
ノンスリップ
プール内面
プール外縁 | 285
水深
1.00m
(ビニールフィルム) |

参考図

※ 本図は参考図とする。詳細は施工図を作成し監督員の承諾の上、施工すること。
※ 共通事項
底板外周部の基礎との隙間には、無収縮モルタル充填の上シーリングを施工すること。

(株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古 川 稔

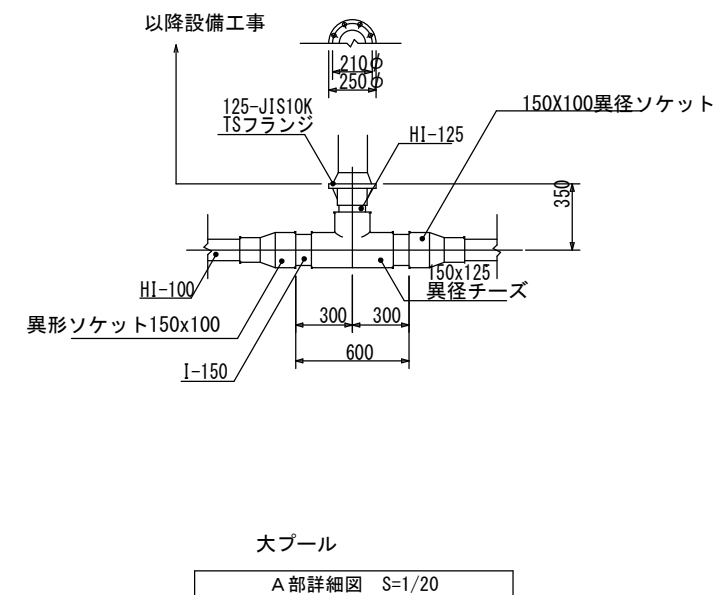
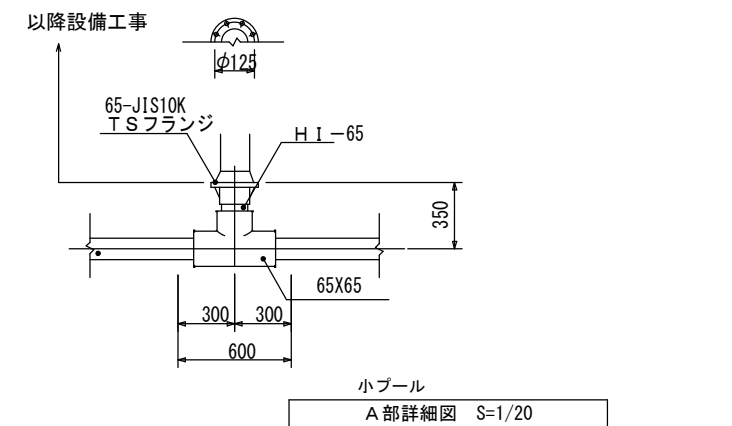
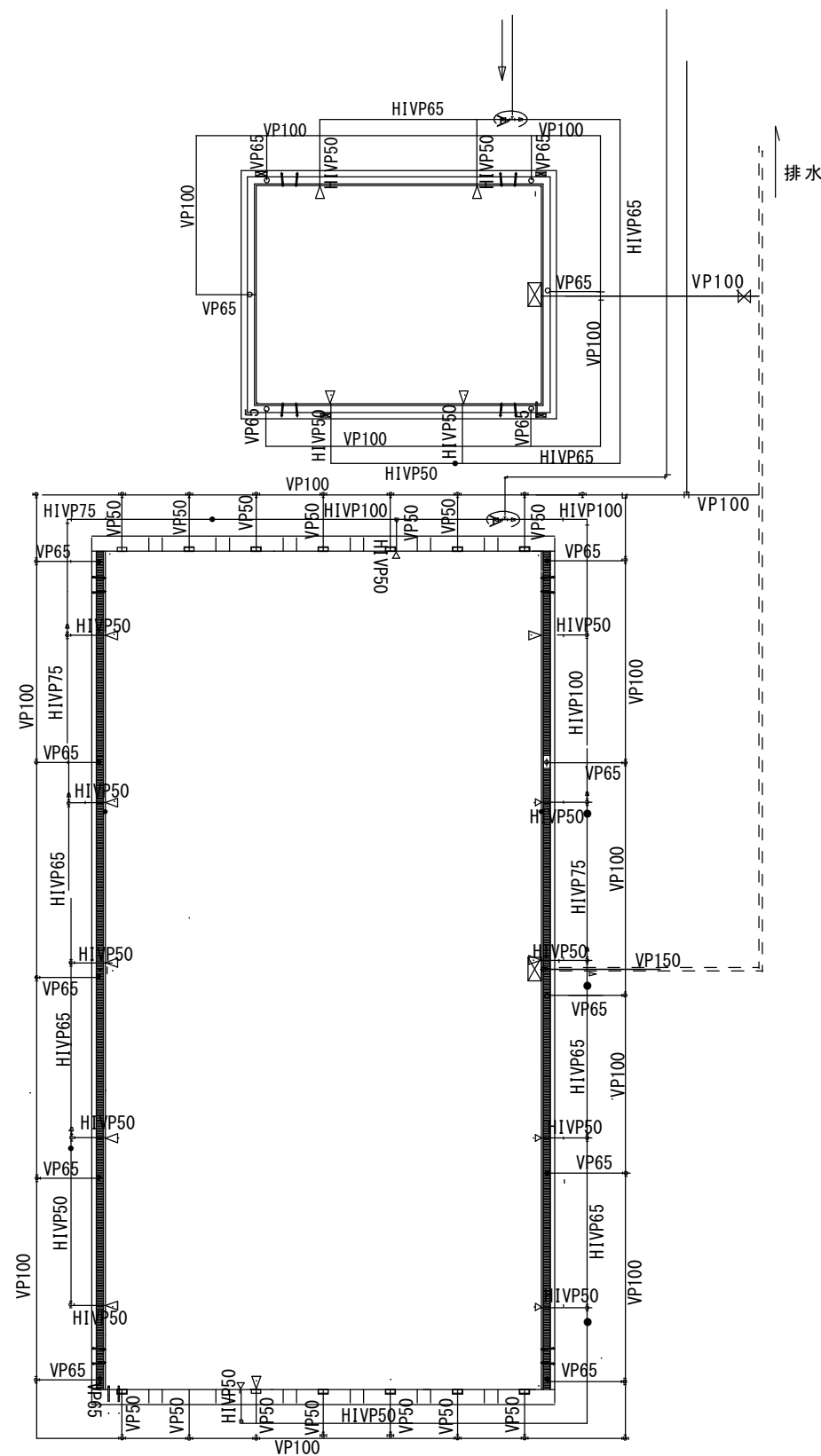
福平小学校プール新築その他本体工事

プール塗装要領図

A3:1/200

鹿児島市建設局建築部建築課

A-26

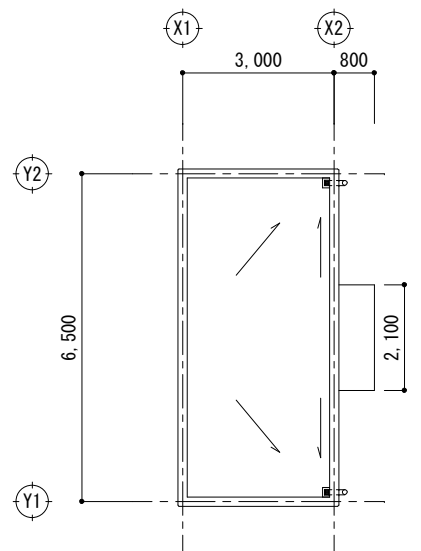


| 使用材料 | | |
|---------|---------------|---------|
| ろ過循環配管 | 耐衝撃性硬質塩化ビニール管 | H I V P |
| 〇 F排水配管 | 硬質塩化ビニール管 | V P |

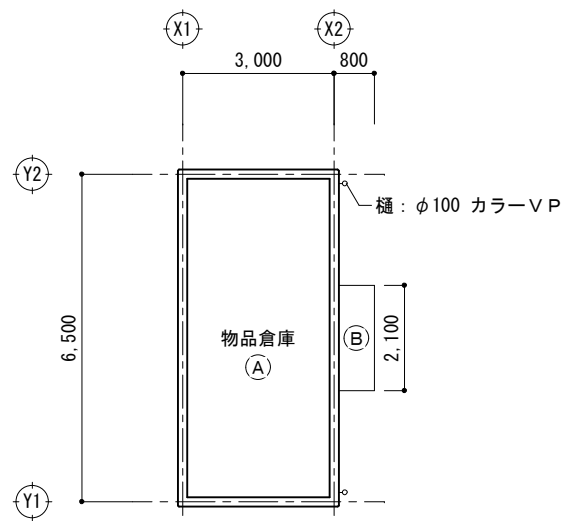
参考図

- ※ 本図は参考図とする。詳細は施工図を作成し監督員の承諾の上、施工すること。
- ※ 共通事項
底板外周部の基礎との隙間には、無収縮モルタル充填の上シーリングを施工すること。

| | | | |
|--|--------------------|------------------|------|
| (株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古 川 稔 | 福平小学校 プール新築その他本体工事 | | |
| | プール配管図 | A3:1/200
1/20 | A-27 |
| | 鹿児島市建設局建築部建築課 | | |



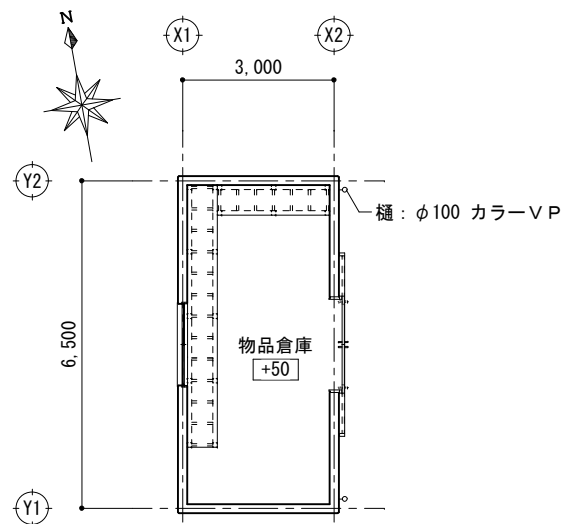
物品倉庫 屋根伏図 S=1/150



物品倉庫 天井伏図 S=1/150

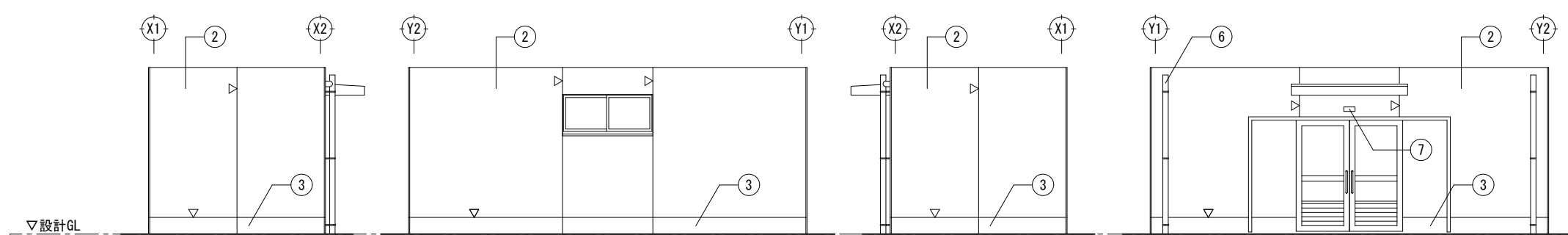
■天井伏図凡例

| 記号 | 仕上げ |
|-----|--------------------------------|
| (A) | 厚25木毛セメント板 コンクリート同時打込み |
| (B) | コンクリート打放し (B種) の上軒天用仕上げ塗材 (揚裏) |



物品倉庫 平面図 S=1/150

+N : 設計GLからの高低差を示す

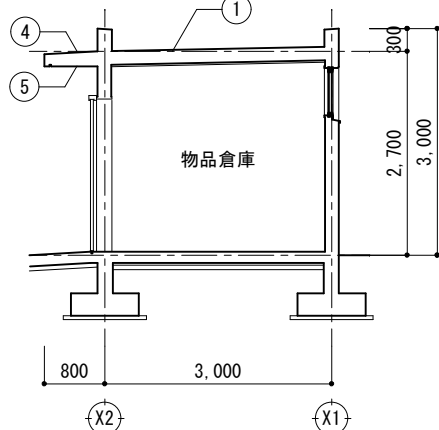


物品倉庫 南側立面図 S=1/100

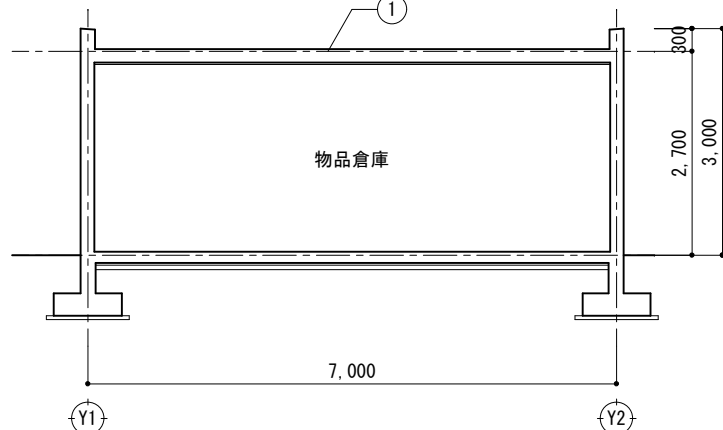
物品倉庫 西側立面図 S=1/100

物品倉庫 北側立面図 S=1/100

物品倉庫 東側立面図 S=1/100



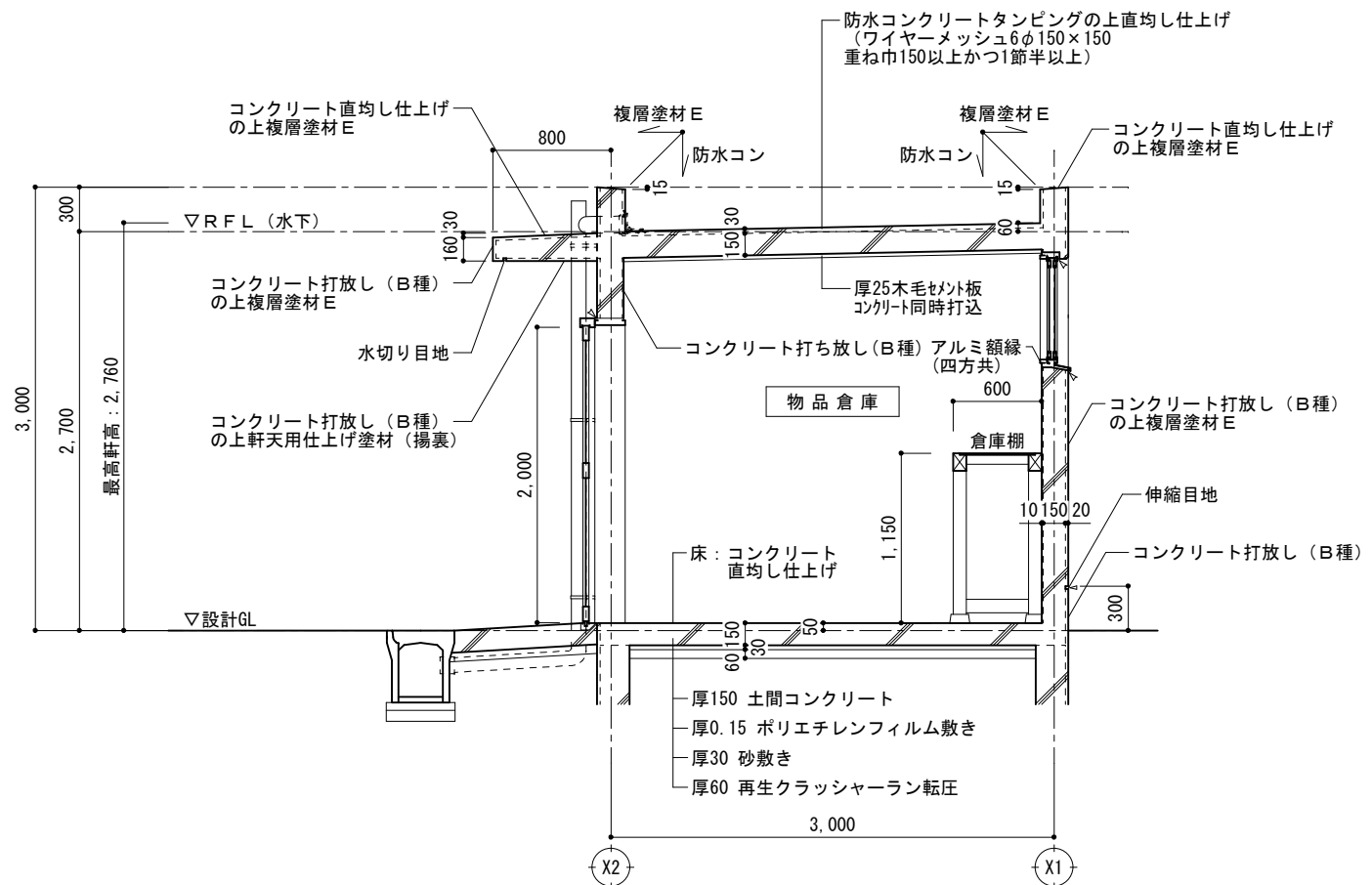
物品倉庫 断面図-1 S=1/100



物品倉庫 断面図-1 S=1/100

仕上凡例

| | |
|-----------------------------|--|
| ① | 防水コンクリートタンピングの上直均し仕上げ |
| ② | コンクリート打放し (B種) の上複層塗材E |
| ③ | コンクリート打放し (B種) |
| ④ | コンクリート直均し仕上げの上複層塗材E |
| ⑤ | コンクリート金ごて押えの上軒天用仕上げ塗材 (揚裏) |
| ⑥ | 縦樋: φ100 V Pカラーパイプ (ステンレス掴み金物@1,200以内) |
| ⑦ | 室名札 □ 1ヶ所 |
| ※室名札及びピクトサインの設置位置は協議の上決定する。 | |
| ▽ | 伸縮目地 (シーリング充填) |



物品倉庫 矩計図 S=1/50

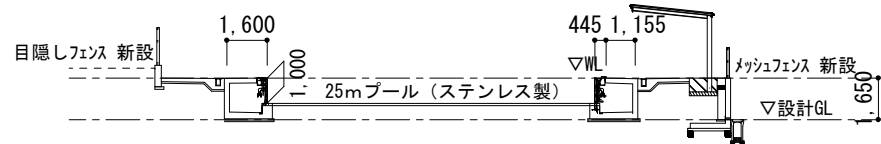
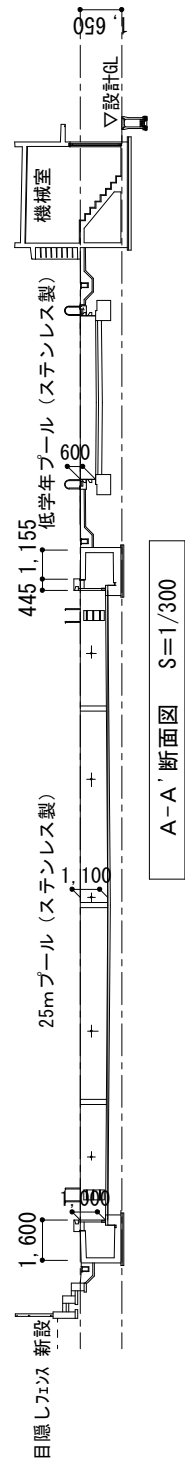
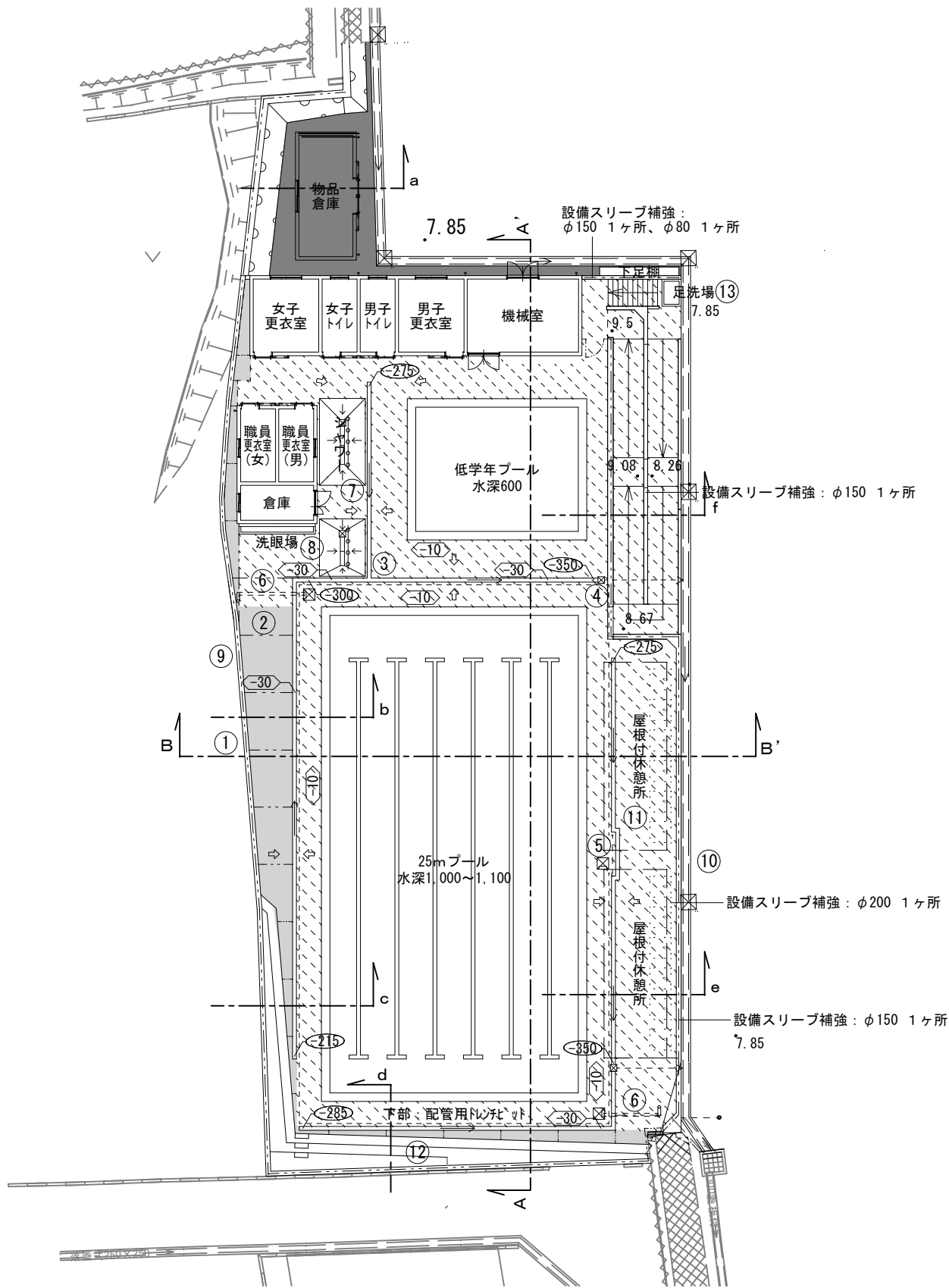
(株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古川 稔

福平小学校プール新築その他本体工事

物品倉庫 平面図・天井伏図・屋根伏図
立面図・断面図・矩計図

A3:1/150
1/100
1/50

鹿児島市建設局建築部建築課



*** \ *** : 設計GL+1,650からの高低差を示す

▽設計GL+1,650

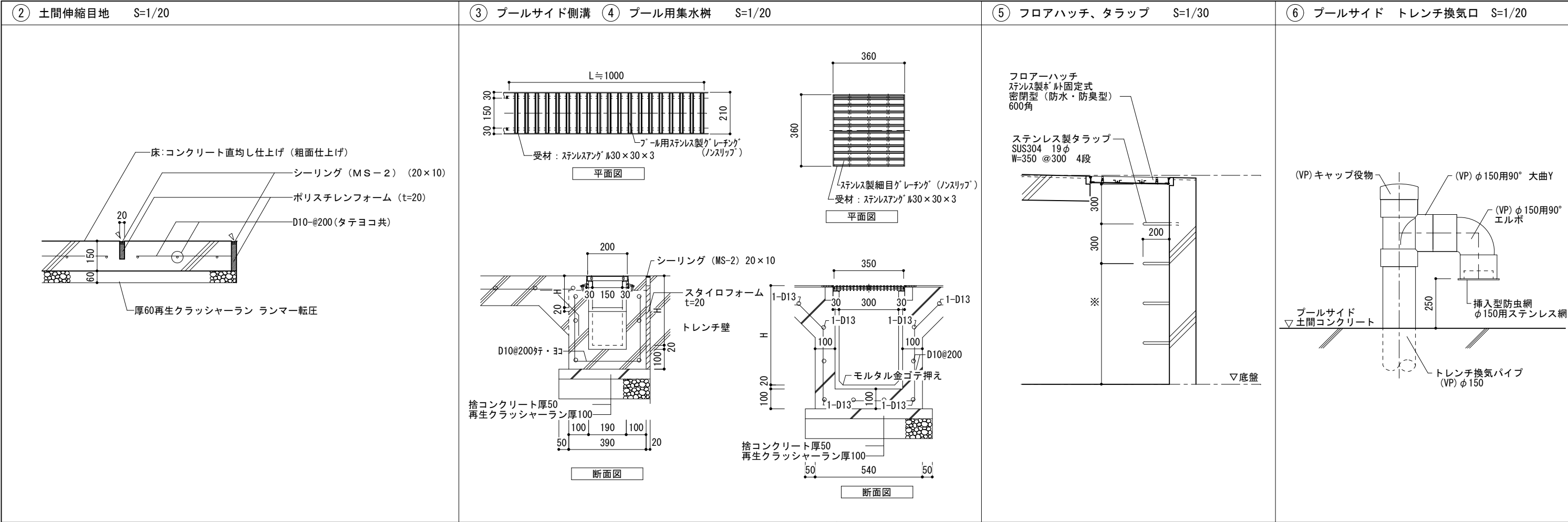
▽WL

※道路境界線・隣地境界線から擁壁の位置については、
監督員と現場確認・協議の上、決定すること。

| 符号
凡例 | 項 目 | 規 格・寸 法 | 参考数量 |
|--|----------------|---|---------------------|
| | 土間コン | コンクリート直均し仕上げ | 28.1 m ² |
| | 土間コン | コンクリート直均し粗面仕上げ | 57.9 m ² |
| | 複層
ビニール床シート | 厚2.9(遮熱性・防滑性・抗菌性)
周囲メーカー仕様シーリング | 380 m ² |
| ① | コンクリート擁壁 | RC製 | 67.5 m |
| ② | 土間伸縮目地 | 目地巾20 @≒3,000 | 31.6 m |
| ③ | プールサイド側溝 | RC製 溝幅150 SUS製グレーチング蓋 | 84.4 m |
| ④ | プールサイド
集水枘 | RC製 樹形300角 SUS製グレーチング蓋(ノスリフ)
側溝にφ100塩ビVP(コア抜き)接続 | 2ヶ所 |
| ⑤ | フローアハッチ | 600角
ステンレス製タラップ φ19 W=350 4段 | 3ヶ所 |
| ⑥ | トレンチ
換気パイプ | VP管 150φ | 2ヶ所 |
| ⑦ | シャワースペース | 50角磁器質タイル張り | 2ヶ所 |
| ⑧ | 洗眼場 | 50角磁器質タイル張り | 1ヶ所 |
| ⑨ | 目隠しフェンス | H=1,500 | 83.3 m |
| ⑩ | メッシュフェンス | H=1,200
一部片開き門扉W950 | 50.2 m |
| ⑪ | 屋根付休憩所 | アルミ製 W9,864 | 2ヶ所 |
| ⑫ | 階段状休憩所 | コンクリート直均し粗面仕上げ | 40.1 m ² |
| ⑬ | 足洗場 | 50角磁器質タイル張り | 1ヶ所 |
| ※ ⇨ : 土間水勾配を示す | | | |
| ※ → : 側溝水勾配を示す | | | |
| ※擁壁及びフェンス基礎で、異なる構造物に接する箇所は
伸縮目地(瀝青系)を設けること。 | | | |

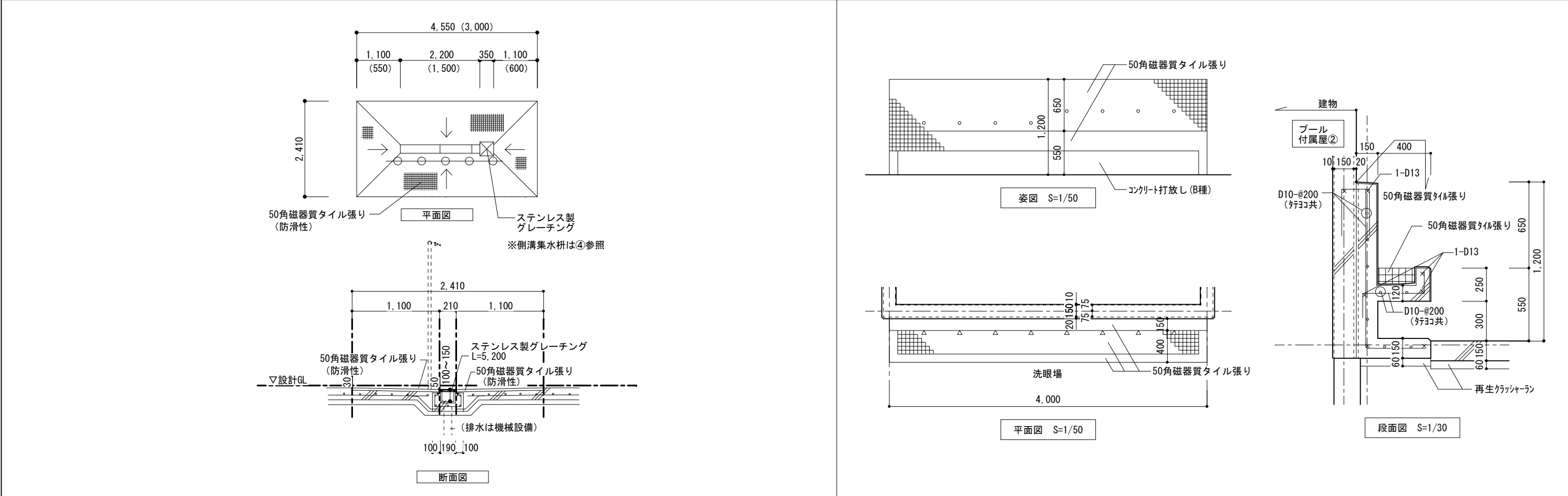
| | | | |
|--|-------------------|----------|------|
| (株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古 川 稔 | 福平小学校プール新築その他本体工事 | | |
| | 外構平面図 | A3:1/300 | A-30 |
| | 鹿児島市建設局建築部建築課 | | |

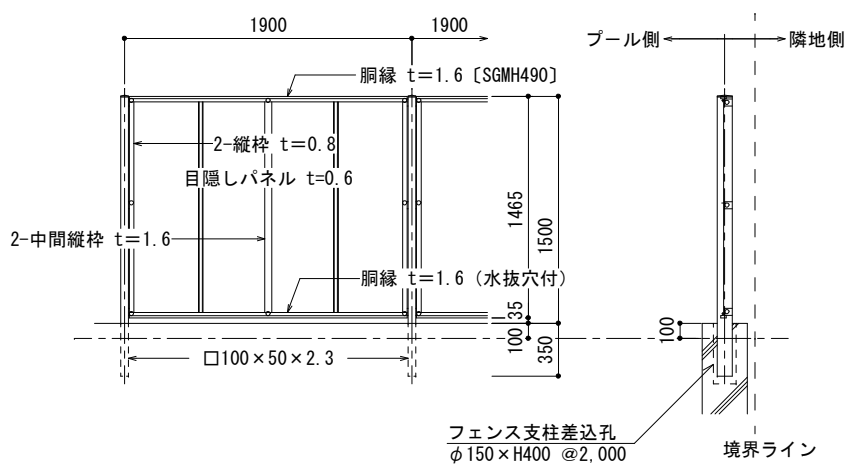
| | | | |
|----------------|--|---------------------------------------|--|
| a 部断面図 S=1/100 | | b 部断面図 S=1/100 | |
| | | | |
| c 部断面図 S=1/100 | | d 部断面図 S=1/100 | |
| | | | |
| e 部断面図 S=1/100 | | f 部断面図 S=1/100 | |
| | | | |
| | | (株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古川 稔 | |
| | | 福平小学校プール新築その他本体工事 | |
| | | 外構断面図 A3:1/100 | |
| | | 鹿児島市建設局建築部建築課 | |
| | | A-31 | |



⑦ 【参考図】シャワースペース：既製品 S=1/100

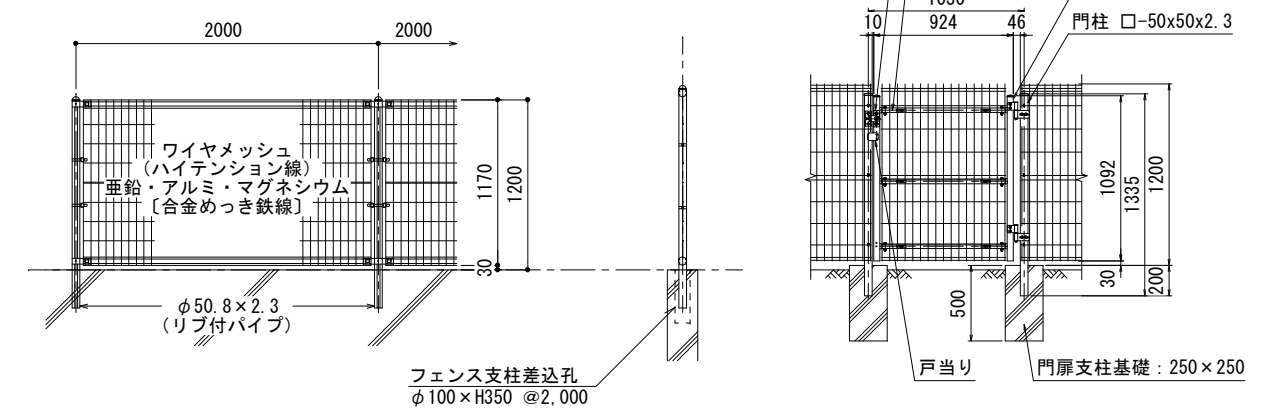
⑧ 洗眼場 S=1/30・50





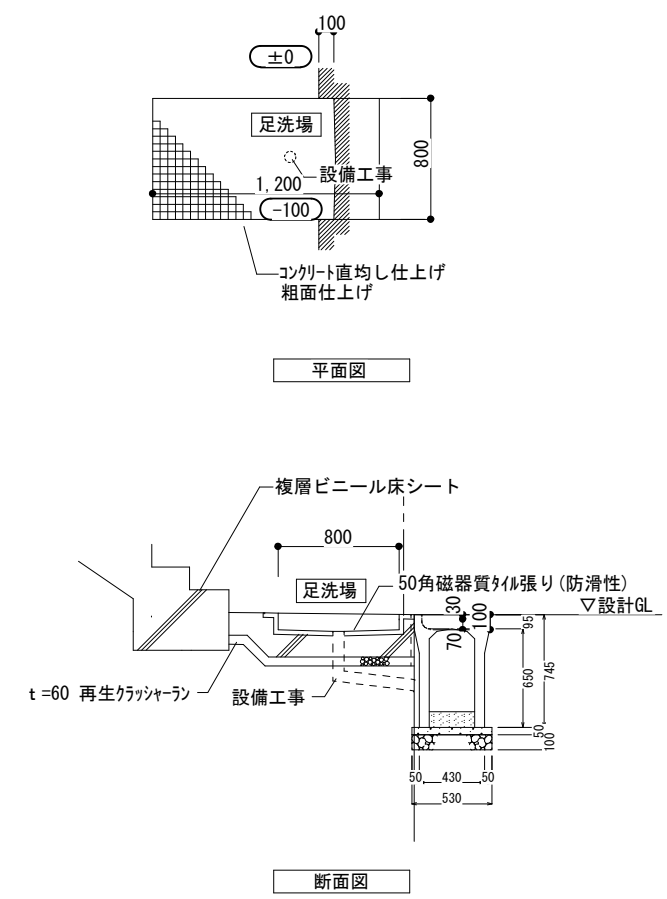
設計条件
設計荷重・・・建築基準法・同施行令（平成12年6月）に基づく
風圧力に依る。
基準風速・・・38m/sec
地表面粗度区分・・・Ⅲ

備考
1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とする。
2. 目隠しパネルの目の向きは指示に依る。



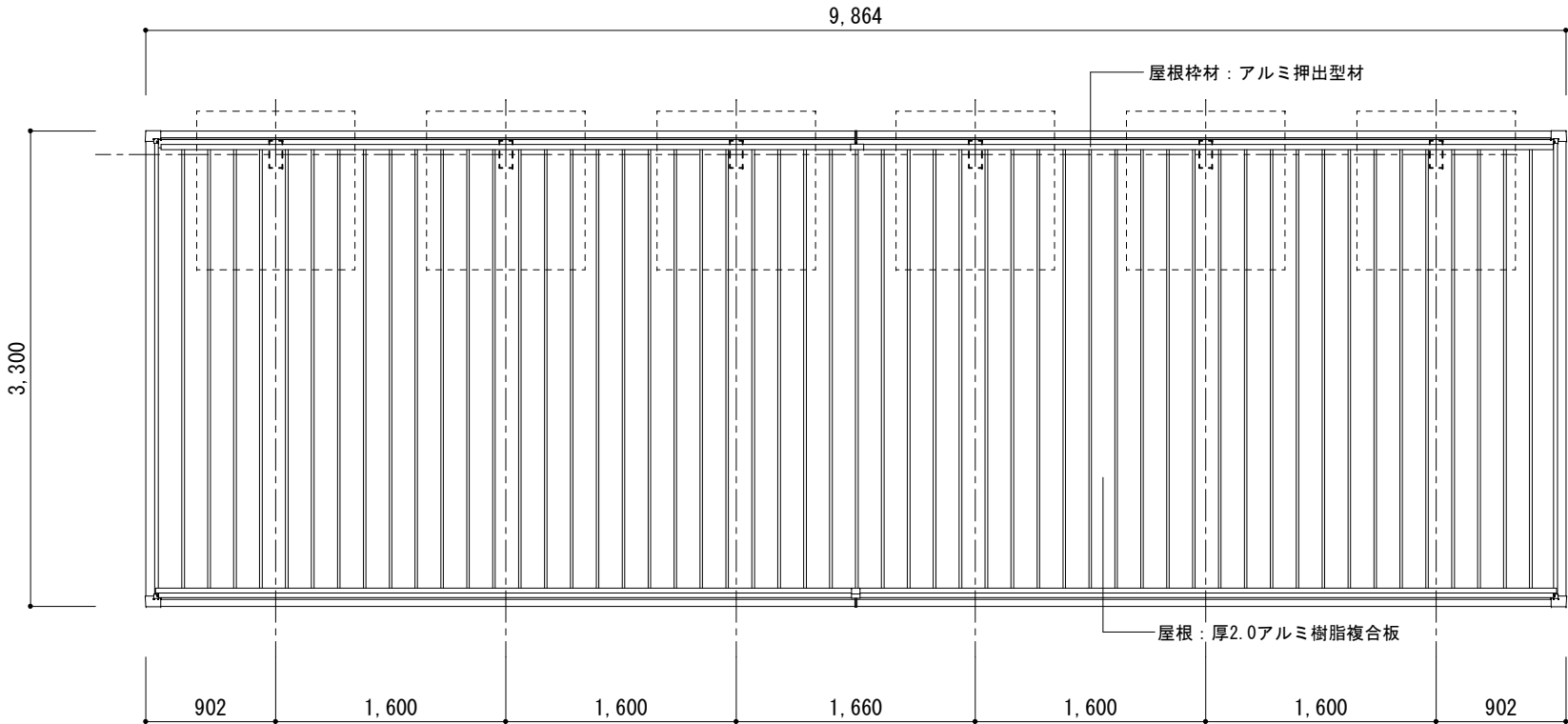
設計条件
設計荷重・・・建築基準法・同施行令（平成12年6月）に基づく風圧力に依る。
基準風速・・・38m/sec
地表面粗度区分・・・Ⅲ

備考
1. 外装について
・主柱、ジョイント
・押え金具、継ぎ金具
・ワイヤメッシュ
・バンド
・U型金具
・ボルト、ナット
・・・ 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・・・ 亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・・・ 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・・・ 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

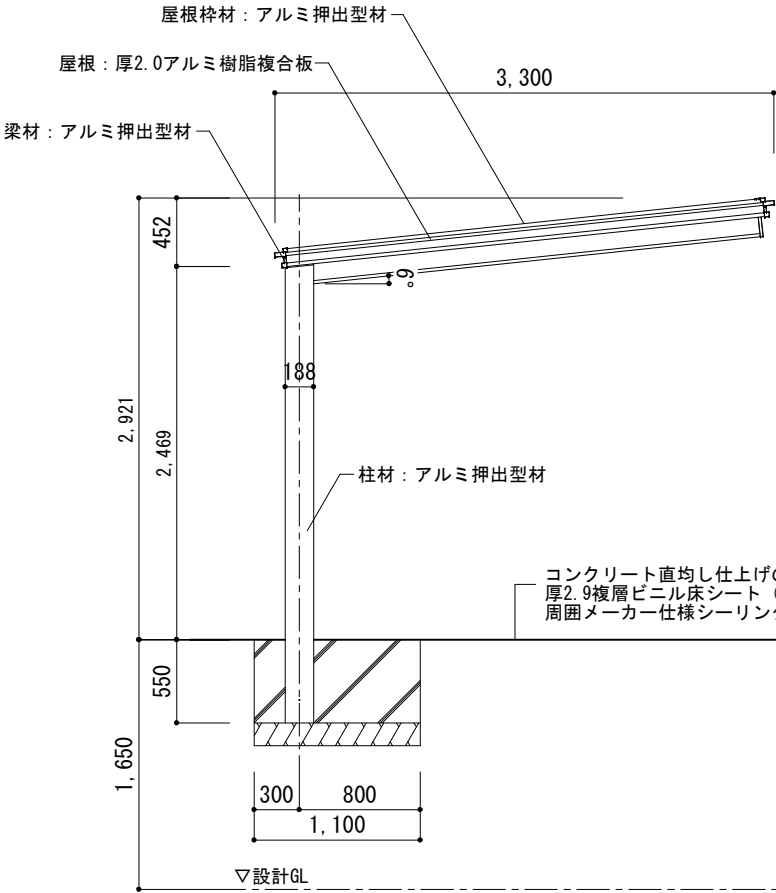


特記事項

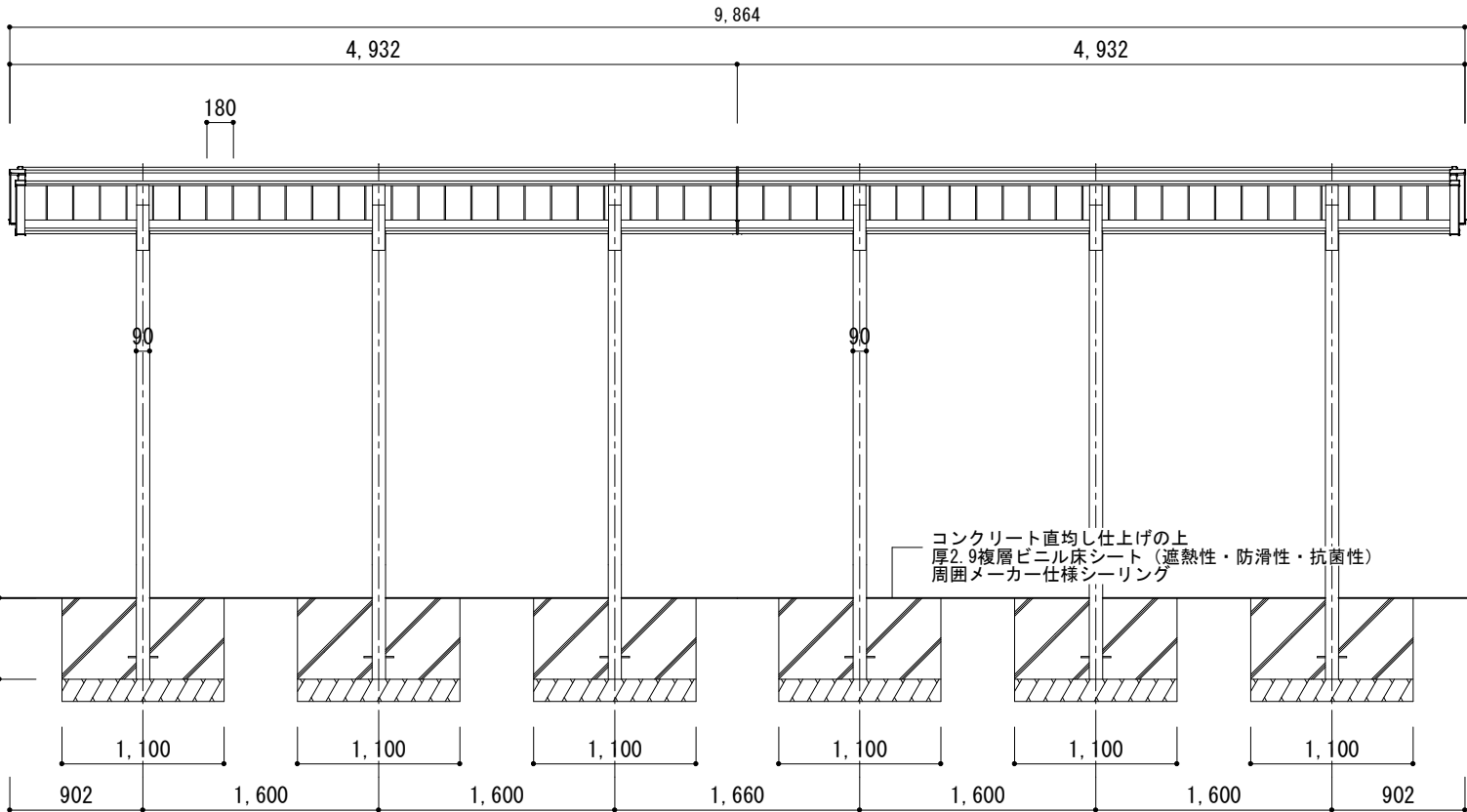
- ・国土交通省告示第410号に適合しているアルミ製カーポート（既製品）とする。
- ・基準風速：V₀＝38m/s仕様以上とする。
- ・休憩所寸法、各部材寸法及び納まりについてはメーカー仕様による。
- ・屋根：アルミ樹脂複合板t=2.0（国土交通大臣認定番号：NM－1961）
- ・基礎共建築工事



屋根伏図 S=1：50



側面図 S=1：50



立面図 S=1：50

参考

(株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古川 稔

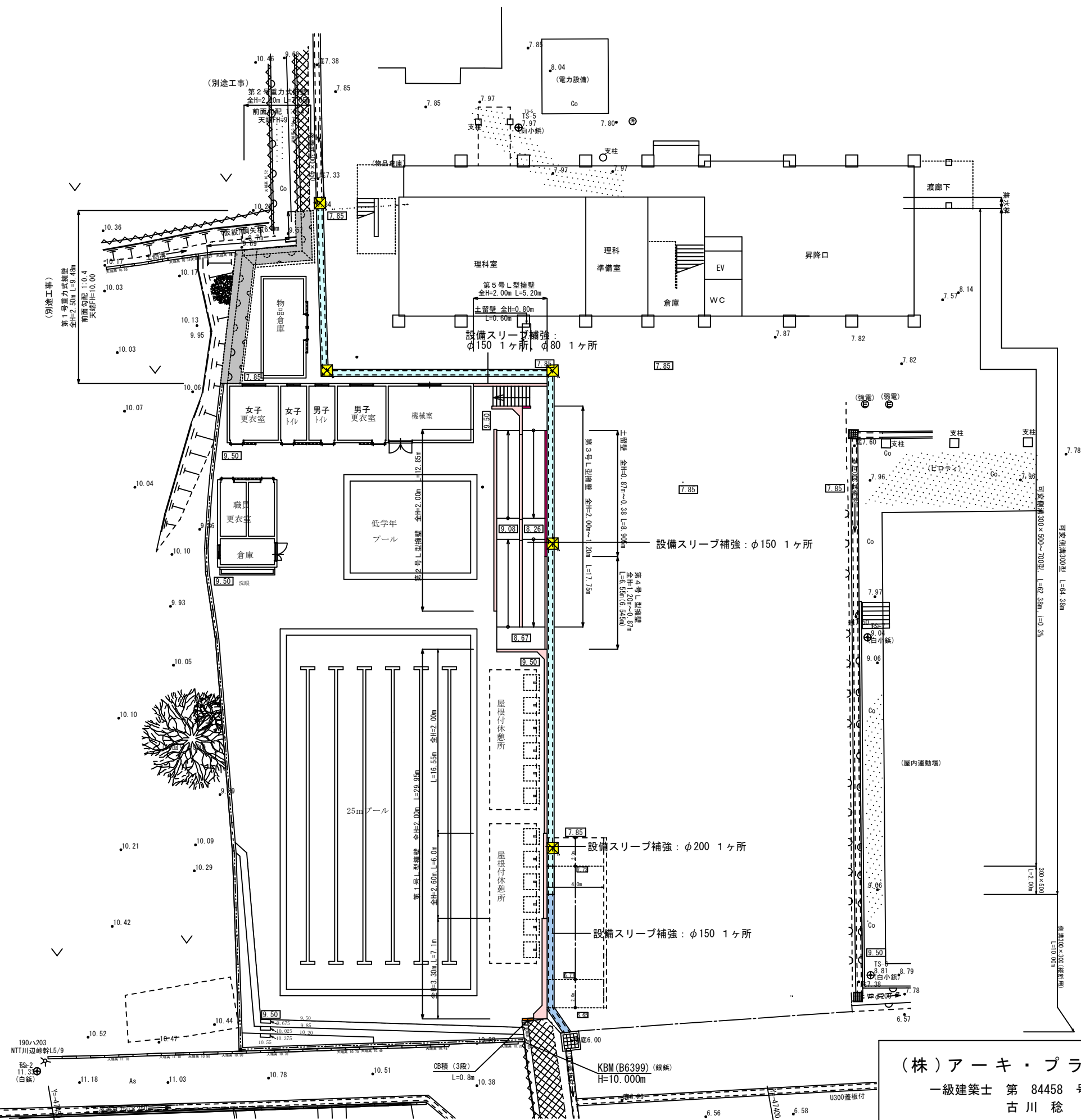
福平小学校プール新築その他本体工事

屋根付休憩所 詳細図

A3:1/50

鹿児島市建設局建築部建築課

A-34



数量総括表

| 凡 例 | 種 別 | 規 格 | 数 量 | 単 位 |
|-------------|-------------|----------------|----------------|--------|
| | 第 1 号 L 型擁壁 | H=2. 00m | 16. 55 | m |
| | | H=2. 60m | 6. 00 | m |
| | | H=3. 30m | 7. 10 | m |
| | 第 2 号 L 型擁壁 | H=2. 00m | 12. 85 | m |
| | | 第 3 号 L 型擁壁 | H=2. 00～1. 20m | 17. 75 |
| 第 4 号 L 型擁壁 | | H=1. 20～0. 87m | 6. 55 | m |
| | 第 5 号 L 型擁壁 | H=2. 00m | 5. 20 | m |
| | 第 1 号重力式擁壁 | H=2. 50m | (別途工事) | m |
| | 第 2 号重力式擁壁 | H=2. 20m | (別途工事) | m |
| | (仮設) 鋼矢板 | L=6. 0m | (別途工事) | m |
| | 土 留 壁 | H=0. 80m | 0. 60 | m |
| | | H=870～790～380m | 8. 905 | m |
| | C B 積 | 3段 | 0. 80 | m |
| | | | | |
| | | | | |
| | 可変側溝 | 製品 | 1 | 式 |
| | 300×500 | 縦断用 | 21. 60 | m |
| | 300×600 | 縦断用 | 33. 94 | m |
| | 300×700 | 縦断用 | 8. 84 | m |
| | 側溝300×300 | 縦断用 | 10. 0 | m |
| ☒ | 集 水 樹 | 現場打 | 5 | 基 |
| | 設備スリーブ補強 | | 5 | ヶ所 |

基準点座標一覧

| 点 名 | X座標 | Y座標 | 備 考 |
|-----------|-------------|------------|-----|
| T51(白紙) | -168686.136 | -47417.757 | |
| T52(白紙) | -168662.261 | -47450.595 | |
| T53(白プラ杭) | -168627.094 | -47412.449 | |
| T54(白プラ杭) | -168610.170 | -47409.587 | |
| T55(白紙) | -168602.543 | -47405.537 | |
| T56(白紙) | -168665.802 | -47391.441 | |
| T57(白紙) | -168642.278 | -47387.514 | |

(株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古川 稔

福平小学校プール新築その他本体工事

擁壁計画平面図

A3: 1/150

鹿兒島市建設局建築部建築課

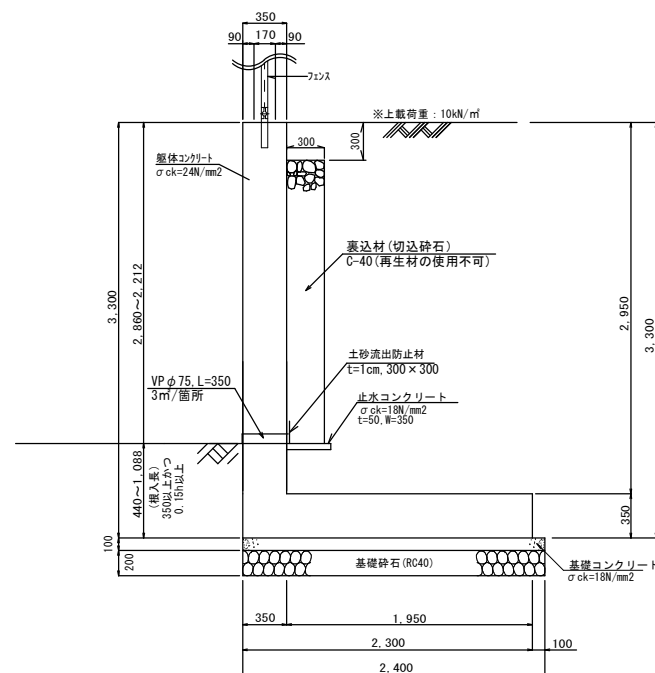
A-35

第 1 号 L 型擁壁 展開図 S=1:50

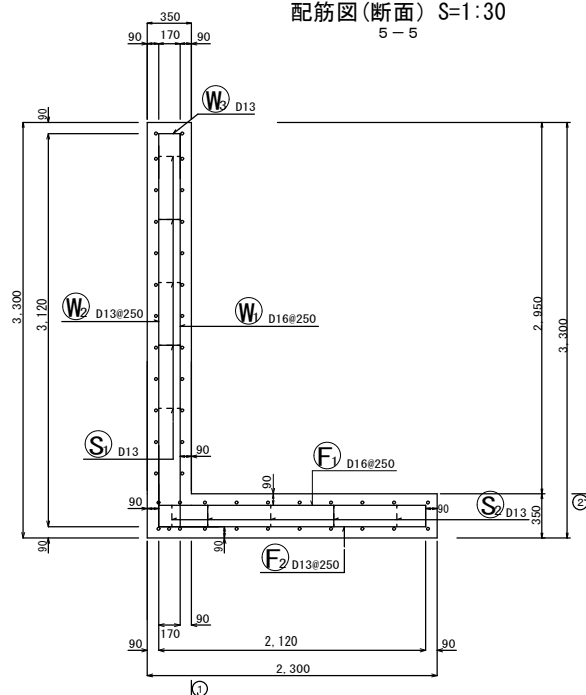


| | 全H=3.30m | 全H=2.60m | 全H=2.00m |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 壁面面積
(ca設計) | 18.47㎡ | 11.29㎡ | 24.40㎡ |
| 水族箱凸
部数 | 18.47÷3
7箇所 | 11.29÷3
4箇所 | 24.40÷3
8箇所 |
| 水族箱凸
部面積 | 16.35㎡ | 9.49㎡ | 19.43㎡ |
| 根入れ部面積 | 4.96㎡ | 4.31㎡ | ---- |
| 平均根入れ | 0.70m | 0.718m | ---- |
| 平均床掘高 | 1.000m | 1.018m | ---- |

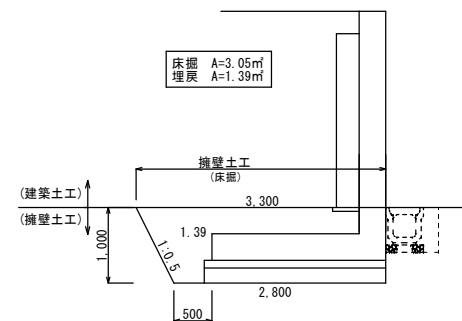
全H=3.30m 標準断面図 S=1:30



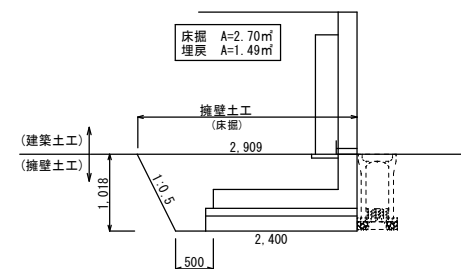
配筋図(断面) S=1:30
5-5



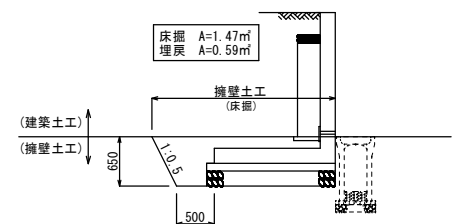
H=3.30m 土工图 S=1:50



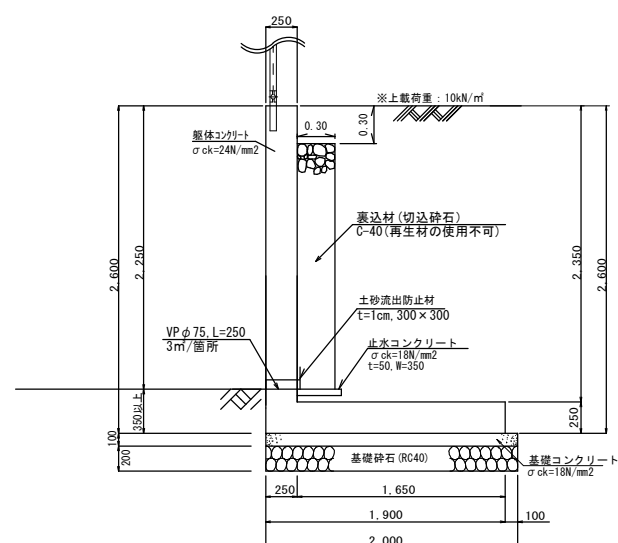
H=2.60m 土工図 S=1:50



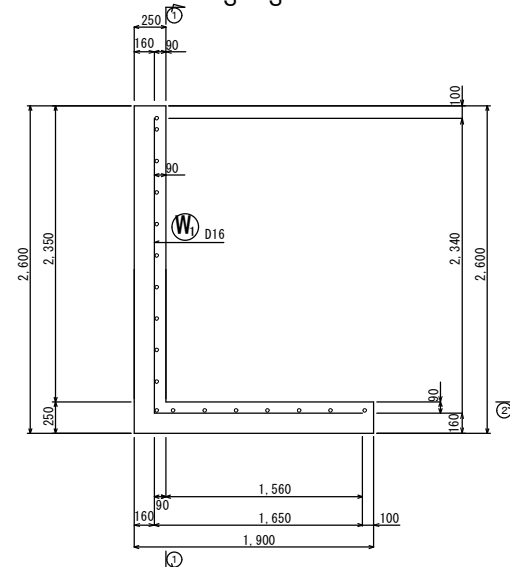
H=2.00m 土工图 S=1:50



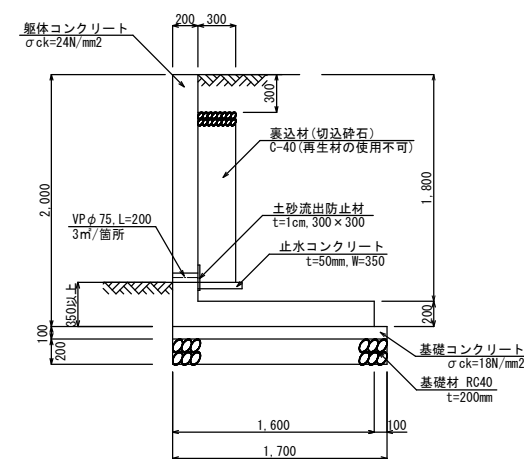
全H=2.60m 標準断面図 S=1:30



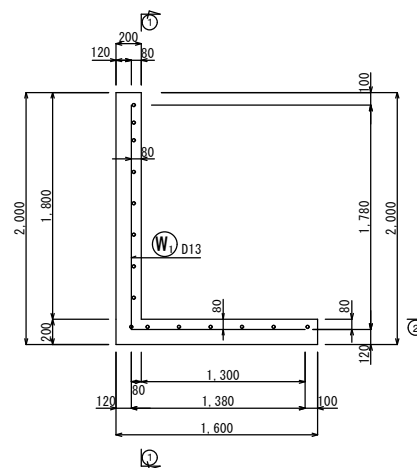
配筋図(断面) S=1:30
3-3



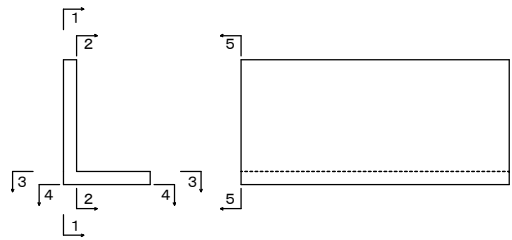
全H=2.00m 標準断面図 S1:30



配筋図(断面) S=1:30

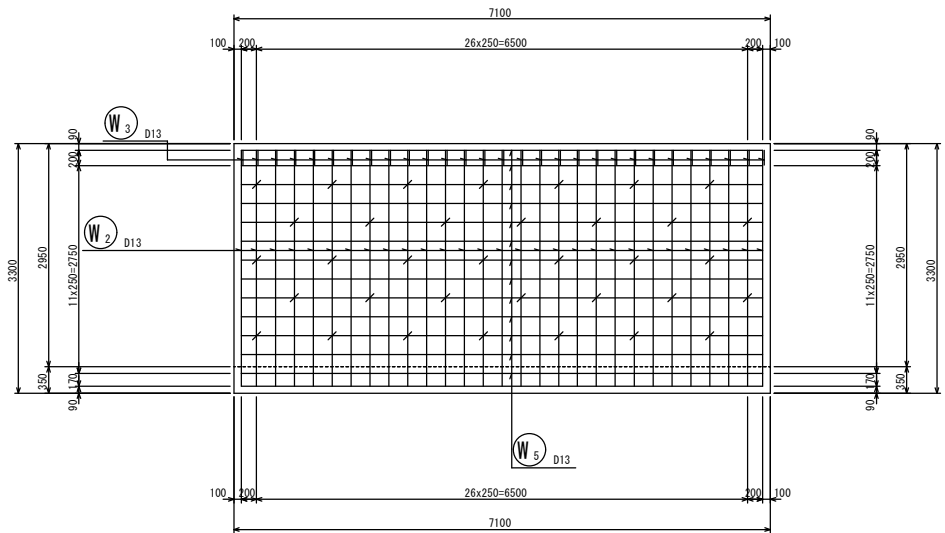


位置図

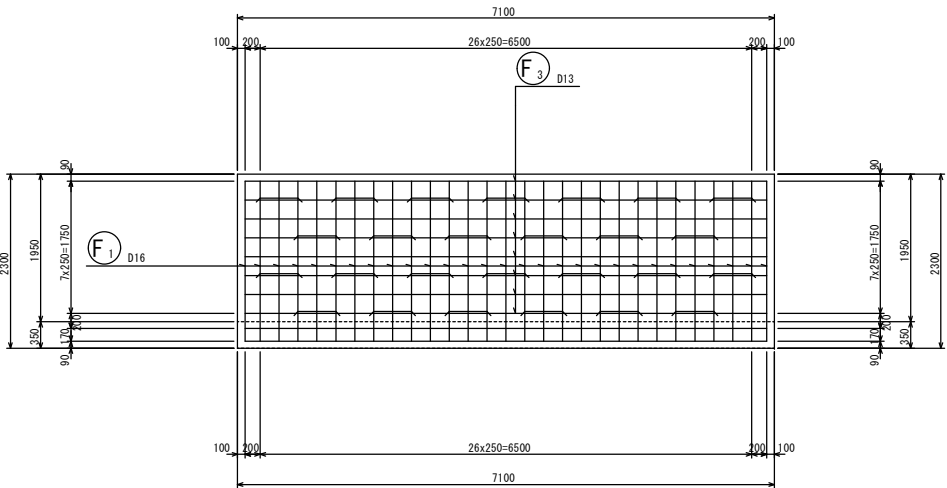


第1号L型擁壁構造図（その2）

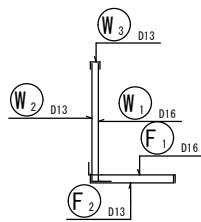
前面図
1-1



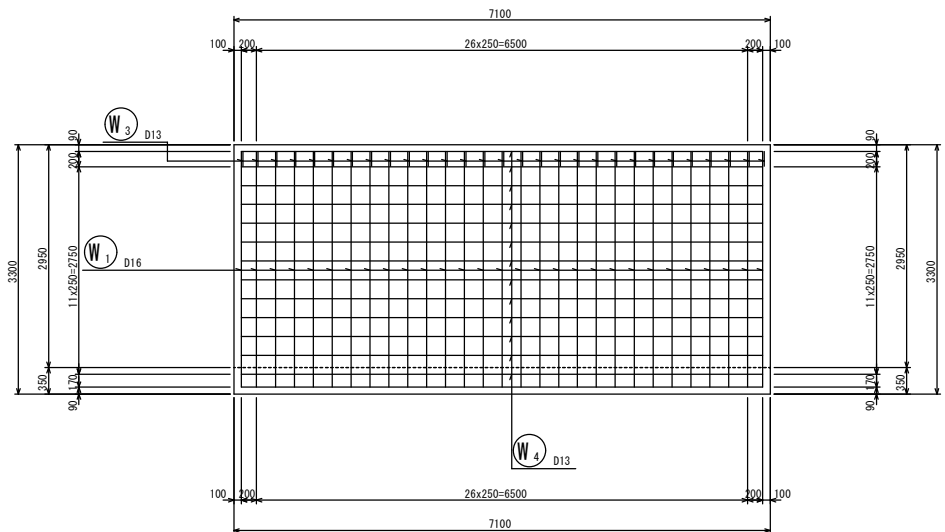
底版上面図
3-3



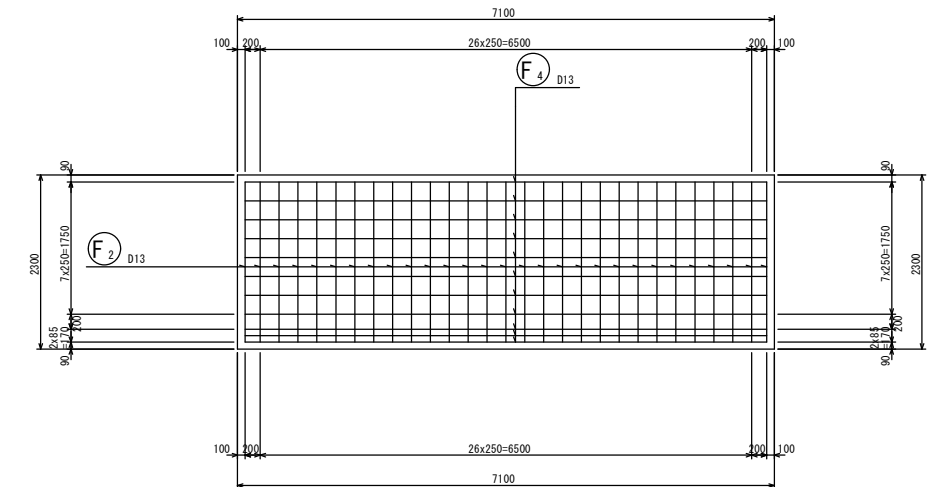
鉄筋組立図



背面図
2-2



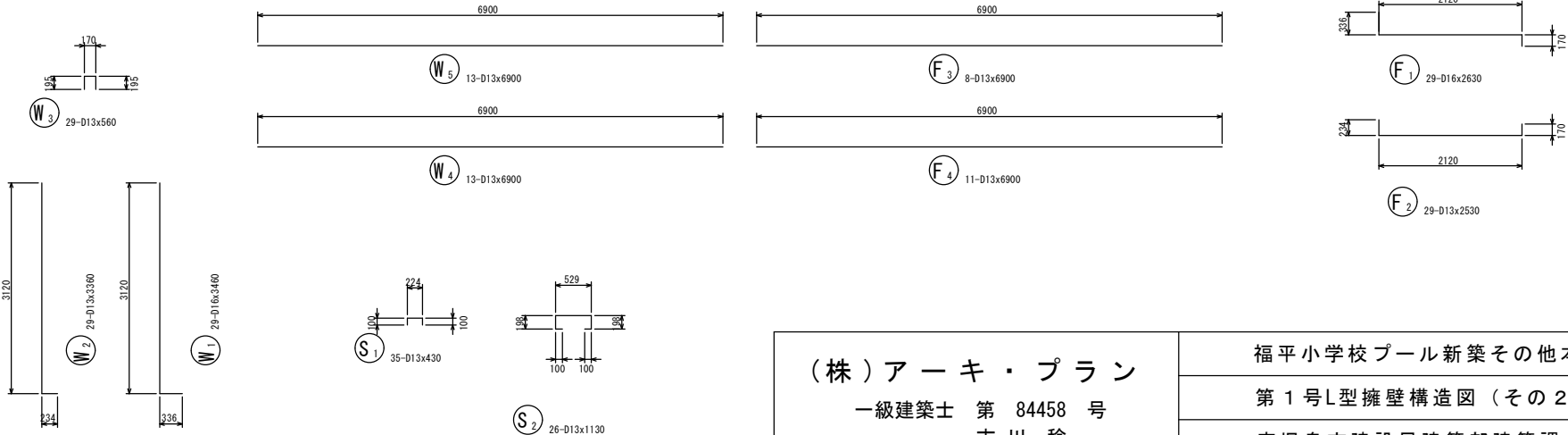
底版下面図
4-4



全H=3.30m 鉄筋表

| 記号 | 径 | 長さ
(mm) | 本数 | 単位質量
(kg/m) | 1本当り質量
(kg) | 質量
(kg) | 摘要 |
|----|-----|------------|----|----------------|----------------|------------|--------|
| W1 | D16 | 3460 | 29 | 1.56 | 5.398 | 157 | └┐ |
| W2 | D13 | 3360 | 29 | 0.995 | 3.343 | 97 | └┐ |
| W3 | D13 | 560 | 29 | 0.995 | 0.557 | 16 | ┐└ |
| W4 | D13 | 6900 | 13 | 0.995 | 6.866 | 89 | — |
| W5 | D13 | 6900 | 13 | 0.995 | 6.866 | 89 | — |
| | | | | | | | |
| F1 | D16 | 2630 | 29 | 1.56 | 4.103 | 119 | ┐└ |
| F2 | D13 | 2530 | 29 | 0.995 | 2.517 | 73 | ┐└ |
| F3 | D13 | 6900 | 8 | 0.995 | 6.866 | 55 | — |
| F4 | D13 | 6900 | 11 | 0.995 | 6.866 | 76 | — |
| | | | | | | | |
| S1 | D13 | 430 | 35 | 0.995 | 0.428 | 15 | ┐└ |
| S2 | D13 | 1130 | 26 | 0.995 | 1.124 | 29 | ┐└ |
| | | | | | | D16 | 276 kg |
| | | | | | | D13 | 539 kg |
| | | | | | | 合計 | 815 kg |

加工図



(株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古川 稔

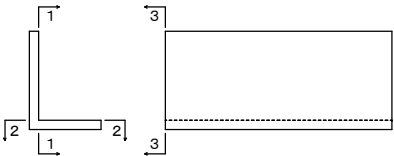
福平小学校プール新築その他本体工事

第1号L型擁壁構造図（その2）

図示

鹿児島市建設局建築部建築課

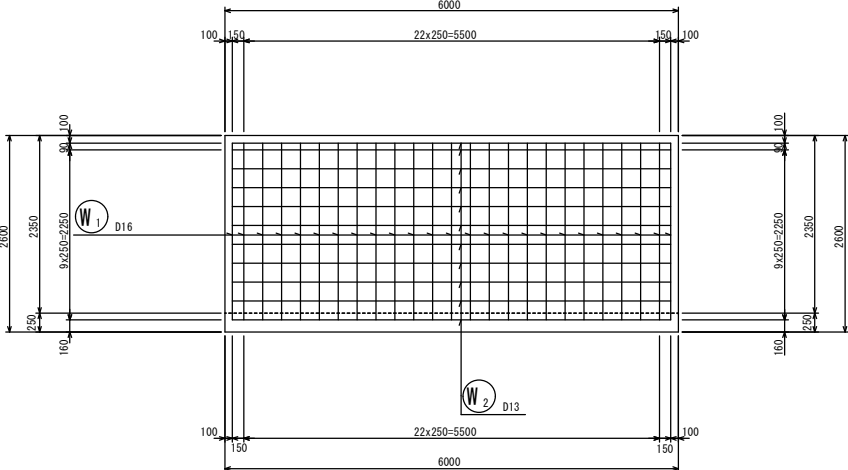
位置図



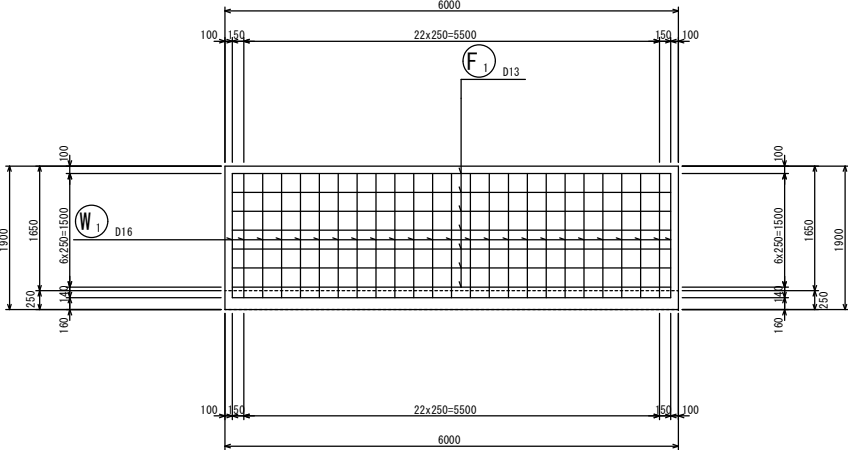
鉄筋組立図



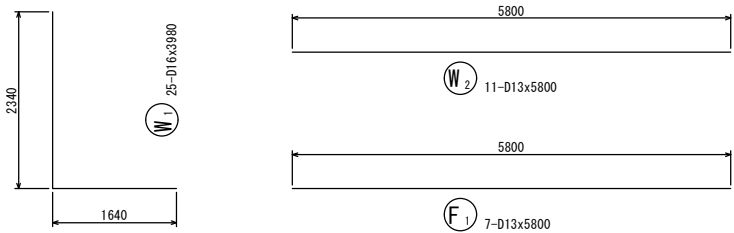
背面図
1-1



底版上面図
2-2



加工図

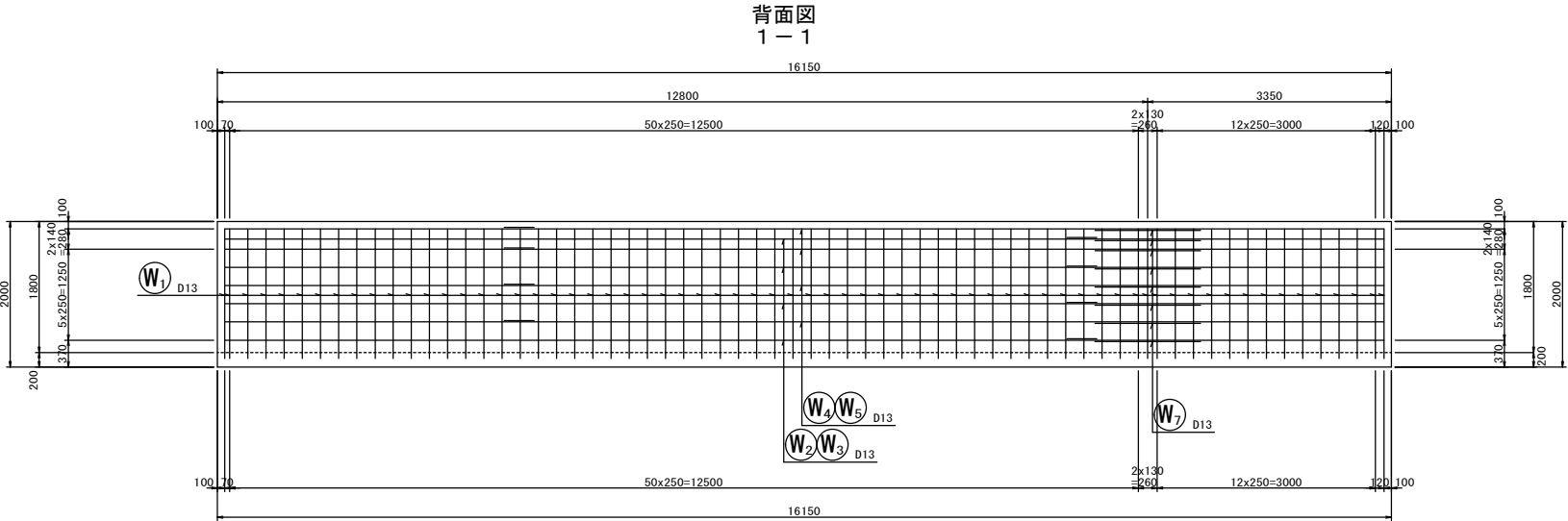


全H=2.60m 鉄筋表

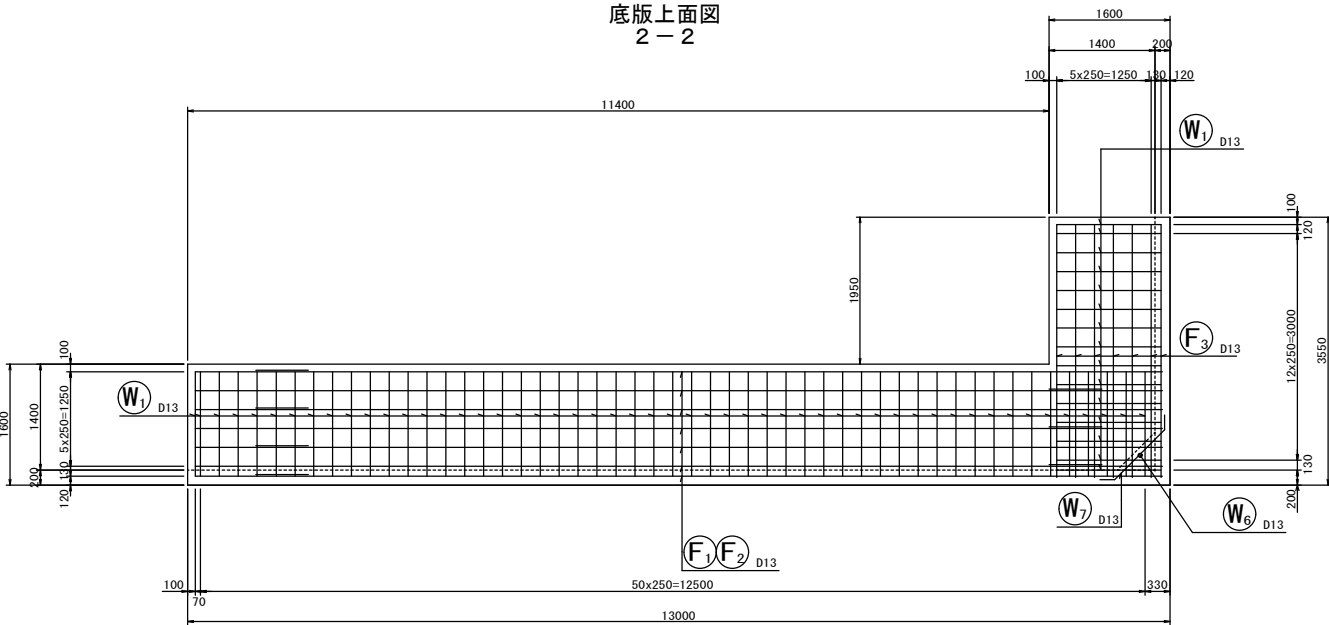
| 記号 | 径 | 長さ
(mm) | 本数 | 単位質量
(kg/m) | 1本当り質量
(kg) | 質 量
(kg) | 摘 要 |
|----|-----|------------|----|----------------|----------------|-------------|-----|
| W1 | D16 | 3980 | 25 | 1.56 | 6.209 | 155 | └ |
| W2 | D13 | 5800 | 11 | 0.995 | 5.771 | 63 | └ |
| F1 | D13 | 5800 | 7 | 0.995 | 5.771 | 40 | └ |
| | | | | | | D16 155 kg | |
| | | | | | | D13 103 kg | |
| | | | | | | 合計 258 kg | |

第1号L型擁壁構造図（その3）

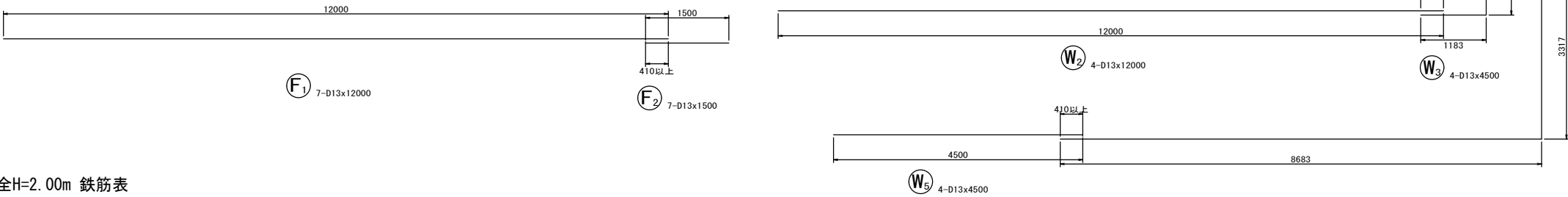
配 筋 図



底版上面図
2-2



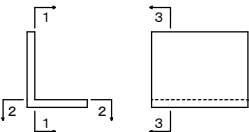
加工図



鉄筋組立図



位置図



全H=2.00m 鉄筋表

| 記号 | 径 | 長さ
(mm) | 本数 | 単位質量
(kg/m) | 1本当り質量
(kg) | 質 量
(kg) | 摘 要 |
|----|-----|------------|----|----------------|----------------|-------------|-----|
| W1 | D13 | 3160 | 67 | 0.995 | 3.144 | 211 | └ |
| W2 | D13 | 12000 | 4 | 0.995 | 11.940 | 48 | └ |
| W3 | D13 | 4500 | 4 | 0.995 | 4.478 | 18 | └ |
| W4 | D13 | 12000 | 4 | 0.995 | 11.940 | 48 | └ |
| W5 | D13 | 4500 | 4 | 0.995 | 4.478 | 18 | └ |
| W6 | D13 | 1980 | 1 | 0.995 | 1.970 | 2 | └ |
| W7 | D13 | 1330 | 8 | 0.995 | 1.323 | 11 | └ |
| F1 | D13 | 12000 | 7 | 0.995 | 11.940 | 84 | └ |
| F2 | D13 | 1500 | 7 | 0.995 | 1.493 | 10 | └ |
| F3 | D13 | 3350 | 7 | 0.995 | 3.333 | 23 | └ |
| | | | | | | D13 473 kg | |
| | | | | | | 合計 473 kg | |

(株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古 川 稔

福平小学校プール新築その他本体工事

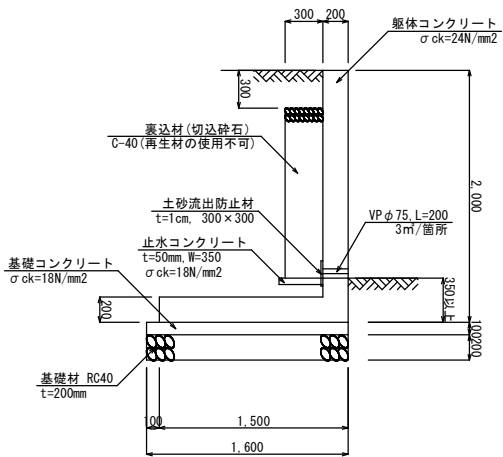
第1号L型擁壁構造図（その3）

図示

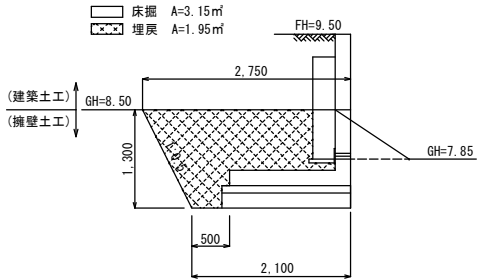
鹿児島市建設局建築部建築課

第2号L型擁壁構造図

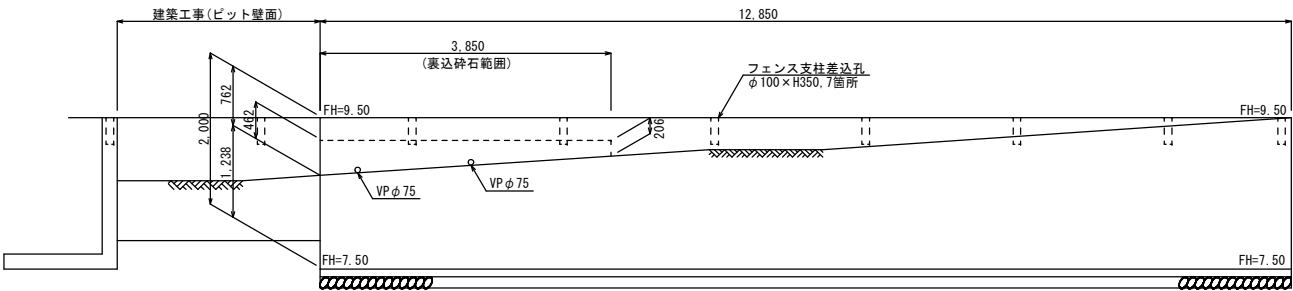
標準断面図 S1:30



土工図 S=1:50



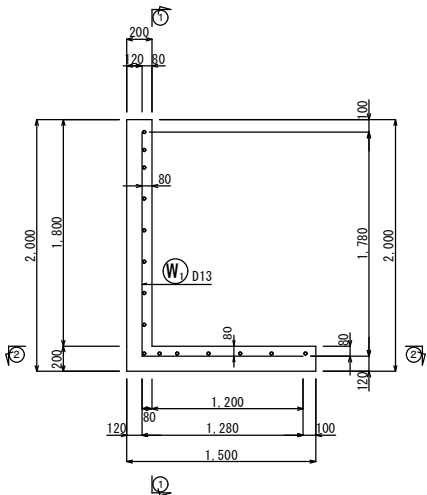
展開図 S=1:50



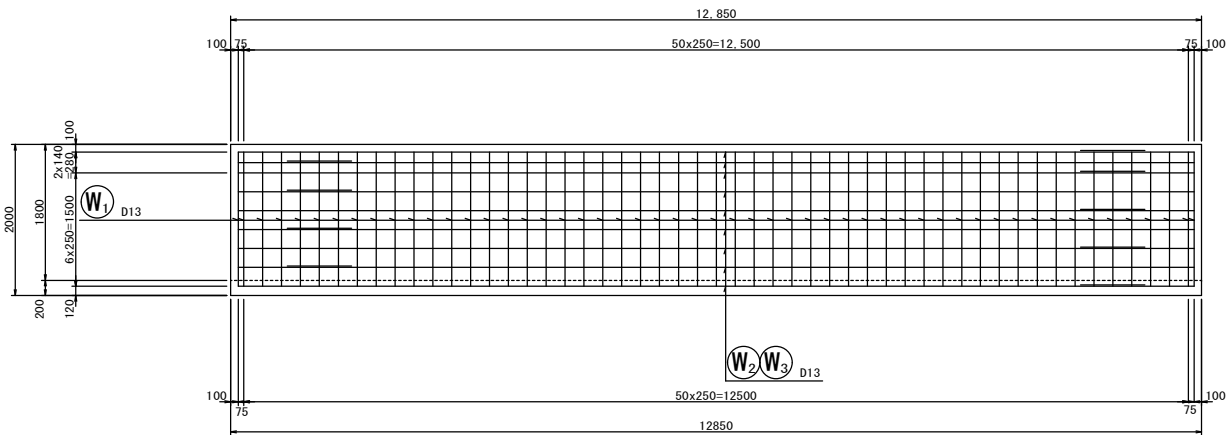
壁面部面積
cad計測 A=4.98㎡
水抜き穴 2箇所

配筋図

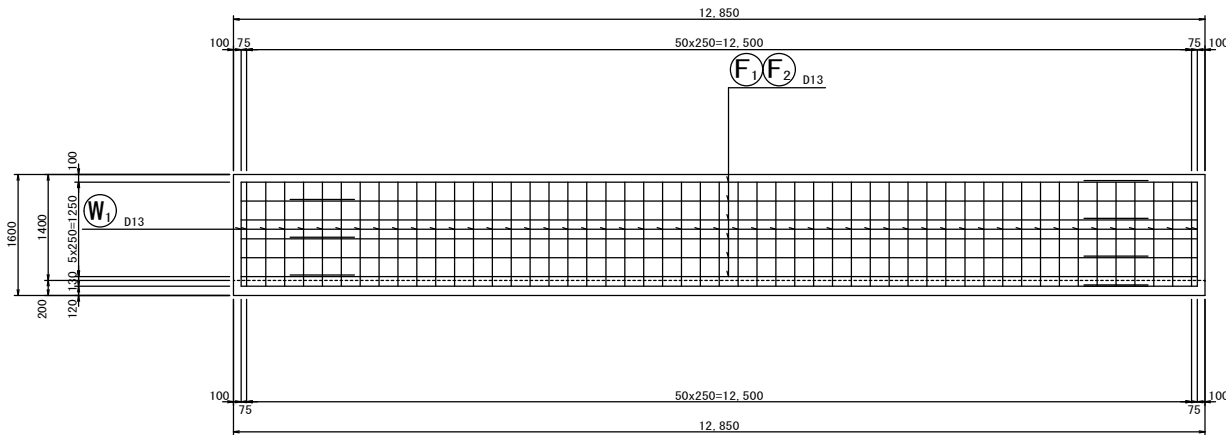
断面図 S1:30



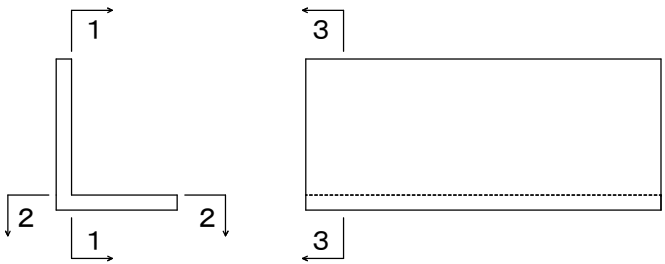
背面図 1-1 S=1:50



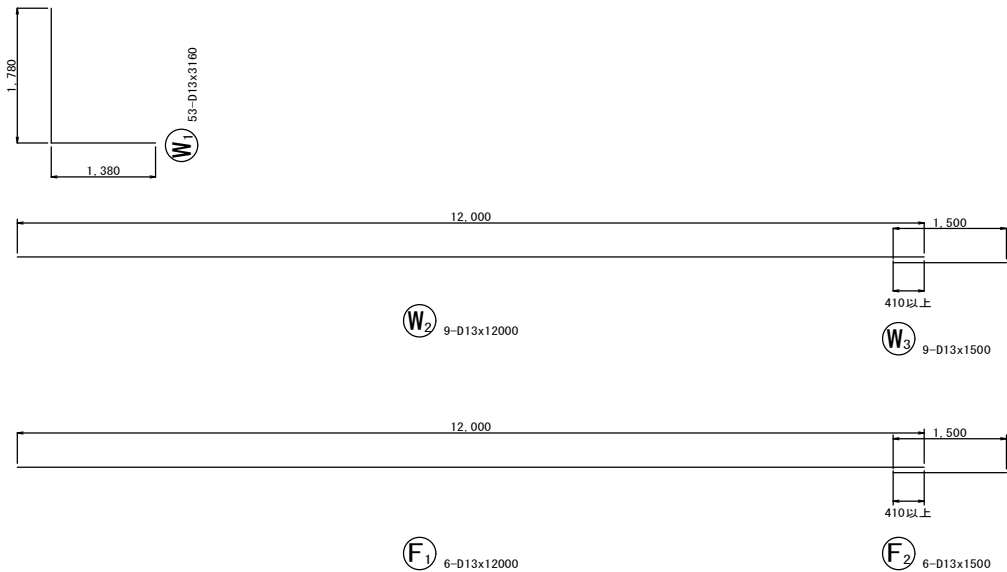
底版上面図 2-2 S=1:50



位置図 S=1:50



加工図 S=1:50



鉄筋表

| 記号 | 径 | 長さ
(mm) | 本数 | 単位質量
(kg/m) | 1本当り質量
(kg) | 質量
(kg) | 摘要 |
|----|-----|------------|----|----------------|----------------|------------|--------|
| W1 | D13 | 3160 | 53 | 0.995 | 3.144 | 167 | L |
| W2 | D13 | 12000 | 9 | 0.995 | 11.940 | 107 | — |
| W3 | D13 | 1500 | 9 | 0.995 | 1.493 | 13 | — |
| F1 | D13 | 12000 | 6 | 0.995 | 11.940 | 72 | — |
| F2 | D13 | 1500 | 6 | 0.995 | 1.493 | 9 | — |
| | | | | | | D13 | 368 kg |
| | | | | | | 合計 | 368 kg |

(株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古川 稔

福平小学校プール新築その他本体工事

第2号L型擁壁構造図

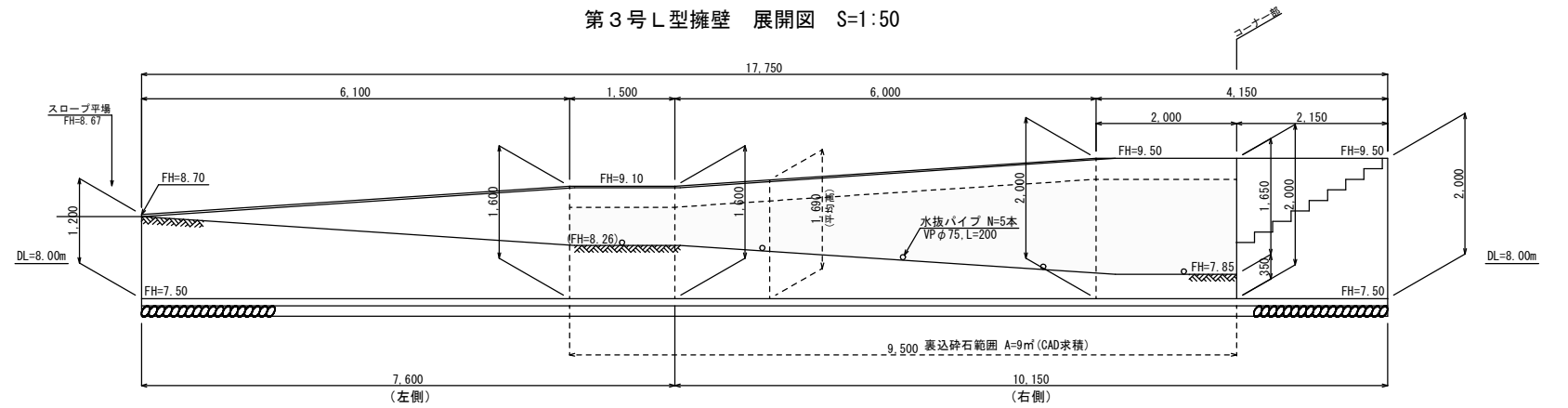
図示

鹿児島市建設局建築部建築課

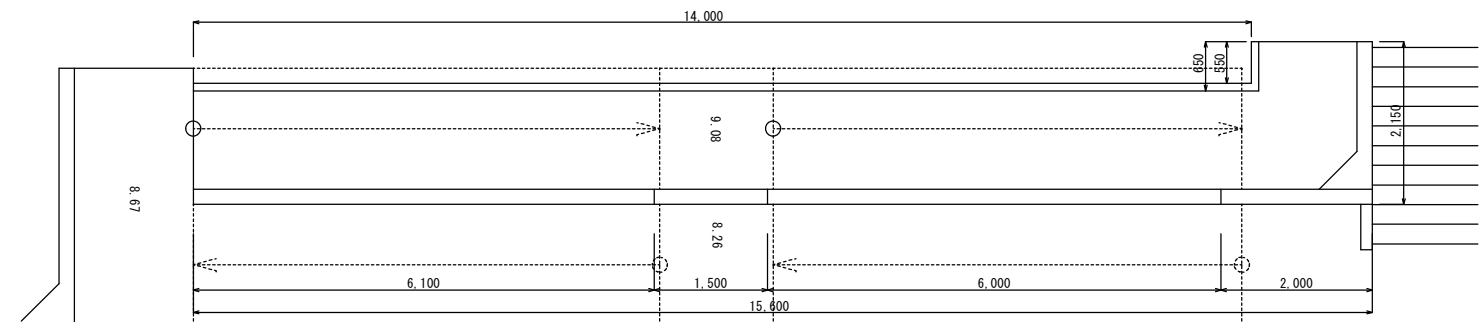
A-39

第3号L型擁壁構造図（その1）

第 3 号 L 型擁壁 展開図 S=1:50

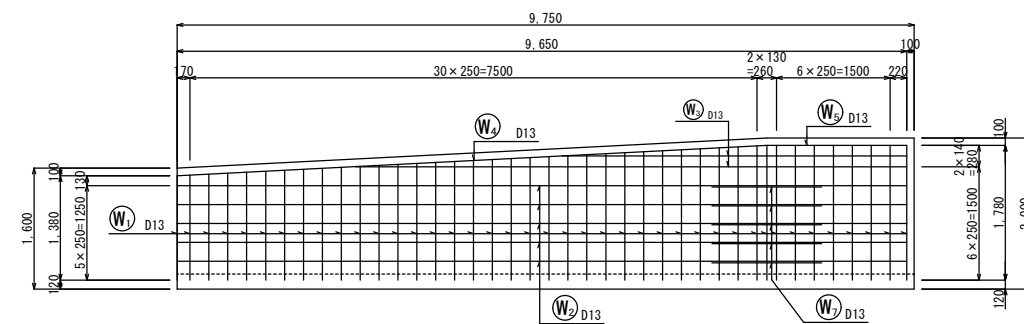


第3号L型擁壁 平面図 S=1:50

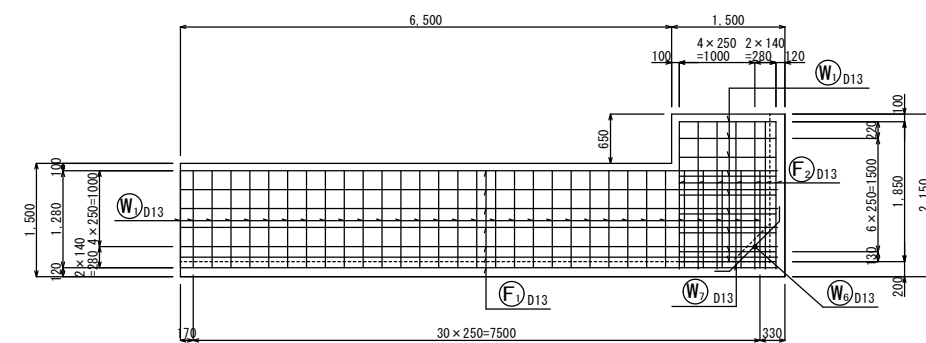


配筋図

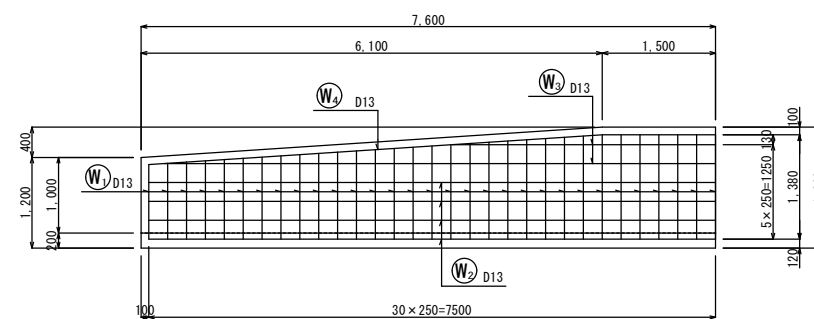
背面図(右側) S=1:50
1-1



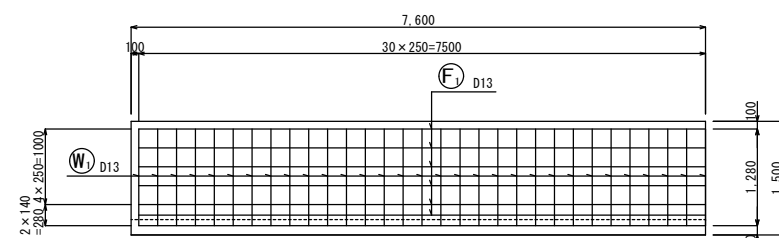
底版上面図 (右側) S=1:50
2-2



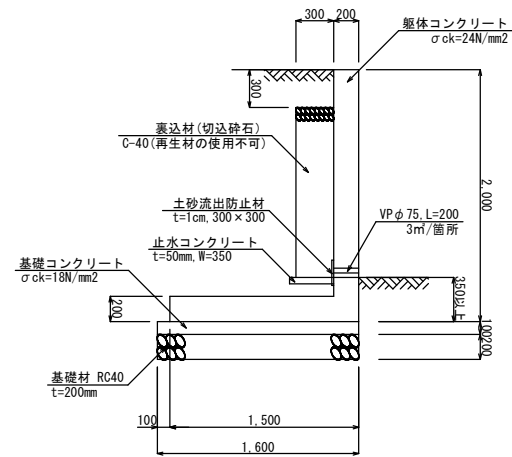
背面図(左側) S=1:50
1-1



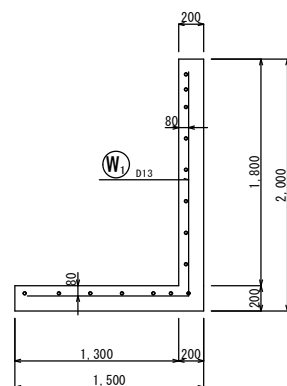
底版上面図 (左側) S=1:50
2-2



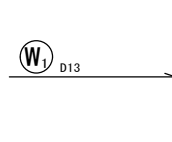
標準断面図 S=1:30



断面图 S=1:30
3-3

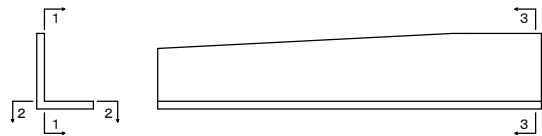


鉄筋組立図

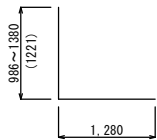
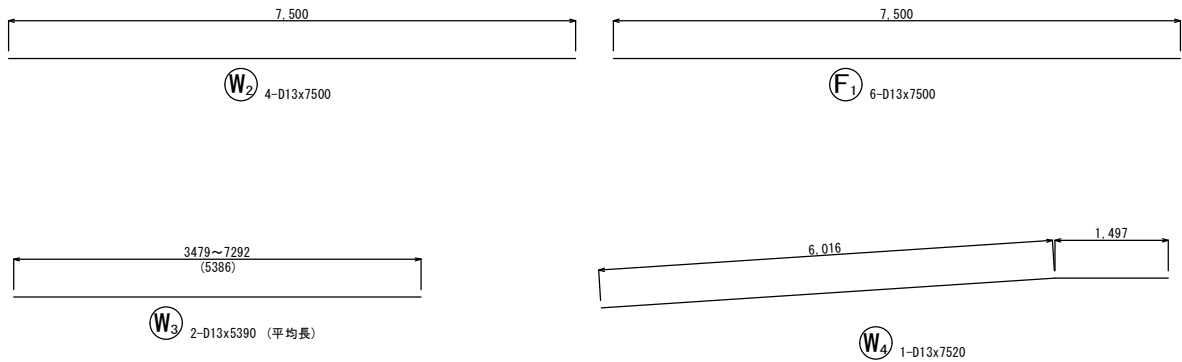


第3号L型擁壁構造図（その2）

位置図



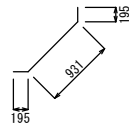
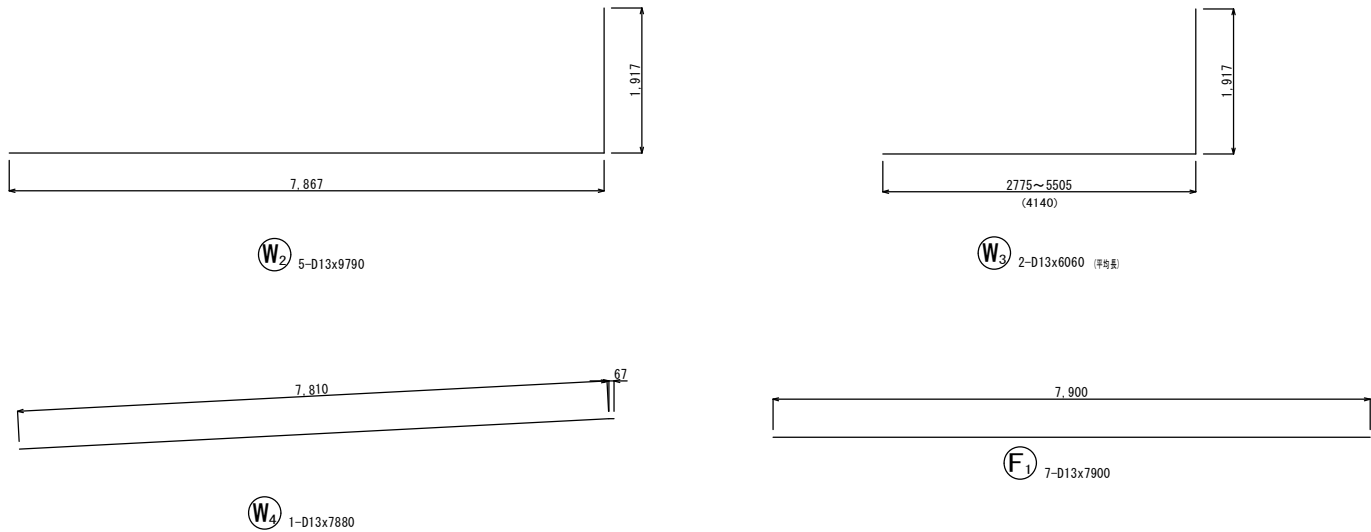
（左側）



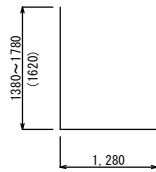
W1 31-D13x2510（平均長）

加工図 S=1:50

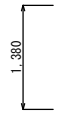
（右側）



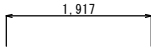
W7 5-D13x1330



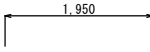
W1 41-D13x2900（平均長）



W6 1-D13x1580



W5 1-D13x1920



F2 7-D13x1950

鉄筋表

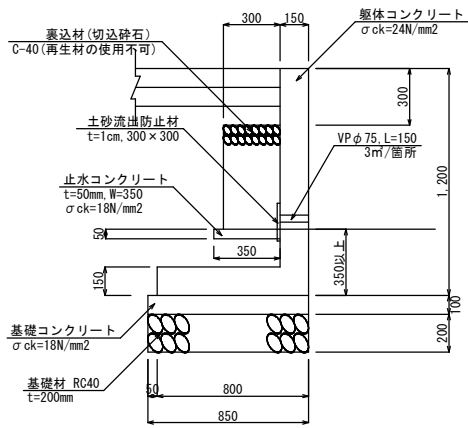
| 記号 | 径 | 長さ
(mm) | 本数 | 単位質量
(kg/m) | 1本当り質量
(kg) | 質量
(kg) | 摘要 |
|-----|-----|------------|----|----------------|----------------|------------|---------|
| W1 | D13 | 2510 | 31 | 0.995 | 2.497 | 77 | └ (平均長) |
| W2 | D13 | 7500 | 4 | 0.995 | 7.463 | 30 | — |
| W3 | D13 | 5390 | 2 | 0.995 | 5.363 | 11 | — (平均長) |
| W4 | D13 | 7520 | 1 | 0.995 | 7.482 | 7 | — |
| | | | | | | | |
| F1 | D13 | 7500 | 6 | 0.995 | 7.463 | 45 | — |
| D13 | | | | | | 170 kg | |
| 合計 | | | | | | 170 kg | |

鉄筋表

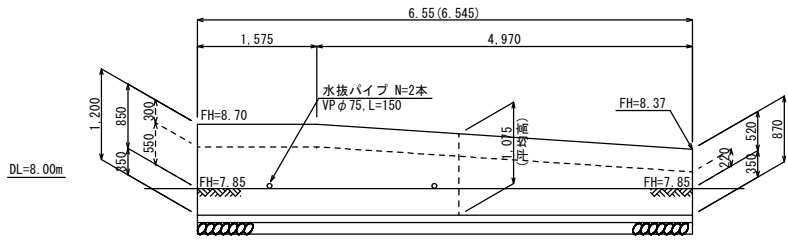
| 記号 | 径 | 長さ
(mm) | 本数 | 単位質量
(kg/m) | 1本当り質量
(kg) | 質量
(kg) | 摘要 |
|-----|-----|------------|----|----------------|----------------|------------|---------|
| W1 | D13 | 2900 | 40 | 0.995 | 2.886 | 115 | └ (平均長) |
| W2 | D13 | 9790 | 5 | 0.995 | 9.741 | 49 | — |
| W3 | D13 | 6060 | 2 | 0.995 | 6.030 | 12 | — (平均長) |
| W4 | D13 | 7880 | 1 | 0.995 | 7.841 | 8 | — |
| W5 | D13 | 1920 | 1 | 0.995 | 1.910 | 2 | — |
| W6 | D13 | 1580 | 1 | 0.995 | 1.572 | 2 | └ |
| W7 | D13 | 1330 | 5 | 0.995 | 1.323 | 7 | — |
| | | | | | | | |
| F1 | D13 | 7900 | 7 | 0.995 | 7.861 | 55 | — |
| F2 | D13 | 1950 | 7 | 0.995 | 1.940 | 14 | — |
| D13 | | | | | | 264 kg | |
| 合計 | | | | | | 264 kg | |

第 4 号 L 型擁壁構造図

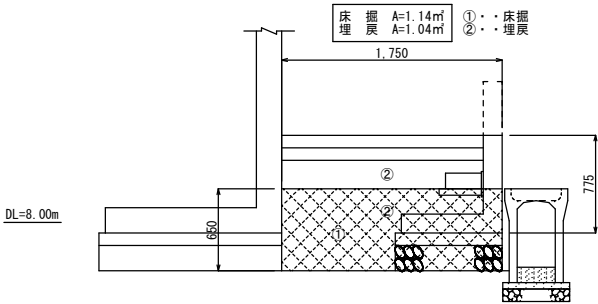
標準断面図 S=1:20



展開図 S=1:50

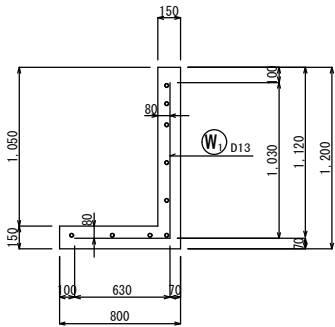


平均土工図 S=1:30

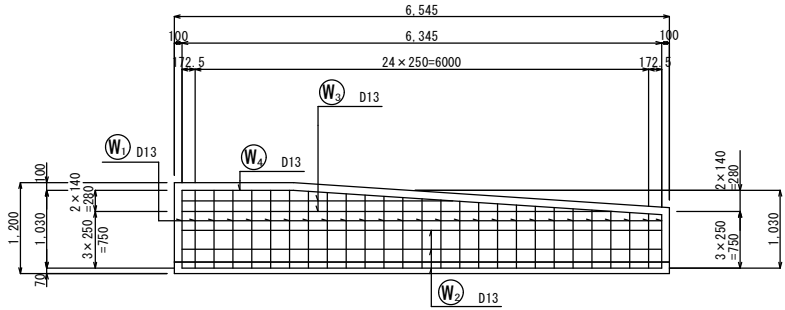


配筋図

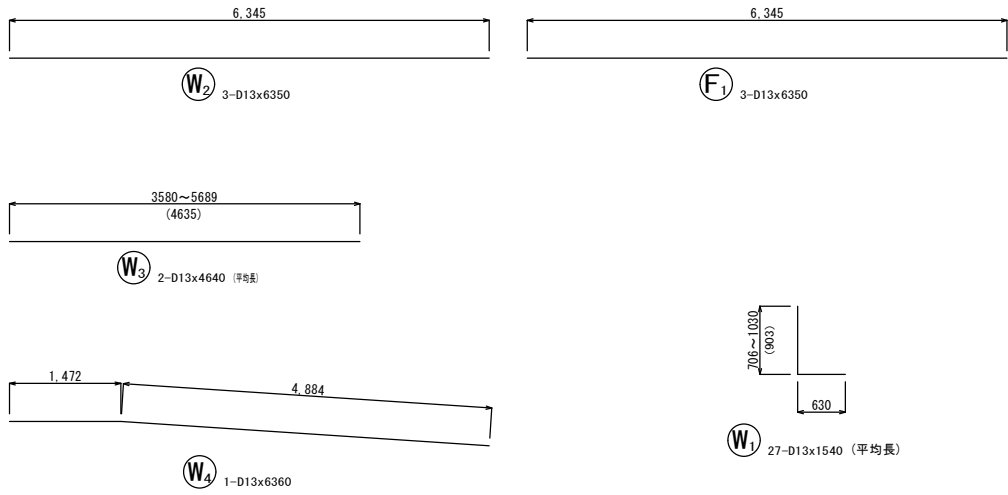
断面図 1 S=1:25
3-3



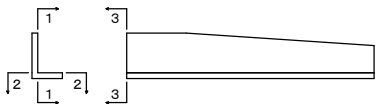
背面図 S=1:50
1-1



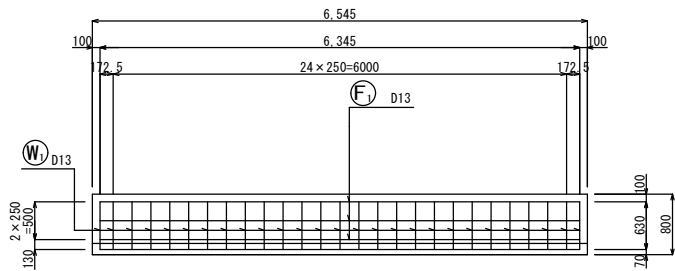
加工図 S=1:50



位置図 S=1:100



底板上面図 S=1:50
2-2



鉄筋表

| 記 号 | 径
(mm) | 長 さ | 本 数 | 単位質量
(kg/m) | 1 本当り質量
(kg) | 質 量
(kg) | 摘 要 |
|-----|-----------|------|-----|----------------|-----------------|-------------|---------|
| W1 | D13 | 1540 | 27 | 0.995 | 1.532 | 41 | └ (平均長) |
| W2 | D13 | 6350 | 3 | 0.995 | 6.318 | 19 | — |
| W3 | D13 | 4640 | 2 | 0.995 | 4.617 | 9 | — (平均長) |
| W4 | D13 | 6360 | 1 | 0.995 | 6.328 | 6 | ∧ |
| F1 | D13 | 6350 | 3 | 0.995 | 6.318 | 19 | — |
| D13 | | | | | | 94 kg | |
| 合計 | | | | | | 94 kg | |

(株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古 川 稔

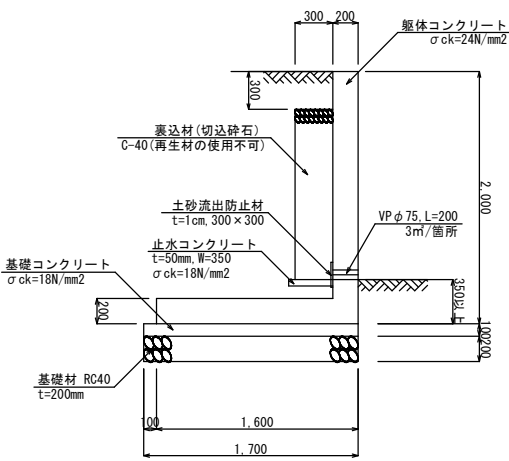
福平小学校プール新築その他本体工事
第 4 号 L 型擁壁構造図
鹿児島市建設局建築部建築課

図示

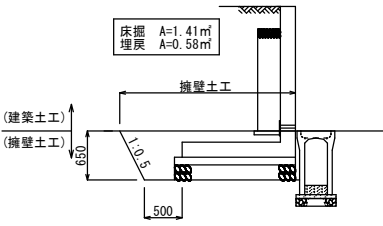
A-42

第5号L型擁壁構造図

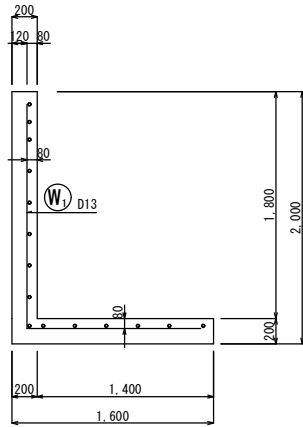
標準断面図 S=1:30



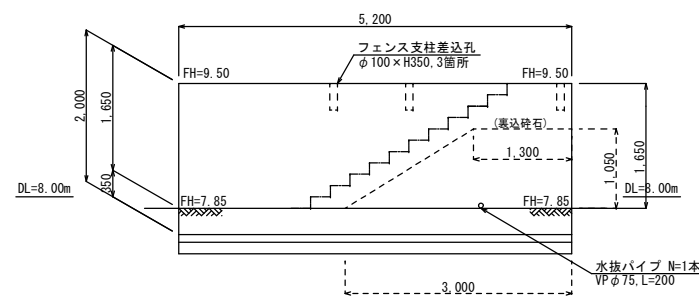
土工図 S=1:50



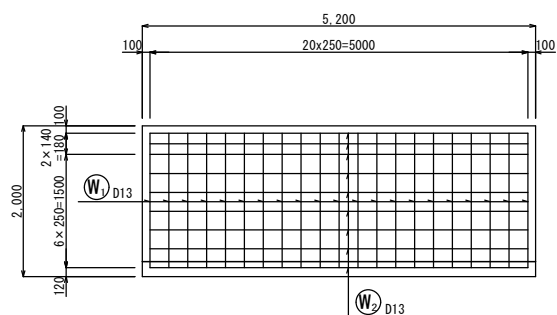
断面図 S1:30



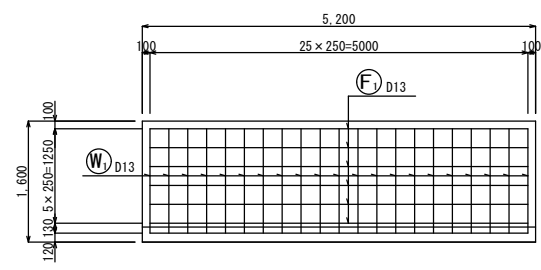
展開図 S=1:50



背面図 1-1 S=1:50



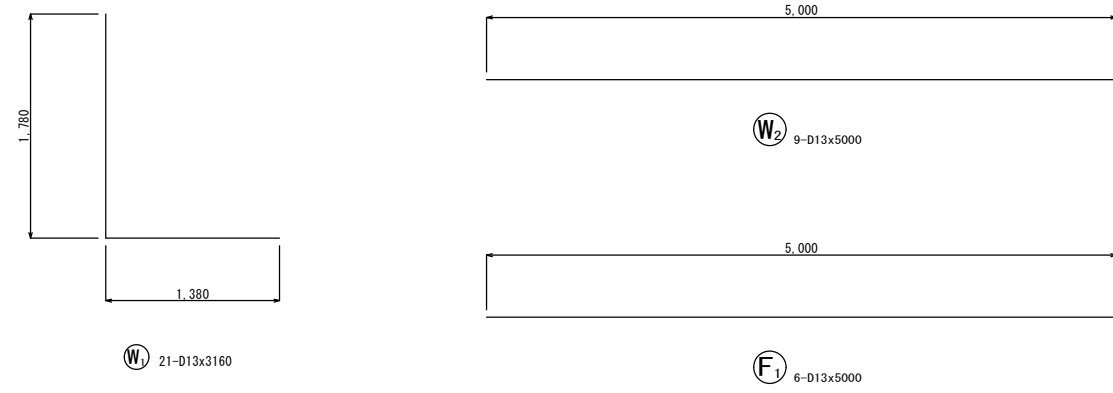
底版上面図 2-2 S=1:50



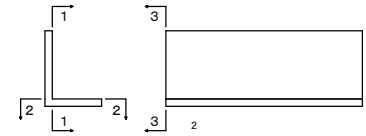
鉄筋表

| 記号 | 径 | 長さ
(mm) | 本数 | 単位質量
(kg/m) | 1本当り質量
(kg) | 質量
(kg) | 摘要 |
|----|-----|------------|----|----------------|----------------|------------|--------|
| W1 | D13 | 3160 | 21 | 0.995 | 3.144 | 66 | |
| W2 | D13 | 5000 | 9 | 0.995 | 4.975 | 45 | |
| F1 | D13 | 5000 | 6 | 0.995 | 4.975 | 30 | |
| | | | | | | D13 | 141 kg |
| | | | | | | 合計 | 141 kg |

加工図 S=1:50



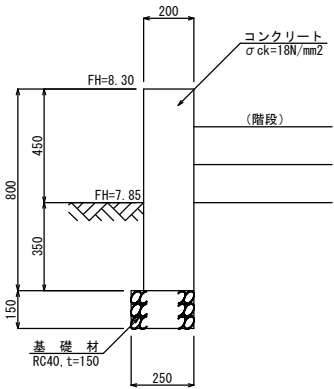
位置図 S=1:00



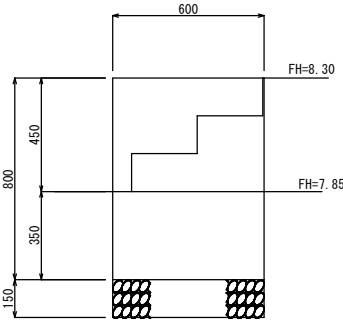
土留壁構造図

土留壁 H=0.80m

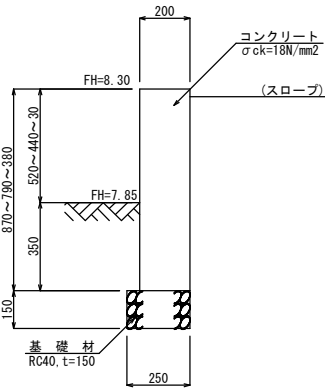
断面図 S=1:15



展開図 S=1:15

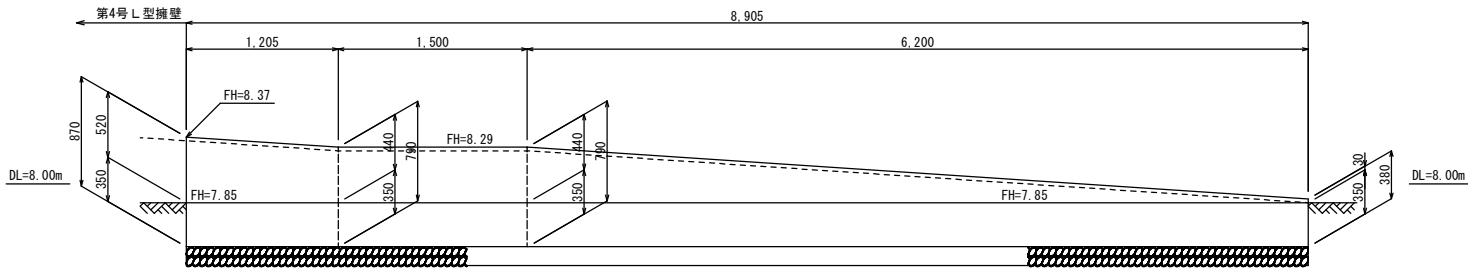


断面図 S=1:15



土留壁 H=0.38~0.87m

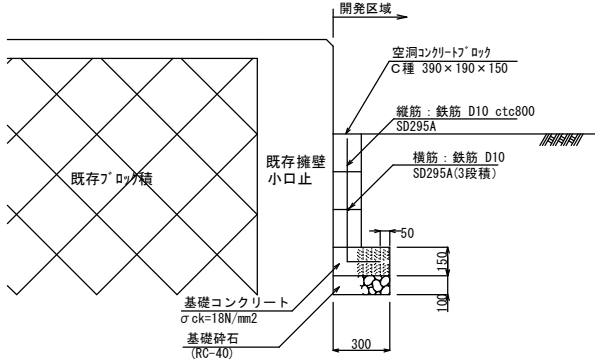
展開図 S=1:30



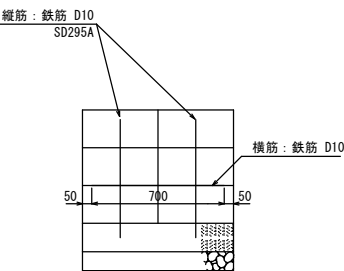
C B 積構造図

C B 積 (3 段)

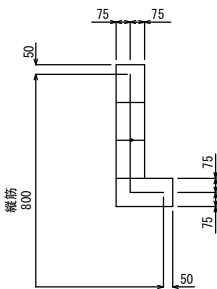
C B 積断面図 S=1:20
(3 段)



配筋背面図 S=1:20



配筋断面図 S=1:20



| C B 積 (3 段) | | 一式当り | |
|-------------|--------------------------|---------|----------------|
| 種 別 | 計 算 式 | 数 量 | 単 位 |
| 床 掘 | (土工は第 1 号 L 型擁壁工で計上) | | m ³ |
| 埋 戻 | " | | m ³ |
| 残 土 | " | | m ³ |
| 基 面 整 正 | 0.3 × 0.80 | = 0.24 | m ² |
| 基礎砕石 | RC40, t=100mm | = 0.24 | m ² |
| 基礎コンクリート | σ ck=18N/mm ² | = 0.04 | m ³ |
| 同上型枠 | 0.15 × 2 × 0.80 | = 0.24 | m ² |
| 軽量ブロック | 0.80/0.400 × 3 | = 6 | 個 |
| 鉄 筋 | D-10 | = 1.288 | kg |
| 中詰コンクリート | σ ck=18N/mm ² | = 0.025 | m ³ |

充填コンクリート ※空洞率37.5%/個

(株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古 川 稔

福平小学校プール新築その他本体工事

土留壁・C B 積構造図

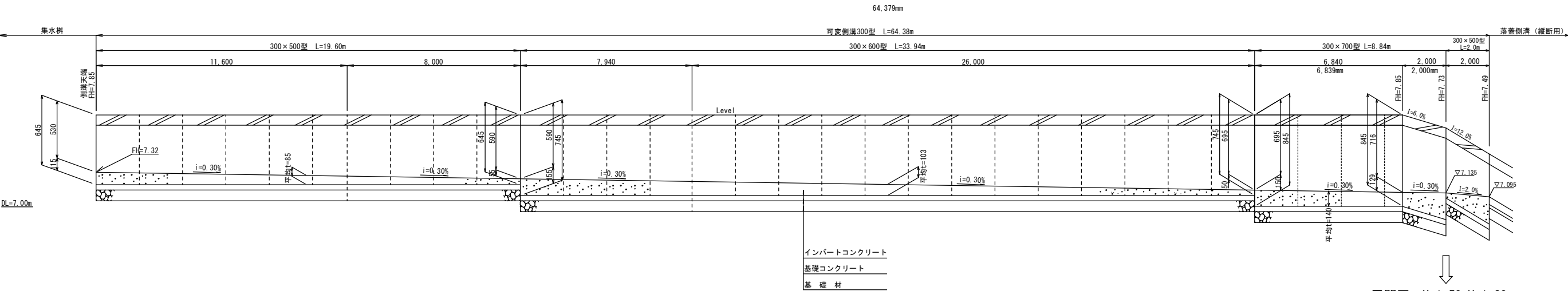
図示

鹿児島市建設局建築部建築課

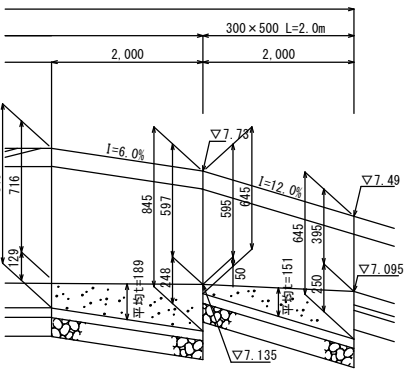
A-44

可変側溝構造図

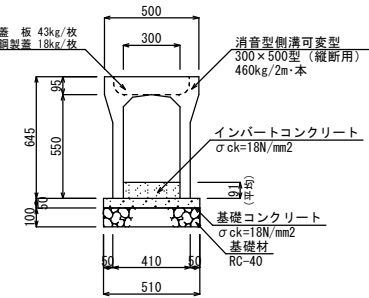
可変側溝展開図 H=1:100, V=1:20



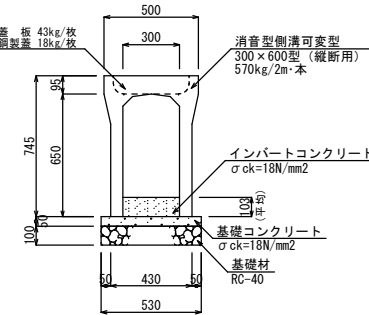
展開図 H=1:50, V=1:20



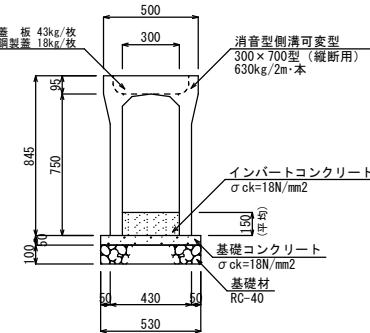
可変側溝(縦断)300×500型
(消音型) S=1:20



可変側溝(縦断)300×600型
(消音型) S=1:20

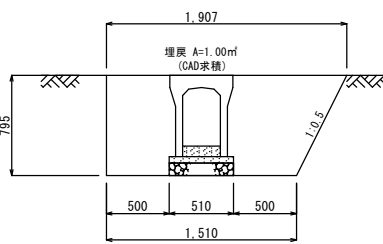


可変側溝(縦断)300×700型
(消音型) S=1:20

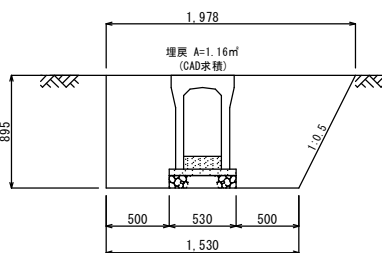


土工図 S=1:30
(普通土)

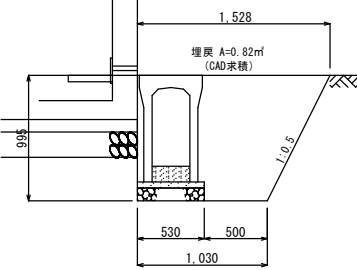
可変側溝(縦断)300×500型



可変側溝(縦断)300×600型

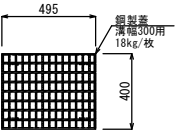


可変側溝(縦断)300×700型

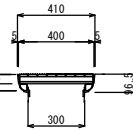


鋼製蓋

(平面図)

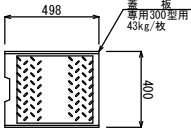


(断面図)

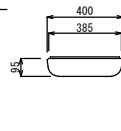


蓋板

(平面図)



(断面図)



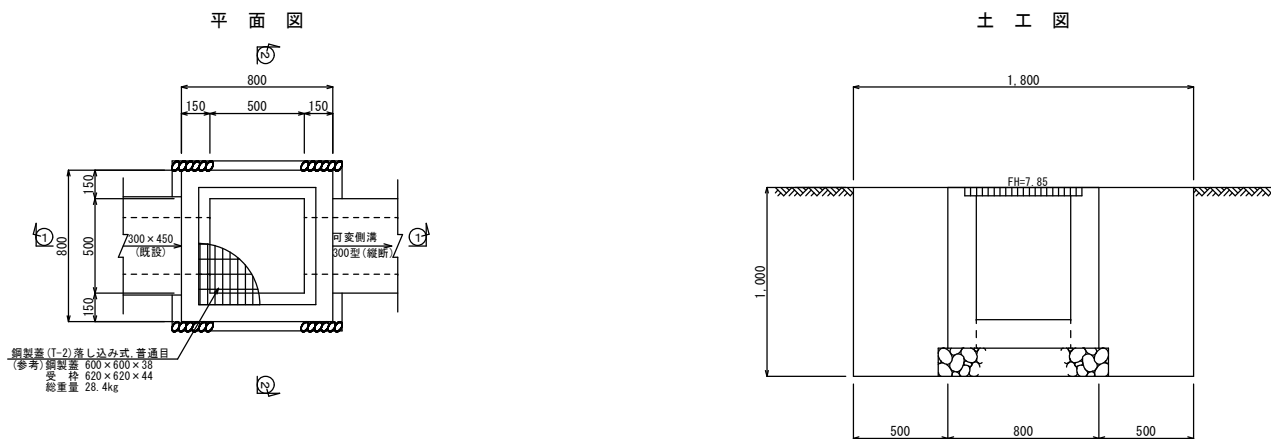
(株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古川 稔

福平小学校プール新築その他本体工事
可変側溝構造図
鹿児島市建設局建築部建築課

図示

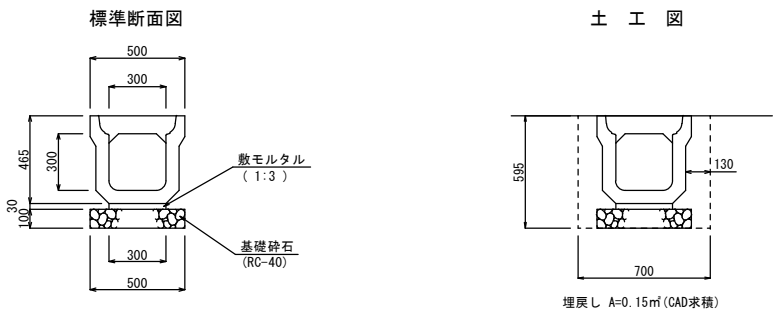
集水樹構造図 S=1:20

集水樹



落蓋側溝300×300(縦断用)

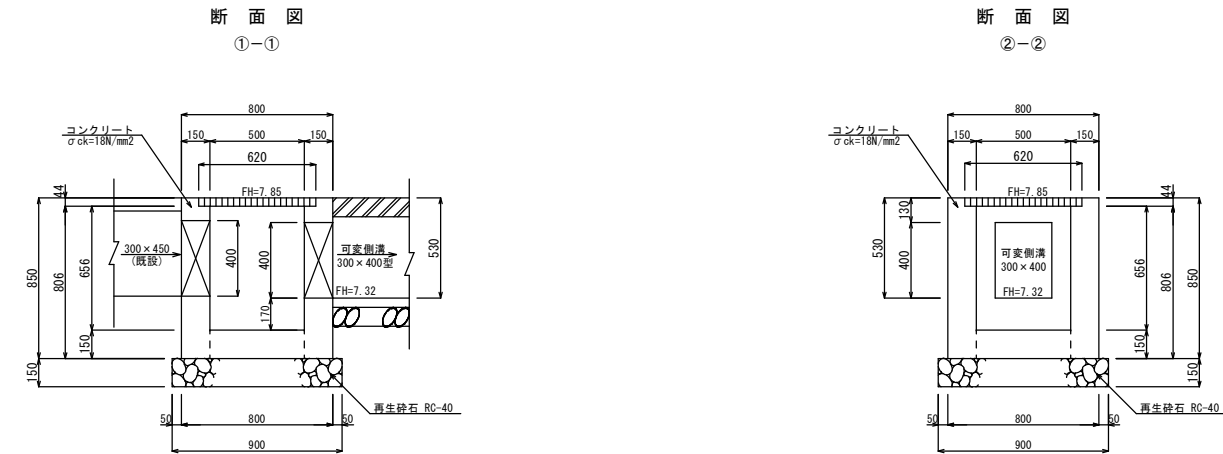
(消音型側溝) S=1:20



落蓋側溝300×300(縦断用)材料表

10.00m当り

| 種 別 | 材 料 | 計 算 式 | 数 量 | 単 位 |
|-------|---------------------|---------------------------------|--------|-----|
| 床 掘 | | $0.70 \times 0.595 \times 10.0$ | =4.17 | m3 |
| 埋 戻 | 良質土 | 0.15×10.0 | =1.50 | m3 |
| 残 土 | 場外搬出 | | =4.17 | m3 |
| 基面整正 | | 0.50×10.00 | = 5.00 | m2 |
| 基礎砕石 | 再生材RC-40
t=100mm | 0.50×10.00 | = 5.00 | m2 |
| 敷モルタル | 1 : 3 | $0.30 \times 0.03 \times 10.00$ | = 0.09 | m3 |
| 躯体 | 縦断用 | L=2000 478kg/本 | 10.0 | m |
| 蓋 版 工 | コンクリート蓋 | 43.0kg/枚 | 8.0 | 枚 |
| | グレーチング蓋 | 18.0kg/枚 | 2.0 | 枚 |



集水樹

| 種 別 | 寸法・規格等 | 計 算 式 | 1基 当り
数量 | 単位 |
|--------|------------------------|--|-------------|----|
| 床 掘 | 1.0m<W<2.0m | $1.80 \times 1.80 \times 1.00$ | = 3.24 | m3 |
| 埋 戻 | 良質土 | $3.24 - 0.80 \times 0.80 \times 0.85 - 0.90 \times 0.90 \times 0.15$ | = 2.57 | m3 |
| 残 土 | 場外搬出 | | = 3.24 | m3 |
| 基面整正 | | 0.90×0.90 | = 0.81 | m2 |
| 基礎材 | RC-40 | 0.90×0.90 | = 0.81 | m2 |
| コンクリート | $\sigma_{ck}=18N/mm^2$ | $0.80 \times 0.80 \times 0.85 - 0.62 \times 0.62 \times 0.044 - 0.50 \times 0.50 \times 0.656 - 0.30 \times 0.40 \times 0.15 \times 2$ | = 0.327 | m3 |
| 型枠 | 小型構造物 | $0.85 \times 0.80 \times 4 + 0.806 \times 0.50 \times 4 + (0.40 \times 2 + 0.30) \times 0.15 \times 2 - 0.30 \times 0.40 \times 4$ | = 4.182 | m2 |
| 鋼製蓋 | T-2 | 参考: 鋼製蓋600×600×38受枠620×620×44 28.4kg/組 | = 1 | 組 |

(株)アーキ・プラン
一級建築士 第 84458 号
古 川 稔

福平小学校プール新築その他本体工事

集水樹構造図

図示

鹿児島市建設局建築部建築課